

建設荷役車両



VOL.43 No.251

第251号
2021-1

令和3年1月1日発行（隔月1回1日発行）



令和3年特自検密発イメージモデル
葵わかなさん



公益
社団法人

建設荷役車両安全技術協会
SAFETY ASSOCIATION OF CONSTRUCTION AND LOADING VEHICLES

URL <http://www.sacl.or.jp>



とくじけんくん

建設車両用タイヤに待望の新シリーズ登場！！



クッション性に優れた
穴あきノーパンクタイヤ

製品サイズ

- ・16.00-25
- ・17.5-25
- ・20.5-25
- ・23.5-25 他各種

大型ホイールローダー対応!!
各機種用ホイールも製作します
ホイールとセットで更にお買い得!

スノー用パターン
大型ニューマチックタイヤ

製品サイズ

- ・16.9-24 12PR TL
- ・17.5-25 12PR TL(今冬販売開始)
- ・20.5-25 16PR TL(今冬販売開始)

大好評スノーパターンに
待望の大型サイズ登場!!
ピン打ち場所もしっかり確保



産業車両用 建設機械用タイヤのことなら

MRC 丸中ゴム工業株式会社

TEL:052-889-5556

FAX:052-889-5558

本社:愛知県名古屋市瑞穂区二野町4-11

URL : <http://www.marunaka-rubber.co.jp>



令和3年 特自検啓発年間ポスター

葉
わか
な

安全を
みんな
でつく
る 特
自検

特自検

特定自主検査



検査を済ませた機械には、それを証する検査済標準を貼付しなければなりません。



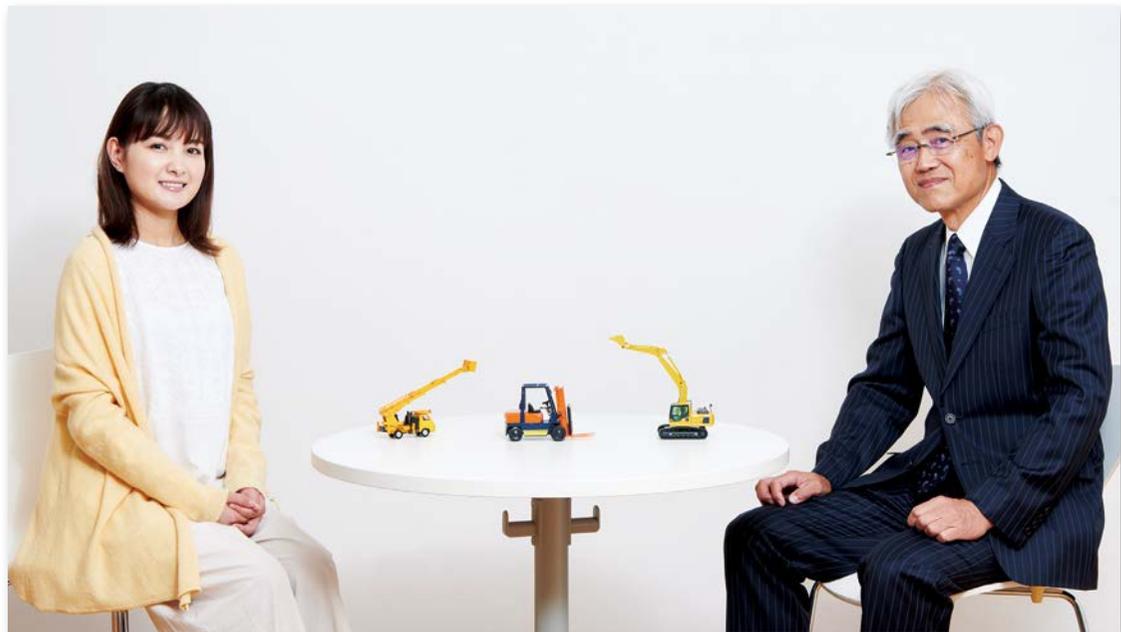
とくしんか



公益 建設荷役車両安全技術協会
社団法人 SAFETY ASSOCIATION OF CONSTRUCTION AND LOADING VEHICLES

令和3年の特自検啓発ポスターモデルに

テレビドラマ・舞台・CM等で活躍中の女優 葵わかな(あおいわかな)さんを起用



建荷協本部では、このたび令和3年の特自検啓発年間ポスターのモデルに、テレビドラマ、舞台やCMなどで活躍する人気女優の葵 わかな(あおい わかな)さんを起用しました。起用の理由は、彼女がもつ清楚感と真面目で知的なイメージが、当協会の求めるイメージと合致したことです。

令和2年7月、都内の撮影スタジオで協会関係者の立会いもと、カメラマン、制作スタッフとも和やかなムードのなかで無事ポスター撮影を終えることができました。

撮影後、当協会の酒井会長との対談では、「物流や建設現場などで働く皆さんに、特定自主検査の大切さをお伝えし、特自検の普及・促進と、労働災害の防止に少しでも貢献していければと思っています。この1年間、精一杯努めさせていただきますので、よろしくお願いします」と抱負を述べてくれました。

今後は、特自検啓発等に関わるポスター、リーフレットのほか、ウェブサイトや機関誌などにも掲載していく予定です。全国の協会会員はもとより、建設荷役車両の検査・整備を行う登録検査業者、建設荷役車両の事業内検査を行う事業者、建設荷役車両を使用する事業者・元方事業者、建設荷役車両のリース・レンタル事業者の皆様、これらの媒体を活用して、より一層特自検の普及・促進に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

－ お問い合わせは建荷協本部広報部まで。TEL：03-3221-3661 E-mail：koho@sacl.or.jp －

【葵わかなさんプロフィール】

■生年月日：1998年6月30日（22歳）/出身地：神奈川県/身長：158cm

■趣味：宝塚観劇、猫をめぐること

■所属：(株)スターダストプロモーション

- 2009年7月にCMデビュー、同年10月にテレビドラマ「サムライ・ハイスクール」にて女優デビュー。その後ドラマ、CM等で活躍。
- 2016年3月にはドラマ「女優墮ち」でテレビドラマ初主演を、同年11月には「ホラーの天使」で映画初主演を果たす。
- 2017年度下半期放映のNHK連続テレビ小説「わろてんか」でヒロインを演じ、大注目を浴びる。
- 2020年上演の「アナスタシア」でミュージカル初主演を務める。
- 2020年12月からは、人気漫画を実写化した主演ドラマ「年の差婚」が放送開始。

特自検啓発年間リーフレット

特自検

特定自主検査は
お済みですか？



特定自主検査対象機械

紙面の都合上、各分類の代表的な機種を掲載しています。

作業前に検査済標章を確認しましょう

車両系 荷役運搬 機械

●フォークリフト



(カウンターバランス式)



(ピッキング式)



(リーチ式)

●不整地運搬車



(クローラ式)



(ホイール式)

車両系 建設機械

●整地・運搬・積み込み用機械

ブルドーザー



モーター・グレーダー



トラクター・ショベル



(クローラ式)



(ホイール式)

●掘削用機械



パワー・ショベル



(クローラ式)



(ホイール式)



ドラグライン



クラムシェル



油圧クラムシェル

●基礎工事用機械



杭打機・杭抜機



硬質地盤油圧式
くい圧入機



アース・
ドリル



分離型
せん孔機



アース・
オーガー



建柱車

●締固め用機械



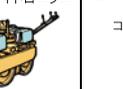
ロードローラー



タイヤローラー



振動ローラー



ハンドガイドローラー

●コンクリート打設用機械



コンクリートポンプ車



特定解体用機械
(ロングブーム)

●解体用機械



ブレーカ



鉄骨切断機



コンクリート圧砕機



解体用つかみ機



特定解体用機械
(ロングブーム)

高所 作業車



ブーム型



ブーム型



マスト型



シザーズ型



シグマ(Σ)型



シグマ(Σ)型



とくじけん



公益 建設荷役車両安全技術協会
社団法人 SAFETY ASSOCIATION OF CONSTRUCTION AND LOADING VEHICLES

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-7-1 ニュー九段ビル9F
TEL:03(3221)3661 FAX:03(3221)3665

略称:【建荷協】
SACL

特自検に関することは

建荷協

検索



とくじけん



荷役運搬機械と建設機械は、 労働安全衛生法により定期(特定)自主検査が 義務づけられています。



特定自主検査とは

車両系荷役運搬機械、車両系建設機械及び高所作業車については、労働安全衛生法により、事業者は1年を超えない期間ごとに1回(ただし不整地運搬車は2年を超えない期間ごとに1回)、定期に、有資格者による自主検査を実施しなければなりません。この定期自主検査(年次検査)のことを**特定自主検査【特自検】**といいます。人間でいうなら年に一度の【人間ドック】や【健康診断】と同じです。



■ どんな検査を行うのか

検査は、各機械ごとに定められた検査事項について実施し、**結果を記録**することになっています。

[安衛則 第151条の21、第151条の53、第167条、第194条の23]



■ 検査の記録は

検査の結果は、所定の特定自主検査記録表(チェックリスト)に次の事項を記録して、**3年間保存**しなければなりません。



| 検査年月日 | 検査方法 | 検査箇所 |
|-------|--------|-----------|
| 検査結果 | 検査実施者名 | 検査結果の措置内容 |

[安衛則 第151条の23、第151条の55、第169条、第194条の25]



■ 異常があった場合は

事業者は検査の結果、異常を認めた場合は直ちに**補修**などを行い、正常な状態に修復させ、**その他必要な措置**をとらなければなりません。

[安衛則 第151条の26、第151条の58、第171条、第194条の28]



■ 検査する人は

法令で定められた**資格を有する検査者**、または**登録検査業者**のいずれかによって特定自主検査を実施することになっています。

[安衛法 第45条第2項、第54条の3、第54条の4]

法定検査機器

事業者(ユーザー)からの依頼により特定自主検査を実施する登録検査業者は、次に示す検査機器を最低1セット以上保有することが、法律で決められています。

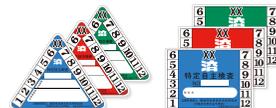
- 1 圧縮圧力計
- 2 回転計
- 3 シックネスゲージ
- 4 ノズルテスター
- 5 油圧計
- 6 電圧計
- 7 電流計
- 8 探傷器
- 9 摩耗ゲージ



■ 検査済機械には

事業者は検査が済んだ機械には、見やすい箇所(運転席の付近など)に検査を実施した年月を明らかにする**標章(ステッカー)**を貼付しなければなりません。

[安衛則 第151条の24第5項、第151条の56第5項、第169条の2第8項、第194条の26第5項]



■ 検査や必要な措置を怠ったときは

罰則(50万円以下の罰金等)が適用されます。

[安衛法 第119条、第120条、第122条]

特自検は働く機械の健康診断です!

『建設荷役車両』 251号 (2021-1月号) アンケートのお願い

(公社)建設荷役車両安全技術協会
 広報委員会 行(ご回答期限: 令和3年2月19日)

送信先 FAX : 03-3221-3665
 E-mail : koho@sacl.or.jp

※ この用紙は必要な場合はコピーしてお使いください

ご記入頂いたアンケートは、上記宛先まで、FAXもしくはE-mailでご送信下さい。

なお、本アンケートはWEB上からもご回答いただけます。建荷協HPの会員ページより、「機関誌アンケート」にアクセスしてください(詳細は本用紙裏面を参照)。

※回答期限までにご回答を頂いた方の中から抽選でQuoカード1000円分を5名様に贈呈いたします。(結果発表は発送をもって代えさせていただきます)

◆ 下記の記事について、あてはまるものを一つお選びいただき□に✓をご記入ください。

| 記事番号 | 記事(掲載頁) | 読んだ(あてはまるものを一つ選んでください) | | | | | 読んでいない |
|------|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | | 満足(興味をもった) | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 不満(興味をもてず) | |
| 1 | 広報 令和元年度 特定自主検査実施状況(10頁) | <input type="checkbox"/> |
| 2 | 広報 グラフで見る特自検(15頁) | <input type="checkbox"/> |
| 3 | 広報 特自検Q&A 第5回(18頁) | <input type="checkbox"/> |
| 4 | 技術解説 新型カウンタバランスタイプバッテリーフォークリフト“ALESIS(アレシス)”の開発(23頁) | <input type="checkbox"/> |
| 5 | イラスト災害事例(29頁) | <input type="checkbox"/> |
| 6 | 安全技術講座「我が社のセールスポイント」(33頁) | <input type="checkbox"/> |
| 7 | 製品紹介(37頁) | <input type="checkbox"/> |
| 8 | Topics 令和元年度 考案賞受賞企業を訪ねて(40頁) | <input type="checkbox"/> |
| 9 | Topics 「危険体感道場」を訪ねて(43頁) | <input type="checkbox"/> |

◆ 満足した(または不満の)記事は、どういう点が良かった(良くなかった)ですか。

| 記事番号 | 良かった(良くなかった)点 |
|------|---------------|
| | |
| | |

◆ 令和3年 特自検啓発年間ポスター(本号巻頭カラーグラビア)はいかがでしたでしょうか。感想をお聞かせください。

また「特自検Q&A」コーナー(本号18頁掲載)では、特自検に関する質問を募集しています。質問は、こちらにご記入ください(欄が足りない場合は自由に用紙を追加してください)。

| | | |
|--|----------|----------|
| ● 名 前(フリガナ): | ● 年齢(任意) | ● 性別(任意) |
| | 歳 | 男・女 |
| ● 勤務先名称: | ● 役職: | |
| ● 勤務先所在地: 〒 - | TEL: | |
| 都 道 | | |
| 府 県 | | |
| ● 職種(○で囲んでください): 1 代表・役員 2 営業・サービス 3 設計・技術開発等 4 現業・製造等 5 総務・経理等 6 その他 | | |

ご協力ありがとうございました (ご記入の個人情報は抽選品発送及び個人が特定できない形の集計・調査に使用させていただきます)

(切り取り線)

「機関誌アンケート」へのアクセス方法

建荷協ホームページ (http://www.sacl.or.jp)

- ➡会員ページ (ユーザー名 saclhp / パスワード saclhp 入力)
- ➡機関誌アンケート (「251号 (2021-1月号) アンケートへ移動」クリック)
以下アンケートにお答えください、入力時間は数分です。

会員ページ

The screenshot shows the homepage of the Safety Association of Construction and Loading Vehicles (SAACL). The top navigation bar includes links for 'お問い合わせ' (Contact), 'サイトマップ' (Site Map), '利用履歴' (Usage History), and '会員' (Member). Below the navigation bar are icons for '特自検' (Special Inspection), '研修・教育' (Training/Education), '頒布品' (Distributions), '災害事例' (Disaster Cases), '協会案内' (Association Information), and '支部' (Branches). The main content area features a large banner for '特自検' (Special Inspection) with the headline '建設荷役車両に関わるすべての企業のために' (For all companies involved in construction and loading vehicles). Below the banner is a '新着情報' (New Information) section with two columns of news items.

| 建荷協からのお知らせ | | 一覧 |
|------------|--|----|
| 2020年7月16日 | ホームページをリニューアルしました | |
| 2020年7月16日 | 【会員の皆様へ】機関誌「建設荷役車両」のアンケートがウェブからも可能となりました | |
| 2020年7月16日 | 【技術情報】基準値表、コンクリートポンプUT、月次記録表の場所が変わりました | |
| 2020年7月16日 | コロナ対策について | |

| 行政・関係団体等からのお知らせ | | 一覧 |
|-----------------|--|----|
| 2020年7月20日 | 【厚労省】令和2年7月豪雨による災害に対する特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律の適用について | |
| 2020年7月20日 | 【厚労省】令和2年(第71回)全国労働衛生週間に関する協力依頼について | |

建荷協ホームページ トップページ

より良い誌面作りのため、アンケートにご協力ください。

なお、FAX (もしくはE-mail) とWEB上から重複してアンケートを回答された場合は、WEB上からの回答を採用させていただきます。



- ◆ 巻頭カラーグラビア
令和3年 特自検啓発年間ポスター / 年間リーフレット
- ◆ 新年を迎えて / 年頭所感
- ◆ 令和元年度 特定自主検査実施状況(検査業者によるもの)
- ◆ 令和元年度 考案賞受賞企業を訪ねて
- ◆ 「危険体感道場」を訪ねて



建設荷役車両

2021-01 VOL.43 No.251

INDEX

■ 巻頭言

| | | |
|--------------|-------|---|
| 新年を迎えて | 酒井 信介 | 8 |
| 年頭所感 | 安達 栄 | 9 |

■ 広報

| | | |
|-----------------------------------|--|----|
| 令和元年度 特定自主検査実施状況（検査業者によるもの） | | 10 |
| グラフで見る特自検 第5回 | | 15 |
| 特自検Q&A 第5回 | | 18 |

■ 技術解説

| | | |
|--|-------|----|
| 新型カウンタバランスタイプバッテリーフォークリフト “ALESIS（アレシス）”の開発 | 松山 輝雄 | 23 |
|--|-------|----|

| | | |
|------------------|--|----|
| ■ イラスト災害事例 | | 29 |
|------------------|--|----|

■ 安全・技術講座

| | | |
|---|--|----|
| 我が社のセールスポイント 栃木県支部 栃木小松フォークリフト株式会社 | | 33 |
|---|--|----|

■ 製品紹介

| | | |
|---|--|----|
| 自走式高所作業車「スカイマスター SPシリーズ」をモデルチェンジ/小型油圧 ショベル「PC78US-11」/超大型油圧ショベル EX2000-7 | | 37 |
|---|--|----|

■ Topics

令和元年度 考案賞受賞企業を訪ねて

第1回 金賞受賞 「タイヤチェーン脱着負荷軽減及び安全性向上」

考案者：青森県支部 コマツカスタマーサポート(株) 東北カンパニー

弘前サービスセンタ 柴 昌志 (他3名) 40

「危険体感道場」を訪ねて

IHI 運搬機械株式会社 沼津工場 43

■ お知らせ

| | |
|--|----|
| 建荷協の動き..... | 50 |
| お知らせ 「日本産業保健法学会」設立される！ | 51 |
| 令和2年度 特定自主検査資格取得研修・教育の予定表 | 52 |
| 令和2年度 各種研修の受講料 | 60 |
| 建荷協発行図書等のご案内..... | 61 |
| 特定自主検査者資格取得者名簿(令和2年10月1日～令和2年11月30日) ... | 65 |
| 支部一覧..... | 68 |
| 編集後記..... | 69 |
| 令和3年 特定自主検査済標章について | 70 |

- ・機関誌アンケートはWEB上からもご回答いただけます。建荷協HPの会員ページより、「機関誌アンケート」にアクセスしてください（詳細はアンケート用紙裏面を参照してください）。



新年を迎えて

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会
会長 酒井 信介

令和3年の新春を迎え、謹んで会員の皆様方に新年のお慶びを申し上げます。

昨年の年初以来、世界各国で新型コロナウイルスの感染が拡大し、我が国においても、大変多くの方がご迷惑され、また、社会・経済活動が停滞するなど多大な影響を及ぼしています。

こうした中、感染拡大防止対策をとりながら様々な活動を再開・継続させることが求められ、普段の生活様式も大きく変容したところです。

当協会が行う特定自主検査に係る研修や教育等もやむを得ず延期や中止とすることが避けられませんでした。昨年5月末の緊急事態宣言解除後には、皆様のご協力を受けながら各支部で順次再開し、今年度末までには当初の年度計画数の8割から9割程度を確保できる見込みです。改めて御礼申し上げます。

さて、当協会は、昭和53年の設立以来関係行政機関のご指導のもと、会員の皆様のご尽力及び諸団体のご支援を得て、特定自主検査制度の普及・促進を通じて安全確保を図り、労働災害の防止に努めてまいりました。

特定自主検査の実施状況につきましては、令和元年度は約193万台と推定され、特定自主検査制度はしっかりと社会に定着しております。

このことは、偏に関係者の皆様のご努力の結果によるものであり、厚く御礼を申し上げます。次第です。

一方、建設荷役車両に起因する労働災害は、関係者の皆様のご尽力により長期的には減少の傾向にあるものの依然として発生しているところです。

さらに、少子高齢化による構造的な人手不足と労働時間法制の見直しなどの働き方の改革に対応するため、企業においては、作業の効率化をとおして生産性を向上させることが必要となっていることから、建機や荷役車両等の活用が一層進むことが予想されます。

建設荷役車両の不具合は重篤な災害に繋がりがねないことを踏まえれば、労働安全衛生法に基づく特定自主検査の普及・推進を通して「災害ゼロ」を目指す当協会の役割は、一層重要なものとなると認識しているところあり、この認識のもと、特定自主検査に係る適正な検査・整備技術に関する研修・教育や広報活動等の諸事業を一層積極的に展開して、労働者の安全確保対策の充実を図ってまいります。

また、当協会は本年におきましても、会員の皆様（令和2年11月末現在4,144社）をはじめ特定自主検査に関わる皆様方の信頼を得られるよう、公益法人としての使命ならびに目的を明確に意識しつつ、本・支部一体となった適正な運営、コンプライアンスの徹底等に努めてまいります。

引き続き、会員の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭所感

厚生労働省 労働基準局安全衛生部
安全課長 安達 栄

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、日頃より労働災害の減少に向けた行政施策の推進に御理解、御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本年4月には、第13次労働災害防止計画の4年度目を迎えます。本計画期間において、労働災害による死亡者数は継続して減少しているものの、休業4日以上の死傷者数は減少の兆しが見られておりません。特に近年は、高年齢労働者の労働災害、転倒による労働災害が増加しております。

本計画で掲げる休業4日以上の死傷者数を平成29年比で5%以上減少させるという目標の達成には、労働災害発生状況を踏まえた対策が求められております。

高年齢労働者の労働災害については、高年齢労働者が安心して安全に働ける職場環境の実現のため、昨年3月に策定したエイジフレンドリーガイドラインに基づく取組を推進するとともに、令和2年度から中小企業による高年齢労働者の安全・健康確保措置への支援（エイジフレンドリー補助金）を行ってまいりました。本年も引き続き、これらの取組を実施し、更なる普及・啓発に努めてまいります。

転倒による労働災害については、特に高齢の女性で被災が多くなっています。また、積雪のある地域では、特に冬季に多く発生しています。「STOP! 転倒災害プロジェクト」の実施要綱に基づく、視聴覚教材の活用、転倒危険箇所への明示、高齢の女性労働者への配慮、冬季における防止対策などを推進してまいります。

また、車両系建設機械及び荷役運搬機械等の特定自主検査の対象となる機械を起因物とする労働災害も多く発生しております。これら機械での労働災害を減少させるためには、現場での安全な作業が行われることが重要であることは言うまでもありませんが、その前提として、機械を安全に使用できるよう適切に検査・整備がなされている必要があります。貴協会並びに会員事業者の皆様におかれては、引き続き適切な特定自主検査の実施に努めていただくようお願いいたします。

最後に、労働災害を減少させるためには、皆様のたゆまぬ継続的な安全活動が重要です。厚生労働省では、皆様の安全に対する取組を最大限支援してまいりますので、今年も一年、どうぞよろしくお願いたします。

令和元年度 特定自主検査実施状況（検査業者によるもの）

建設荷役車両安全技術協会 本部

検査業者は、労働安全衛生法及びこれに基づく命令に係る登録及び指定に関する省令の第19条の21の規定により、毎年度、特定自主検査の実施状況を、登録を受けている厚生労働大臣又は都道府県労働局長あてに報告しなければならないとされています。

表1は、令和元年度分として報告のあった実施状況を集計し、平成30年度と比較したものです。

フォークリフト、不整地運搬車、車両系建設機械及び高所作業車についての特定自主検査対象機械の実施台数は1,318,187台で、平成30年度に比べ33,426台（2.6%）の増加となっています。

都道府県別の検査者数・実施台数については表2以下を参照してください。

[資料提供：厚生労働省]

表1 検査業者による特定自主検査検査者数及び実施台数(全国集計)

単位：検査者数(人)、検査実施台数(台)

| 登録別 機械等の種 | | 大臣登録 | | 労働局長登録 | | 合計 | | |
|--------------|-------------------------|--------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|
| | | 検査者数 | 検査実施台数 | 検査者数 | 検査実施台数 | 検査者数 | 検査実施台数 | |
| フォークリフト | H30年度 | 6,465 | 405,807 | 10,260 | 369,391 | 16,725 | 775,198 | |
| | R元年度 | 6,561 | 417,303 | 10,478 | 382,709 | 17,039 | 800,012 | |
| | 増減率 | 1.5% | 2.8% | 2.1% | 3.6% | 1.9% | 3.2% | |
| 不整地運搬車 | H30年度 | 6,372 | 1,397 | 7,484 | 3,064 | 13,856 | 4,461 | |
| | R元年度 | 6,433 | 1,455 | 7,516 | 3,114 | 13,949 | 4,569 | |
| | 増減率 | 1.0% | 4.2% | 0.4% | 1.6% | 0.7% | 2.4% | |
| 車両系建設機械 | 整地・運搬・積込み用 ・掘削用及び解体用 | H30年度 | 7,968 | 194,324 | 11,508 | 217,028 | 19,476 | 411,352 |
| | | R元年度 | 8,002 | 203,161 | 11,570 | 217,848 | 19,572 | 421,009 |
| | | 増減率 | 0.4% | 4.5% | 0.5% | 0.4% | 0.5% | 2.3% |
| | 基礎工事用 | H30年度 | 5,551 | 3,886 | 5,536 | 8,469 | 11,087 | 12,355 |
| | | R元年度 | 5,541 | 4,320 | 5,543 | 8,356 | 11,084 | 12,676 |
| | | 増減率 | -0.2% | 11.2% | 0.1% | -1.3% | 0.0% | 2.6% |
| | 締固め用 | H30年度 | 5,628 | 7,882 | 6,716 | 16,991 | 12,344 | 24,873 |
| | | R元年度 | 5,680 | 8,098 | 6,704 | 16,146 | 12,384 | 24,244 |
| | | 増減率 | 0.9% | 2.7% | -0.2% | -5.0% | 0.3% | -2.5% |
| | コンクリート 打設用 | H30年度 | 128 | 611 | 714 | 3,856 | 842 | 4,467 |
| | | R元年度 | 177 | 678 | 674 | 3,833 | 851 | 4,511 |
| | | 増減率 | 38.3% | 11.0% | -5.6% | -0.6% | 1.1% | 1.0% |
| | 計 | H30年度 | 19,275 | 206,703 | 24,474 | 246,344 | 43,749 | 453,047 |
| | | R元年度 | 19,400 | 216,257 | 24,491 | 246,183 | 43,891 | 462,440 |
| | | 増減率 | 0.6% | 4.6% | 0.1% | -0.1% | 0.3% | 2.1% |
| | 高所作業車 | H30年度 | 2,180 | 11,582 | 4,336 | 40,473 | 6,516 | 52,055 |
| R元年度 | | 2,262 | 11,585 | 4,427 | 39,581 | 6,689 | 51,166 | |
| 増減率 | | 3.8% | 0.0% | 2.1% | -2.2% | 2.7% | -1.7% | |
| 合計 | H30年度 | 34,292 | 625,489 | 46,554 | 659,272 | 80,846 | 1,284,761 | |
| | R元年度 | 34,656 | 646,600 | 46,912 | 671,587 | 81,568 | 1,318,187 | |
| | 増減率 | 1.1% | 3.4% | 0.8% | 1.9% | 0.9% | 2.6% | |

表2 令和元年度 特定自主検査検査者数 厚生労働大臣登録 都道府県別集計

| | | 特定自主検査を実施する者の数 | | | | | | | 合計 |
|-------|------|----------------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|
| | | フォーグリフト | 不整地 | 整地 | 基礎工事 | 締固め | コンクリート | 高所 | |
| 1 | 北海道 | 182 | 340 | 459 | 313 | 339 | 1 | 97 | 1,731 |
| 2 | 青森県 | 97 | 182 | 212 | 160 | 161 | 1 | 38 | 851 |
| 3 | 岩手県 | 73 | 184 | 209 | 153 | 167 | 7 | 55 | 848 |
| 4 | 宮城県 | 155 | 230 | 268 | 198 | 200 | 10 | 70 | 1,131 |
| 5 | 秋田県 | 75 | 112 | 124 | 70 | 75 | 0 | 18 | 474 |
| 6 | 山形県 | 54 | 69 | 70 | 53 | 53 | 0 | 14 | 313 |
| 7 | 福島県 | 69 | 105 | 104 | 83 | 83 | 6 | 21 | 471 |
| 8 | 茨城県 | 136 | 106 | 120 | 87 | 77 | 0 | 41 | 567 |
| 9 | 栃木県 | 106 | 103 | 110 | 83 | 83 | 0 | 26 | 511 |
| 10 | 群馬県 | 101 | 55 | 88 | 52 | 56 | 9 | 6 | 367 |
| 11 | 埼玉県 | 317 | 232 | 339 | 247 | 248 | 6 | 116 | 1,505 |
| 12 | 千葉県 | 248 | 216 | 309 | 209 | 200 | 10 | 79 | 1,271 |
| 13 | 東京都 | 229 | 155 | 204 | 106 | 121 | 1 | 88 | 904 |
| 14 | 神奈川県 | 284 | 209 | 278 | 144 | 157 | 13 | 89 | 1,174 |
| 15 | 新潟県 | 173 | 249 | 295 | 218 | 221 | 5 | 48 | 1,209 |
| 16 | 富山県 | 77 | 102 | 137 | 110 | 105 | 8 | 33 | 572 |
| 17 | 石川県 | 96 | 117 | 150 | 117 | 119 | 6 | 45 | 650 |
| 18 | 福井県 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 1 | 12 | 98 |
| 19 | 山梨県 | 17 | 51 | 53 | 49 | 47 | 0 | 15 | 232 |
| 20 | 長野県 | 119 | 165 | 207 | 138 | 151 | 3 | 63 | 846 |
| 21 | 岐阜県 | 167 | 152 | 209 | 130 | 136 | 3 | 68 | 865 |
| 22 | 静岡県 | 109 | 144 | 147 | 94 | 98 | 2 | 20 | 614 |
| 23 | 愛知県 | 596 | 401 | 575 | 368 | 357 | 8 | 271 | 2,576 |
| 24 | 三重県 | 217 | 162 | 223 | 141 | 144 | 3 | 100 | 990 |
| 25 | 滋賀県 | 112 | 30 | 54 | 18 | 25 | 0 | 12 | 251 |
| 26 | 京都府 | 133 | 131 | 150 | 91 | 103 | 1 | 40 | 649 |
| 27 | 大阪府 | 537 | 275 | 369 | 224 | 237 | 1 | 136 | 1,779 |
| 28 | 兵庫県 | 246 | 190 | 220 | 167 | 155 | 12 | 67 | 1,057 |
| 29 | 奈良県 | 42 | 54 | 58 | 40 | 45 | 4 | 15 | 258 |
| 30 | 和歌山県 | 54 | 91 | 103 | 87 | 86 | 6 | 20 | 447 |
| 31 | 鳥取県 | 48 | 49 | 59 | 44 | 45 | 6 | 17 | 268 |
| 32 | 島根県 | 67 | 89 | 102 | 86 | 87 | 5 | 33 | 469 |
| 33 | 岡山県 | 187 | 134 | 172 | 126 | 127 | 0 | 65 | 811 |
| 34 | 広島県 | 206 | 161 | 235 | 140 | 138 | 2 | 145 | 1,027 |
| 35 | 山口県 | 64 | 92 | 102 | 69 | 75 | 0 | 13 | 415 |
| 36 | 徳島県 | 54 | 94 | 105 | 92 | 94 | 5 | 6 | 450 |
| 37 | 香川県 | 59 | 96 | 106 | 80 | 84 | 5 | 24 | 454 |
| 38 | 愛媛県 | 126 | 112 | 147 | 107 | 104 | 4 | 33 | 633 |
| 39 | 高知県 | 39 | 52 | 62 | 61 | 52 | 4 | 11 | 281 |
| 40 | 福岡県 | 375 | 337 | 384 | 274 | 277 | 1 | 92 | 1,740 |
| 41 | 佐賀県 | 114 | 64 | 84 | 54 | 60 | 8 | 31 | 415 |
| 42 | 長崎県 | 93 | 98 | 112 | 82 | 85 | 5 | 20 | 495 |
| 43 | 熊本県 | 90 | 90 | 103 | 59 | 68 | 0 | 18 | 428 |
| 44 | 大分県 | 35 | 68 | 69 | 61 | 63 | 0 | 5 | 301 |
| 45 | 宮崎県 | 58 | 102 | 116 | 91 | 95 | 5 | 9 | 476 |
| 46 | 鹿児島県 | 86 | 112 | 127 | 102 | 111 | 0 | 13 | 551 |
| 47 | 沖縄県 | 22 | 54 | 56 | 46 | 49 | 0 | 4 | 231 |
| 計 | | 6,561 | 6,433 | 8,002 | 5,541 | 5,680 | 177 | 2,262 | 34,656 |
| | | フォーグリフト | 不整地 | 整地 | 基礎工事 | 締固め | コンクリート | 高所 | 合計 |
| 前年度実績 | | 6,465 | 6,372 | 7,968 | 5,551 | 5,628 | 128 | 2,180 | 34,292 |
| 増減 | | 96 | 61 | 34 | -10 | 52 | 49 | 82 | 364 |

表3 令和元年度 特定自主検査実施台数 厚生労働大臣登録 都道府県別集計

| | | 特定自主検査を行った機械の数 | | | | | | | 合計 |
|----|-------|----------------|-------|---------|-------|-------|--------|--------|---------|
| | | フォークリフト | 不整地 | 整地 | 基礎工事 | 締固め | コンクリート | 高所 | |
| 1 | 北海道 | 5,203 | 115 | 12,391 | 62 | 108 | 0 | 435 | 18,314 |
| 2 | 青森県 | 3,733 | 19 | 5,807 | 8 | 164 | 5 | 17 | 9,753 |
| 3 | 岩手県 | 3,115 | 50 | 5,086 | 39 | 288 | 5 | 110 | 8,693 |
| 4 | 宮城県 | 7,335 | 111 | 7,694 | 133 | 408 | 10 | 685 | 16,376 |
| 5 | 秋田県 | 2,145 | 54 | 2,532 | 16 | 79 | 0 | 69 | 4,895 |
| 6 | 山形県 | 1,802 | 16 | 2,302 | 5 | 68 | 0 | 26 | 4,219 |
| 7 | 福島県 | 4,212 | 44 | 3,473 | 19 | 146 | 2 | 145 | 8,041 |
| 8 | 茨城県 | 8,499 | 23 | 3,374 | 179 | 85 | 0 | 146 | 12,306 |
| 9 | 栃木県 | 5,166 | 4 | 1,564 | 28 | 43 | 0 | 87 | 6,892 |
| 10 | 群馬県 | 7,372 | 33 | 3,004 | 9 | 136 | 126 | 1 | 10,681 |
| 11 | 埼玉県 | 22,556 | 13 | 7,793 | 246 | 200 | 2 | 1,339 | 32,149 |
| 12 | 千葉県 | 17,030 | 28 | 7,209 | 768 | 195 | 233 | 442 | 25,905 |
| 13 | 東京都 | 14,371 | 14 | 5,320 | 384 | 188 | 0 | 585 | 20,862 |
| 14 | 神奈川県 | 20,909 | 21 | 6,810 | 161 | 168 | 51 | 601 | 28,721 |
| 15 | 新潟県 | 6,871 | 59 | 11,303 | 139 | 396 | 0 | 261 | 19,029 |
| 16 | 富山県 | 2,198 | 7 | 2,437 | 27 | 117 | 0 | 139 | 4,925 |
| 17 | 石川県 | 4,588 | 9 | 1,618 | 18 | 28 | 5 | 65 | 6,331 |
| 18 | 福井県 | 1,044 | 0 | 860 | 0 | 27 | 0 | 0 | 1,931 |
| 19 | 山梨県 | 1,905 | 7 | 2,140 | 10 | 71 | 0 | 118 | 4,251 |
| 20 | 長野県 | 7,744 | 39 | 7,279 | 25 | 257 | 0 | 66 | 15,410 |
| 21 | 岐阜県 | 15,491 | 40 | 6,858 | 54 | 319 | 1 | 126 | 22,889 |
| 22 | 静岡県 | 9,078 | 42 | 5,516 | 106 | 137 | 87 | 6 | 14,972 |
| 23 | 愛知県 | 43,884 | 45 | 9,914 | 491 | 483 | 80 | 1,075 | 55,972 |
| 24 | 三重県 | 17,218 | 29 | 4,947 | 241 | 289 | 3 | 400 | 23,127 |
| 25 | 滋賀県 | 11,385 | 2 | 635 | 51 | 28 | 0 | 36 | 12,137 |
| 26 | 京都府 | 8,748 | 18 | 3,030 | 85 | 100 | 0 | 112 | 12,093 |
| 27 | 大阪府 | 47,948 | 21 | 5,874 | 257 | 183 | 0 | 900 | 55,183 |
| 28 | 兵庫県 | 15,245 | 31 | 4,570 | 40 | 96 | 10 | 327 | 20,319 |
| 29 | 奈良県 | 2,955 | 12 | 1,203 | 0 | 37 | 0 | 9 | 4,216 |
| 30 | 和歌山県 | 2,009 | 21 | 2,449 | 7 | 159 | 0 | 27 | 4,672 |
| 31 | 鳥取県 | 2,884 | 38 | 1,595 | 14 | 92 | 0 | 23 | 4,646 |
| 32 | 島根県 | 2,897 | 28 | 3,301 | 72 | 208 | 14 | 41 | 6,561 |
| 33 | 岡山県 | 13,046 | 43 | 3,618 | 38 | 157 | 0 | 51 | 16,953 |
| 34 | 広島県 | 15,012 | 36 | 4,504 | 85 | 121 | 7 | 796 | 20,561 |
| 35 | 山口県 | 3,582 | 21 | 3,581 | 25 | 85 | 0 | 21 | 7,315 |
| 36 | 徳島県 | 2,641 | 19 | 2,883 | 7 | 153 | 0 | 2 | 5,705 |
| 37 | 香川県 | 3,459 | 21 | 3,775 | 55 | 195 | 1 | 466 | 7,972 |
| 38 | 愛媛県 | 10,058 | 42 | 4,894 | 32 | 306 | 0 | 584 | 15,916 |
| 39 | 高知県 | 2,790 | 23 | 2,581 | 3 | 112 | 8 | 15 | 5,532 |
| 40 | 福岡県 | 19,331 | 42 | 6,275 | 272 | 257 | 0 | 656 | 26,833 |
| 41 | 佐賀県 | 5,546 | 17 | 2,102 | 44 | 171 | 14 | 300 | 8,194 |
| 42 | 長崎県 | 4,538 | 11 | 2,632 | 28 | 154 | 14 | 27 | 7,404 |
| 43 | 熊本県 | 3,761 | 41 | 4,142 | 8 | 168 | 0 | 218 | 8,338 |
| 44 | 大分県 | 485 | 38 | 2,397 | 5 | 122 | 0 | 0 | 3,047 |
| 45 | 宮崎県 | 2,356 | 63 | 2,599 | 4 | 264 | 0 | 20 | 5,306 |
| 46 | 鹿児島県 | 2,971 | 42 | 4,357 | 15 | 307 | 0 | 10 | 7,702 |
| 47 | 沖縄県 | 187 | 3 | 2,933 | 5 | 223 | 0 | 0 | 3,351 |
| | 計 | 417,303 | 1,455 | 203,161 | 4,320 | 8,098 | 678 | 11,585 | 646,600 |
| | | フォークリフト | 不整地 | 整地 | 基礎工事 | 締固め | コンクリート | 高所 | 合計 |
| | 前年度実績 | 405,807 | 1,397 | 194,324 | 3,886 | 7,882 | 611 | 11,582 | 625,489 |
| | 増減 | 11,496 | 58 | 8,837 | 434 | 216 | 67 | 3 | 21,111 |

表4 令和元年度 特定自主検査検査者数 都道府県労働局長登録 都道府県別集計

| | | 特定自主検査を実施する者の数 | | | | | | | 合計 |
|-------|------|----------------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|
| | | フォークリフト | 不整地 | 整地 | 基礎工事 | 締固め | コンクリート | 高所 | |
| 1 | 北海道 | 698 | 583 | 1,047 | 375 | 459 | 77 | 337 | 3,576 |
| 2 | 青森県 | 213 | 187 | 272 | 146 | 154 | 16 | 112 | 1,100 |
| 3 | 岩手県 | 169 | 247 | 301 | 166 | 207 | 16 | 86 | 1,192 |
| 4 | 宮城県 | 175 | 160 | 255 | 124 | 138 | 6 | 73 | 931 |
| 5 | 秋田県 | 141 | 223 | 317 | 164 | 201 | 9 | 94 | 1,149 |
| 6 | 山形県 | 152 | 176 | 259 | 147 | 142 | 12 | 62 | 950 |
| 7 | 福島県 | 257 | 302 | 396 | 216 | 243 | 6 | 127 | 1,547 |
| 8 | 茨城県 | 335 | 182 | 362 | 130 | 169 | 6 | 85 | 1,269 |
| 9 | 栃木県 | 341 | 202 | 327 | 138 | 188 | 11 | 80 | 1,287 |
| 10 | 群馬県 | 342 | 175 | 278 | 85 | 166 | 8 | 103 | 1,157 |
| 11 | 埼玉県 | 399 | 241 | 338 | 171 | 233 | 14 | 94 | 1,490 |
| 12 | 千葉県 | 322 | 155 | 231 | 97 | 99 | 15 | 83 | 1,002 |
| 13 | 東京都 | 327 | 56 | 162 | 58 | 62 | 19 | 113 | 797 |
| 14 | 神奈川県 | 301 | 145 | 262 | 130 | 169 | 15 | 80 | 1,102 |
| 15 | 新潟県 | 388 | 341 | 504 | 189 | 261 | 39 | 169 | 1,891 |
| 16 | 富山県 | 248 | 218 | 287 | 180 | 210 | 15 | 92 | 1,250 |
| 17 | 石川県 | 117 | 167 | 220 | 165 | 176 | 10 | 91 | 946 |
| 18 | 福井県 | 175 | 179 | 254 | 147 | 147 | 22 | 126 | 1,050 |
| 19 | 山梨県 | 73 | 91 | 111 | 74 | 83 | 1 | 24 | 457 |
| 20 | 長野県 | 263 | 260 | 404 | 108 | 223 | 24 | 191 | 1,473 |
| 21 | 岐阜県 | 189 | 136 | 194 | 109 | 116 | 7 | 68 | 819 |
| 22 | 静岡県 | 532 | 188 | 387 | 154 | 156 | 29 | 169 | 1,615 |
| 23 | 愛知県 | 695 | 200 | 361 | 172 | 202 | 29 | 248 | 1,907 |
| 24 | 三重県 | 127 | 102 | 144 | 85 | 102 | 8 | 56 | 624 |
| 25 | 滋賀県 | 139 | 97 | 134 | 77 | 85 | 5 | 51 | 588 |
| 26 | 京都府 | 89 | 69 | 114 | 39 | 72 | 6 | 59 | 448 |
| 27 | 大阪府 | 219 | 45 | 156 | 92 | 61 | 18 | 104 | 695 |
| 28 | 兵庫県 | 397 | 158 | 366 | 186 | 172 | 27 | 177 | 1,483 |
| 29 | 奈良県 | 81 | 27 | 54 | 28 | 25 | 4 | 29 | 248 |
| 30 | 和歌山県 | 129 | 81 | 137 | 48 | 67 | 6 | 37 | 505 |
| 31 | 鳥取県 | 78 | 88 | 93 | 74 | 88 | 7 | 46 | 474 |
| 32 | 島根県 | 112 | 97 | 138 | 81 | 100 | 8 | 57 | 593 |
| 33 | 岡山県 | 166 | 163 | 226 | 115 | 131 | 9 | 82 | 892 |
| 34 | 広島県 | 246 | 246 | 314 | 132 | 191 | 16 | 121 | 1,266 |
| 35 | 山口県 | 208 | 199 | 221 | 113 | 148 | 21 | 119 | 1,029 |
| 36 | 徳島県 | 67 | 51 | 68 | 57 | 52 | 10 | 20 | 325 |
| 37 | 香川県 | 126 | 63 | 104 | 58 | 57 | 10 | 37 | 455 |
| 38 | 愛媛県 | 175 | 132 | 141 | 83 | 106 | 13 | 68 | 718 |
| 39 | 高知県 | 58 | 73 | 89 | 62 | 66 | 13 | 27 | 388 |
| 40 | 福岡県 | 263 | 133 | 256 | 158 | 156 | 12 | 101 | 1,079 |
| 41 | 佐賀県 | 41 | 37 | 44 | 20 | 30 | 5 | 28 | 205 |
| 42 | 長崎県 | 114 | 105 | 124 | 90 | 93 | 16 | 58 | 600 |
| 43 | 熊本県 | 134 | 105 | 183 | 67 | 98 | 10 | 55 | 652 |
| 44 | 大分県 | 166 | 134 | 221 | 53 | 114 | 2 | 88 | 778 |
| 45 | 宮崎県 | 138 | 174 | 252 | 138 | 169 | 11 | 80 | 962 |
| 46 | 鹿児島県 | 220 | 237 | 329 | 135 | 227 | 20 | 128 | 1,296 |
| 47 | 沖縄県 | 133 | 86 | 133 | 107 | 90 | 11 | 92 | 652 |
| 計 | | 10,478 | 7,516 | 11,570 | 5,543 | 6,704 | 674 | 4,427 | 46,912 |
| | | フォークリフト | 不整地 | 整地 | 基礎工事 | 締固め | コンクリート | 高所 | 合計 |
| 前年度実績 | | 10,260 | 7,484 | 11,508 | 5,536 | 6,716 | 714 | 4,336 | 46,554 |
| 増減 | | 218 | 32 | 62 | 7 | -12 | -40 | 91 | 358 |

表5 令和元年度 特定自主検査実施台数 都道府県労働局長登録 都道府県別集計

| | | 特定自主検査を行った機械の数 | | | | | | | 合計 |
|----|-------|----------------|-------|---------|-------|--------|--------|--------|---------|
| | | フォークリフト | 不整地 | 整地 | 基礎工事 | 締固め | コンクリート | 高所 | |
| 1 | 北海道 | 20,476 | 170 | 12,280 | 324 | 231 | 229 | 2,297 | 36,007 |
| 2 | 青森県 | 4,305 | 90 | 4,661 | 300 | 278 | 51 | 721 | 10,406 |
| 3 | 岩手県 | 5,339 | 120 | 7,517 | 126 | 352 | 23 | 681 | 14,158 |
| 4 | 宮城県 | 8,384 | 62 | 3,910 | 345 | 392 | 10 | 607 | 13,710 |
| 5 | 秋田県 | 2,827 | 143 | 7,804 | 87 | 316 | 24 | 473 | 11,674 |
| 6 | 山形県 | 5,379 | 50 | 7,033 | 143 | 248 | 119 | 524 | 13,496 |
| 7 | 福島県 | 11,022 | 247 | 13,782 | 216 | 1,305 | 10 | 1,147 | 27,729 |
| 8 | 茨城県 | 20,005 | 136 | 7,015 | 151 | 528 | 119 | 1,361 | 29,315 |
| 9 | 栃木県 | 15,391 | 143 | 9,777 | 78 | 935 | 29 | 1,201 | 27,554 |
| 10 | 群馬県 | 12,838 | 46 | 5,288 | 113 | 475 | 15 | 841 | 19,616 |
| 11 | 埼玉県 | 25,710 | 26 | 8,716 | 798 | 456 | 241 | 1,624 | 37,571 |
| 12 | 千葉県 | 13,757 | 15 | 2,813 | 291 | 186 | 137 | 2,038 | 19,237 |
| 13 | 東京都 | 19,214 | 6 | 1,684 | 103 | 167 | 414 | 194 | 21,782 |
| 14 | 神奈川県 | 16,886 | 29 | 3,973 | 402 | 200 | 411 | 1,430 | 23,331 |
| 15 | 新潟県 | 8,710 | 108 | 7,499 | 303 | 603 | 40 | 1,099 | 18,362 |
| 16 | 富山県 | 9,181 | 26 | 5,067 | 103 | 188 | 61 | 528 | 15,154 |
| 17 | 石川県 | 3,900 | 38 | 3,542 | 93 | 62 | 24 | 582 | 8,241 |
| 18 | 福井県 | 5,448 | 84 | 6,296 | 132 | 461 | 27 | 486 | 12,934 |
| 19 | 山梨県 | 4,106 | 10 | 1,983 | 82 | 92 | 0 | 255 | 6,528 |
| 20 | 長野県 | 8,121 | 247 | 9,978 | 145 | 1,112 | 56 | 1,406 | 21,065 |
| 21 | 岐阜県 | 3,765 | 28 | 3,651 | 124 | 228 | 26 | 885 | 8,707 |
| 22 | 静岡県 | 33,956 | 44 | 6,803 | 265 | 469 | 65 | 1,428 | 43,030 |
| 23 | 愛知県 | 22,009 | 21 | 8,167 | 507 | 632 | 286 | 2,221 | 33,843 |
| 24 | 三重県 | 2,521 | 28 | 2,551 | 83 | 214 | 127 | 445 | 5,969 |
| 25 | 滋賀県 | 4,337 | 15 | 3,575 | 142 | 233 | 1 | 356 | 8,659 |
| 26 | 京都府 | 848 | 31 | 2,430 | 108 | 132 | 47 | 627 | 4,223 |
| 27 | 大阪府 | 7,451 | 5 | 1,091 | 474 | 80 | 376 | 1,269 | 10,746 |
| 28 | 兵庫県 | 21,385 | 98 | 5,771 | 258 | 450 | 303 | 1,262 | 29,527 |
| 29 | 奈良県 | 2,864 | 16 | 845 | 42 | 38 | 31 | 339 | 4,175 |
| 30 | 和歌山県 | 3,757 | 22 | 1,652 | 51 | 84 | 22 | 278 | 5,866 |
| 31 | 鳥取県 | 632 | 32 | 1,698 | 46 | 226 | 28 | 205 | 2,867 |
| 32 | 島根県 | 842 | 53 | 2,150 | 57 | 142 | 27 | 391 | 3,662 |
| 33 | 岡山県 | 3,066 | 87 | 4,408 | 238 | 513 | 37 | 745 | 9,094 |
| 34 | 広島県 | 6,649 | 136 | 5,690 | 169 | 391 | 66 | 875 | 13,976 |
| 35 | 山口県 | 6,078 | 36 | 1,420 | 212 | 72 | 7 | 621 | 8,446 |
| 36 | 徳島県 | 2,394 | 12 | 1,761 | 76 | 191 | 6 | 345 | 4,785 |
| 37 | 香川県 | 4,257 | 7 | 1,863 | 29 | 186 | 19 | 709 | 7,070 |
| 38 | 愛媛県 | 1,790 | 67 | 2,656 | 75 | 175 | 13 | 542 | 5,318 |
| 39 | 高知県 | 406 | 28 | 1,945 | 76 | 122 | 29 | 352 | 2,958 |
| 40 | 福岡県 | 7,841 | 30 | 3,646 | 238 | 338 | 95 | 987 | 13,175 |
| 41 | 佐賀県 | 665 | 7 | 480 | 62 | 67 | 0 | 152 | 1,433 |
| 42 | 長崎県 | 765 | 42 | 2,780 | 53 | 346 | 29 | 736 | 4,751 |
| 43 | 熊本県 | 5,126 | 71 | 3,135 | 127 | 254 | 4 | 605 | 9,322 |
| 44 | 大分県 | 5,325 | 141 | 4,341 | 52 | 543 | 14 | 643 | 11,059 |
| 45 | 宮崎県 | 4,293 | 119 | 4,728 | 92 | 400 | 5 | 484 | 10,121 |
| 46 | 鹿児島県 | 5,243 | 76 | 5,481 | 184 | 703 | 87 | 806 | 12,580 |
| 47 | 沖縄県 | 3,445 | 66 | 2,512 | 181 | 330 | 43 | 1,778 | 8,355 |
| | 計 | 382,709 | 3,114 | 217,848 | 8,356 | 16,146 | 3,833 | 39,581 | 671,587 |
| | | フォークリフト | 不整地 | 整地 | 基礎工事 | 締固め | コンクリート | 高所 | 合計 |
| | 前年度実績 | 369,391 | 3,064 | 217,028 | 8,469 | 16,991 | 3,856 | 40,473 | 659,272 |
| | 増減 | 13,318 | 50 | 820 | -113 | -845 | -23 | -892 | 12,315 |

広報

グラフで見る特自検 第5回

特定自主検査に係る現況等の調査結果報告

建設荷役車両安全技術協会 調査部

建荷協における新たな活動施策を企画立案し、特自検のさらなる普及促進につなげることを目的に、「特定自主検査に係る現況等の調査」を実施しました。

昨年の第1次調査に続き、本年行った第2次調査のアンケート結果がまとまりましたので、本誌にて以降数回に分けて紹介していきます。まずは第1次調査の回答で割合の高かった人材の不足感についてから紹介します。なお、調査の概要については2. 調査概要をご覧ください。

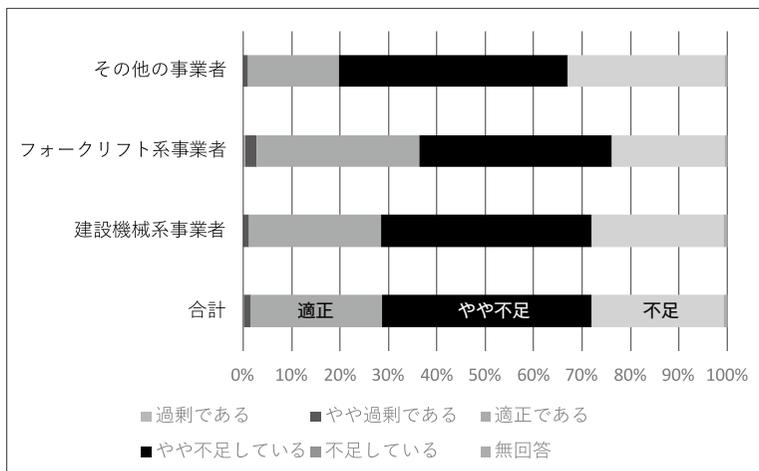
1. 人材（社員）の過不足について

問1 全体的な人材の過不足状況はどうなっているか

問1に「不足している」と「やや不足している」と回答した事業所の割合は合計では70.7%となっています。

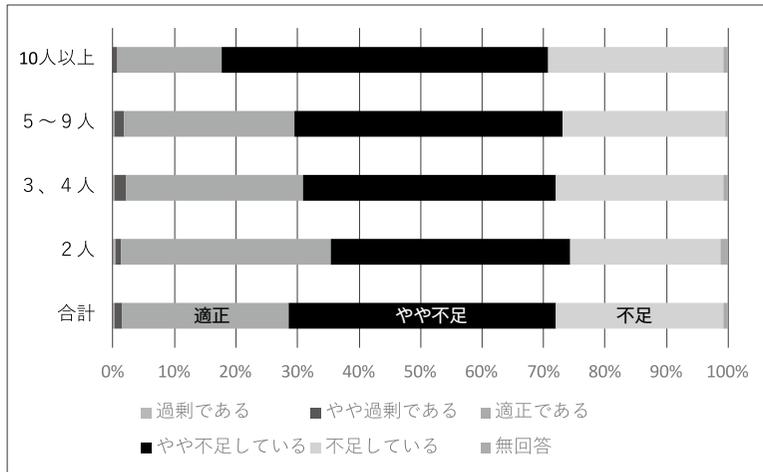
この「不足している」と「やや不足してい

る」を検査業者の 카테고리別にみると、その他の検査業者が79.8%で、建機系の70.9%、フォークリフト系の63.2%より、その他の検査業者の割合が最も高くなっています。



グラフ1 人材の過不足状況（カテゴリ別）

この「不足している」と「やや不足している」を、事業所の検査員の規模別にみるとグラフ2のようになります。



グラフ2 人材の過不足状況（検査員規模別）

事業所規模（検査員数規模）が大きくなるほど人手不足感は高まり、検査員数10人以上の事業所では81.6%が人手不足と感じています。

規模の大きい事業所では規模に応じた人材の確保が重要と思われます。

次号では具体的にどのような人材に人手不足を感じているかなどについて紹介します。

2. 調査概要

この調査の実施概要は以下のとおりです。

表1 アンケート実施概要

| | |
|------|---------------------------------|
| 調査対象 | 3,431社（検査業者登録をしている会員企業（事業所を含む）） |
| 調査方式 | 郵送による自記方式のアンケート |
| 調査期間 | 2020年1月7日～2020年2月18日 |
| 発送数 | 3,431社 |
| 回答数 | 1,386社 |
| 回答率 | 40.3% |

なお、回答企業の検査業者カテゴリー区分は以下のとおりとしました。

1) 建設機械系検査業者

2019年度における「他社から依頼を受けて実施する機械、車両区分」の検査実施台数の「車両系建設機械」の割合が70%以上の企業（616社）

2) フォークリフト系検査業者

(1)と同様に2019年度における「他社から依頼を受けて実施する機械、車両区分」の検査実施台数の「フォークリフト」の割合が70%以上の企業（372社）

3) その他の検査業者

上記1)、2)以外の企業（233社）

【アンケートの主な質問項目】

- I 特自検の検査員資格の取得について
 - 検査員の人数、年齢別構成
 - 検査員資格の取得方法、取得経緯
- II 資格取得研修、資料について
 - 研修の実施時期、日取りや開催地
 - 検査マニュアル等の活用
- III 社員の状況等
 - 人材の過不足状況等
 - 雇用、福利厚生
 - 労基法改正への対応
- IV 企業の状況
 - 企業の形態、業種などについて
- V 特自検対象の状況について
 - 特自検対象機械の数
- VI 特自検を取り巻く市況について
 - 受注の状況や補修など

以上

広報

特自検Q&A

第5回

建設荷役車両安全技術協会 本部

皆様から建荷協にお寄せいただいた「特定自主検査業務に関わる質問」の中より、重要なもの、繰り返しいただいたもの等をQ&Aの形で紹介していきます。

より適正な検査の実施および信頼される特自検管理業務の参考にさせていただければ幸いです。

1. 林業現場で使用する機械の特自検について？

Q 1：整地・運搬等の検査業者です。先日修理のため、林業関係のお客様を訪問しました。

林道開削に使う油圧ショベル（バケット仕様）の不具合を修理したときに特自検の標章が貼付されていないので、特自検を推奨したところ、これは、林業の一環として使用しているので、特自検は必要ないと言われました。本当にそうなのでしょうか？



A 1：ご質問の内容から、この機械は林業の一環として使用されているようですが、下記の厚労省より出された問答集では、製造メーカーが車両系建設機械

として出荷した機械を使用する場合は、作業現場によらず特自検が必要とされていますので、油圧ショベルとして販売されたものであれば特自検が必要となります。

なお、油圧ショベルのバケットが木材用グラブ（伐木等機械）に組み替えられた専用機として出荷された機械は、車両系建設機械ではないと解釈できますが、バケット等を取り付けて建設機械本来の作業に使用するユーザーに対しては、特自検の実施を勧めてください。

平成25年8月30日付け事務連絡「解体用機械等に対する規制に関する問答について（追加・修正版）」（厚生労働省労働基準局安全衛生部）

問29 製造メーカーが車両系建設機械として出荷した機械を、その後、除雪や農業用に使用した場合は特自検の対象となるのか。

答 製造メーカーが車両系建設機械として出荷した以上は、用途によらず車両系建設機械となり、今般の車両系建設機械に係る規則等改正の対象となる。

2. 新車購入のトラック型高所作業車の1年目の特自検について

Q 2：新車で購入したトラック型高所作業車（車両総重量8 t未満）の事業内点検についての質問です。

車検の初回は2年目ということもあり、今のところ12ヶ月点検簿がありません。

この場合、下部走行体部分の点検はどのようにすればよいのでしょうか？

A 2：お問い合わせの車両は、公道を走行するため、道路運送車両法第48条（定期点検整備）で定められている12ヶ月点検が必須と思われます。

本点検を実施の上、記録簿をコピーし添付すれば、重複の検査項目については、省略可能です。

また、12ヶ月点検前で、点検表がない場合には、下部走行体（トラック）の記録簿を使用して点検してください。

なお、ブレーキ等に異常がある場合などの分解は、道路運送車両法に定められた指定工場や分解整備工場以外では、実施出来ませんので、上記工場に持ち込んで点検整備を受けるようにしてください。

註：回答中の枠囲みは

法令 指針 その他

を示します。

3. エンジン式フォークリフトの制動・荷役装置部のチェックポイントについて

Q 3：この度、特自検査業の統括責任者となりました。

検査記録表のチェックを行う際のポイントやよく見られる不適切な記載例などを教えていただけると幸いです。

A 3：今回は、前回に引き続き「エンジン式フォークリフト 特定自主検査記録表」の制動装置・荷役装置（図1）のチェックポイントについて説明いたします。

① 駐車ブレーキ：

検査項目の中で「引き力」と「レバーの引きしろ」の両方に「✓」されている記録表が見受けられます。

駐車ブレーキがレバータイプの場合、トグル式とラチェット式では検査の仕方が異なります。

特定自主検査マニュアル（フォークリフト）にも記載されていますが、トグル式の場合、はかりを使用して「引き力」を測定し良否判定を行います。

また、ラチェット式の場合「レバーの引きしろ」については、引きしろの余裕の有無を確認して良否判定を行います。

したがって、どちらかは「一」で該当なしとなります。検査者にブレーキのタイプを確認してください。

② ホース、パイプ：

検査項目の「エア漏れ」に「✓」されている記録表については、注意が必要です。

エンジン式フォークリフト 特定自主検査記録表

3 年 間 保 存

| | | |
|--------------|-------|--------------|
| 証明書 発行日 | 年 月 日 | 様式SR-LE-01-H |
| 証明書 発行No. | | 標章 No. |

[建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づく検査共用]

| メーカー名 | | 管理No. | | 使用者住所 氏名又は名称 | | | | |
|------------------|-----------------------------|-----------------|---|---|---------------------|---------------------------|--------------|----------|
| 型式 | | | 走行 距離 | km | | | | |
| 製造 番号 | | | 稼働 時間 | h | | | | |
| 性能 (最大荷重) | | | 車検 有効期間 | kg | | | | |
| 検査 実施場所 | | | 検査業者登録番号 | | | | | |
| 検査 年月日 | | | 検査者 氏名 | 検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名 | | | | |
| 区分 | No. | 検査箇所 | | 検査内容 | | 検査方法 | 検査結果 良 不良 | 補修 内容 |
| | 1 | 本体 | a *始動性 | かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動 | | 目視、操作、聴診 | | |
| 制 動 装 置 | 26 | 走行ブレーキ | | ペダルの遊び、床板とのすき間、効き具合、エアの混入 | | 目視、操作、触診、スケール | | |
| | 27 | 駐車ブレーキ | ① | 効き具合、引き力、レバーの引きしろ、ラチェット部の損傷・摩耗 | | 目視、操作、はかり | | |
| | 28 | ロッド、リンク、ケーブル類 | | 損傷、緩み、がた、削りビンの欠損 | | 目視、触診 | | |
| | 29 | ホース、パイプ | ② | 油漏れ、エア漏れ、損傷、ひび割れ、老化、取付、車体との干渉 | | 目視、触診、レンチ等 | | |
| | 30 | オイルブレーキ | | マスターシリンダー・ホイールシリンダーの作動、油量、汚れ、油漏れ | | 目視、操作 | | |
| | 31 | エアブレーキ | | チャンパーロッドのストローク・戻り具合、エア漏れ、油漏れ | | 目視、スケール、検知器 | | |
| | 32 | ブレーキ倍力装置 | | チェック弁・リレー弁の作動、エア漏れ、油漏れ | | 目視、操作、検知器 | | |
| | 33 | ブレーキドラム、ブレーキシュー | | すき間、ライニングのはく離・損傷・摩耗、アンカーピンの腐食 | | 目視、操作、触診、ノギス、 レンチ等、探傷器 | | |
| | 34 | バックプレート | | き裂、損傷、変形、取付 | | 目視、レンチ等 | | |
| | 35 | ブレーキディスク、パッド | | パッドの引きずり・厚さ、ピストンの油漏れ、ディスク・キャリパーのき裂・損傷・摩耗、取付 | | 目視、ノギス、レンチ等、 探傷器 | | |
| 36 | 駐車ブレーキドラム、 ライニング (センター式) | | すき間、スプリングのへたり、ドラム取付*ドラムのき裂・損傷・ 摩耗、*ライニングのはく離・損傷・摩耗 | | 目視、ノギス、レンチ等、 探傷器 | | | |
| 37 | 駐車ブレーキ掛け忘れブザー | | スイッチの作動 | | 目視、操作 | | | |
| 38 | | | | | | | | |
| 荷 役 装 置 | 39 | フォーク | ③ | 止めピン部の変形・き裂・摩耗、フォーク先端の開き・段差・曲がり 根元部のき裂・摩耗 (測定値 mm) アッパー・ローアフック部のき裂・摩耗 | | 目視、触診、ノギス、 探傷器 | | |
| | 40 | マスト、リフトブラケット | | マストの変形・き裂・損傷、マストサポート部のがた、 キャップ取付、ブラケットの変形・き裂・損傷、ローラーの摩耗・ がた、ピン部のき裂 | | 目視、操作、触診、 レンチ等、探傷器 | | |
| | 41 | チェーン、チェーンホイール | ④ | 張り・伸び・き裂・変形・損傷・腐食、ホイールの変形・ 損傷・がた、取付 | | 目視、触診、ゲージ、レンチ等 | | |
| | 42 | アタッチメント装置 | | き裂、変形、損傷、摩耗、作動、異音、取付 | | 目視、触診、聴診、レンチ等 | | |
| | 43 | | | | | | | |
| 44 | 作動油タンク、フィルター | | タンクの油漏れ・油量・汚れ、*フィルターの汚れ・目詰まり・損傷 | | 目視、触診 | | | |

図 1 エンジン式フォークリフト 特定自主検査記録表
制動装置・荷役装置部

エアブレーキは、大型のフォークリフト以外では使用されていない場合がほとんどで、ブレーキフルードや作動油の液体が使われています。

検査を行った機械にエアブレーキが使用されているか、あるいは「エア漏れ」は該

当なしの「一」を記入すべきか、確認する必要があります。

③ フォーク：

検査項目の「根元部のき裂・摩耗 (測定値 mm)」の数値が、無記入の記録表が

見受けられます。

この検査項目は安全な作業に直結するもので、非常に重要です。測定値は必ず測定して、基準値以内であることを確認する必要があります。

記入漏れの場合は、検査者に必ず記入するようにご指導ください。

また、フォークの厚さが基準値以下の場合や摩耗限度に近く、次回検査時までに限度を超える可能性がある場合には、作業中にフォークが折損して重大な災害が発生することを防止するため、事業者への要請欄に必要な措置を記入してください。

なお、き裂検査は、カラーチェックにてフォークの根元やアッパー及びロアーフック部のき裂の有無の確認を行う重要な検査です。検査方法の「探傷器」に「✓」があ

り検査漏れのないこと及び問題がある場合には事業者へ適切な要請をしているかについて確認してください。

④ チェーン、チェーンホイール：

この項目も③のフォークと同様に重要な検査項目です。

チェーンの「伸び」についての検査が、「チェーンゲージ」を使用して適切に行われているかを確認します。検査方法の「ゲージ」に「✓」が必要となります。

「目視」だけによる検査では、異常を発見することは困難で見落とす恐れがあります。

特定自主検査マニュアル（フォークリフト）に記載されている適正な箇所を「チェーンゲージ」で測定しているか折に触れ確認してください。

本誌では、特自検に関わるご質問をお待ちしております。

質問が採用された方には、薄謝を進呈致します。

質問は以下の方法でお寄せ下さい。

- アンケート用紙をご利用ください
- 下記E-mailまで直接メールして頂いても結構です。

E-mail : koho@sacl.or.jp

あなたは特定自主検査記録表を 正しく書いていますか??

実務研修 記録表作成コースのご案内



特定自主検査の結果を
検査記録表に
正しく記録します。

正しい特定自主検査記録表の記入方法を学ぶ。

※ 特定自主検査を実施した場合、その結果を記録しておくことが労働安全衛生法第45条で定められています。

この検査結果は特定自主検査を実施した検査者(員)が、「検査記録表」に記入しますが、誰が見ても判るように正しく記録されていることが重要です。

検査記録表は機械の進歩にともなって改善しています。これに伴い、記録表の記入方法も改善されています。本研修を受け、最新の知識を身に着け、特定自主検査についての正しい検査方法および記録表の記入方法を修得することをお勧めします。

関係法令 労働安全衛生法 第45条 第1項
労働安全衛生規則 第151条の23、第169条、第194条の25

開催の予定は建荷協ホームページにてご確認ください。www.sacl.or.jp

特定自主検査記録表の記入要領(製品版)(TC-ZC-02-Q)

特定自主検査記録表は、機械性能の向上により随時改訂されています。最新の記録表についても正確に記入できる様、記入方法を解説しています。(R2.4.3改訂Q版発行)

製品版では本誌に掲載されている特定自主検査記録表の記入要領に加え、記入演習課題例を多数掲載しています。

| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|----------------|------------|----------|----------|
| 特定自主検査記録表の記入要領 | TC-ZC-02-Q | 440円(税込) | 550円(税込) |



技術解説

新型カウンタバランスタイプバッテリーフォークリフト “ALESIS (アレシス)” の開発

松山 輝雄*



電動式カウンタバランスフォークリフト
ALESISシリーズ (0.9t～3.5t)
※写真は2.5t車

1. はじめに

三菱ロジスネクスト(株) (以下、当社) 最初の新商品として積載荷重0.9～3.5tのカウン

ターバランスタイプバッテリーフォークリフトのフルモデルチェンジを行い、“ALESIS”として2019年11月より販売を開始した。

当社は、ニチュ三菱フォークリフト(株)とユニキャリア(株)が経営統合し、2017年10月に発足した。統合前の国内向け電動式カウンタバランス型フォークリフトは、ニチュブランドのTranser、Forcea、ユニキャリアブランドのFB-VIII、AGRES BXがあった(図1)。今回、それぞれが培ったモノづくりの経験と技術を会社統合によるSynergy効果をフルに活用し、このALESIS一機種に集約した。

ニチュ
Transer



ニチュ
Forcea



ユニキャリア
FB-VIII



ユニキャリア
AGRES BX



図1 統合前のカウンタ型バッテリーフォークリフト

* 三菱ロジスネクスト株式会社 技術本部 フォークリフト開発部 バッテリー車開発課長
建設荷役車両

ALESISはデザイン性、操作性、安全性などを追及し、低重心で安心感がある走行安定性、オペレータの多様化に対応し好みのフィーリングに設定できる機能を追加、初心者からベテランまであらゆるお客様に安心して長く使って頂ける商品を目指し開発した。本報では、この新型ALESISの特徴について紹介する。

2. デザイン

コンセプトは初心者からベテランまで、あらゆるお客様に安心して長く使って頂けるバッテリー車の実現。

そのために屋内使用イメージの従来バッテリー車をよりアウトドアでの実利用で満足頂ける仕様に向上させた。走行安定性と旋回安定性をハード面から高め、その性能を安全に快適に発揮するためのソフト制御に注力。レバーやペダル操作に対する車両の挙動、フィーリングの違和感を抑制。

さらに一人一人の運転手がパラメータを調整できるフィーリングカスタマイズ機能を搭載し、運転手の経験や感覚に車両が歩み寄る価値を提供。その機能とフィーリングのインターフェースである操作部と居住空間を機能的にデザインし、心理面と肉体的な負担低減を図った。そして、車両安定性と安心操作という機能的な価値を低重心スタイリング（座席位置で従来比約60mm低くなった）にまとめ上げ、運転手の方々が日々の物流作業とポジティブに向きあえ

るような物流現場と車両の関係性に寄与するデザインを追求した。

外観デザインは1t～3t級で統一感をもたせ（図2）、アジア、オセアニア向けのブランド展開はカラーリングとデカルの違いのみで実現している（図3）。

なお、“ALESIS”は2020年度グッドデザイン賞を受賞しました。

1.5t積



2.5t積



3.0t積



図2 外観デザイン



図3 海外ブランドの外観デザイン

3. 安全性の向上

3.1 走行・旋回安定性向上

- バッテリー落とし込み構造を採用。従来機種は、重量がある鉛酸バッテリーを後輪より上部に配置し重心が高くなるレイアウトであったが、今回は車体下部へ落とし込むレイアウトとした。

その結果、低重心になり走行安定性が向上。また、前述の低重心スタイリングを実現した（図4）。

- 後軸を支える揺動中心の位置を高くしたハイマウントリヤアクスルを採用。旋回時の車体重心移動が小さくなり、旋回時の安定性が向上した（図5）。
- 走行発進時のドライブギアのバックラッシによる衝撃を和らげる制御を開発。発進時の衝撃をなくしスムーズな走行を実現。
- センシング制御システムを標準装備。旋回時の走行速度や走行中のリフトアップ速度を制限し荷役作業時の安全性を向上する機能を持たせた。
- ピッチング制御システムを標準装備。走行時、路面の段差や凹凸などから車体が

上下前後に揺れるピッチング現象を抑える制御を装備。

- 荷重センシング制御を装備（オプション）。設定された許容荷重の約50%を超えた荷重を検知すると、設定された走行速度に制限し、荷役走行時の安全性を向上。
- 揚高センシング制御を装備（オプション）。フォークを揚げた状態での走行速度やテイルト速度を制限し、高揚高作業時の積荷の落下や荷崩れ防止などで安全性を向上。
- グッドランニングシステムを装備（オプション）。荷役の油圧回路に高圧用と低圧用の2本のアキュムレーターを装備し、荷物が重い場合も軽い場合も揺れによる衝撃を吸収することで、段差走行時に荷物の揺れや荷崩れを防止することができる。



バッテリー搭載位置

図4 バッテリー搭載位置

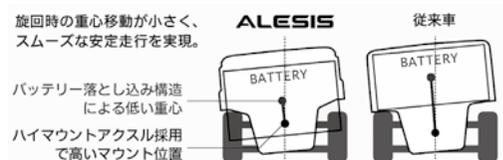


図5 ハイマウントリヤアクスル

3.2 充電時の安全性

- 充電用プラグについては、抜き差しが容易で差込不良やプラグの破損が発生し難

い取手付き（ガングリップ）充電プラグを採用した。

- 充電中の異常を監視することで万が一の発火の危険性を警告する充電監視システムをオプション設定した。トランスの異常電流と車体側充電プラグ部の異常温度を検知すると充電を停止し、ホーンを鳴動して周囲に異常を知らせる機能を持たせた。

3.3 その他の安全機能

- その他安全機能として、車両周辺の作業員への注意喚起のためにリヤLEDライン、ブルースポットライトをオプションで用意した。

4. 使い易さ快適性の向上

4.1 カスタムフィーリングシステムの標準採用

多様な運転手の好みに合わせたカスタムフィーリングシステムを標準採用することにより、加速力・反応・レバー特性などのフィーリングを好みどおりに設定することを可能とした（図6）。物流倉庫などは積荷が時々に変化するため、スピード重視で捌けるものから、より慎重に取り扱わなくてはならないものなど多種多様な対応が必要となるケースがある。運転手の好みだけでなく、各物流現場の安全管理方針にも対応でき、より安全確実な荷役の手助けとなることを狙った。

カスタムフィーリングシステムは、2015年に販売開始したリーチ型バッテリーフォークリフト“プラッター”で初めて採用された機能に、より設定の種類を増やし細かなフィーリング調整を可能としたものである。

操作フィーリング設定について、従来機種は、P：パワー / N：ノーマル / E：エコノミーの3種であったが、今回は、P / Nと新たにC：カスタムモードを搭載した。Cモードについては、走行操作に加速力、反応、アクセル特性、ブレーキ力、アクセルオフ時の回生ブレーキ、プラギング力、速度制限の7種類。リフト操作に加速力、反応、レバー特性、速度の4種類。ティルト操作に加速力、反応、レバー特性、速度の4種類のパラメータを各々設定可能とした。初心者用のソフトな設定からベテラン用のキビキビした設定など10人分の登録が可能となった。オペレータの運転技術レベルに合わせての作業効率向上、安全作業対応、ストレスフリーに貢献できる。

4.2 屋外でも安心な耐水性IPX4レベルを実現

従来は、IPX3レベルで鉛直から60度の範囲で落ちてくる水滴による有害な影響がない（防雨型）であったが、今回のIPX4は、あらゆる方向からの飛沫による有害な影響がない（飛沫型）レベルの耐水性に向上させた。

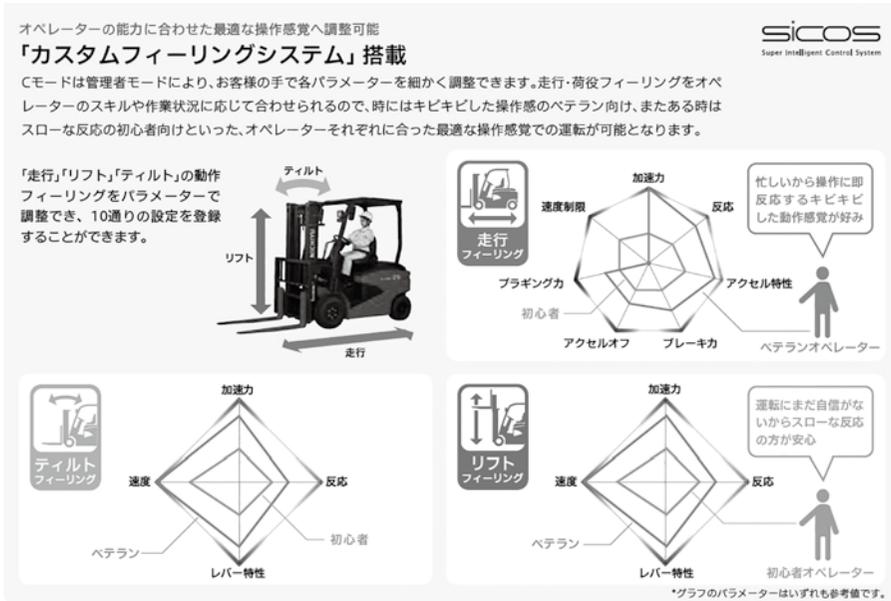


図 6 カスタムフィーリングシステム

5. 省エネルギー

今回新しく採用したECOモード機能により、走行速度、リフト速度の最大性能を抑えて、消費電力を低減し、環境対応と長時間稼働に貢献している。

1.5t積み標準機種（バッテリー容量415Ah,

JIVAS F30パターン）のP（パワー）モード：10時間稼働に対し、P+ECOモードでは10時間40分。N（ノーマル）モード：10時間45分に対し、N+ECOモードで11時間30分となり、約7%の稼働時間の延長が可能となった（図7）。

経済性と地球に優しい環境性を両立

ECOモード機能

環境とランニングコストにやさしく長時間稼働を可能とするECOモード機能を搭載。電力消費を抑えたエコロジー&エコノミー運転を可能とします。

P・N・Cの各モードから切り替えできます。



ECOモードへの切り替えはインジケータパネルのスイッチ一つの簡単操作。

N+ECOモード使用で

稼働時間

11時間30分

※1 1.5t標準車（バッテリー容量 48V 415Ah）
 JIVAS（日本産業車両協会規格）パターンによる
 F30.2000による計測値（稼働率55%・放電率75%）
 ※2 上記稼働時間は目安です。お客様の作業状況や環境により変化します。

SICOS
 Super Intelligent Control System

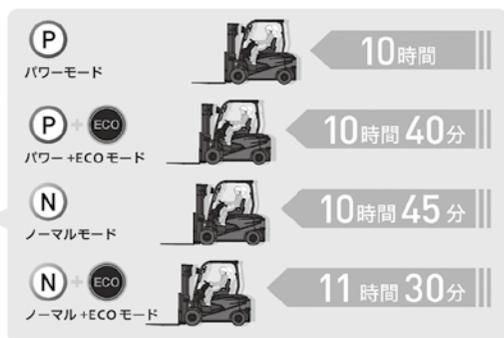


図 7 ECOモード機能

6. 主要諸元分類

主要諸元(標準仕様)

| 車種 型式 | 単位 | 記号 | 標準車 | | | | | | | | | | ロングホイールベース車 | | |
|------------------|-----------|------------------|-----------------------|----------------|---------|-------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|-------------|--|--|
| | | | FB9P | FB10P | FB14P | FB15P | FB18P | FB20P | FB25P | FB30P | FB35P | FB20P | FB25P | | |
| 最大荷重(定格荷重) | kg | | 900 | 1000 | 1350 | 1500 | 1750 | 2000 | 2500 | 3000 | 3500 | 2000 | 2500 | | |
| 基準荷重中心 | mm | | 500 | | | | | | | | | | | | |
| 最大揚高(標準マスト時) | mm | h3 | 3000 | | | | | | | | | | | | |
| マスト傾斜角(前/後傾) | 度 | α / β | 7/11 | | | | | | | | | | | | |
| マスト上昇速度(負荷/無負荷) | mm/s | | 390/540 | 370/540 | 350/540 | 330/540 | 290/470 | 260/470 | 320/550 | 270/460 | 290/470 | 260/470 | | | |
| フリーリフト | mm | h2 | 115 | | | | 140 | | | 145 | | 140 | | | |
| 走行速度(負荷/無負荷) | km/h | | 14.0/16.0 | | | 13.5/15.5 | | 14.0/16.0 | | 13.5/15.5 | | 14.0/16.0 | | | |
| 最小旋回半径 | mm | R | 1850 | | | 1880 | | 2030 | 2080 | 2260 | 2330 | 2215 | | | |
| 実用最小直角積み付け通路幅※ | mm | | 3545 | | | 3575 | | 3775 | 3825 | 4045 | 4120 | 3960 | | | |
| 登坂能力(負荷時) | % | | 22 | 20 | 19 | 17 | 19 | 16 | 16 | 13 | 18 | 16 | | | |
| 全長 | mm | L1 | 2850 | 3000 | | 3040 | 3225 | 3415 | 3575 | 3670 | 3385 | 3535 | | | |
| 車体長さ(フォーク前面まで) | mm | L2 | 2080 | | | 2120 | 2305 | 2345 | 2505 | 2600 | 2465 | | | | |
| 全幅 | mm | B | 1100 | | | | 1115 | | | 1255 | | 1115 | | | |
| ヘッドガード高さ | mm | h5 | 2110 | | | | | | 2200 | | 2110 | | | | |
| マスト高さ | mm | h1 | 1990 | | | | 1995 | | 2015 | 2115 | 1995 | | | | |
| 最大揚高時高さ(最高位置) | mm | h4 | 4055 | | | | | | | | | | | | |
| フォークサイズ(長さ×幅×厚み) | mm | 長さl | 770 × 100 × 35 | 920 × 100 × 35 | | | 920 × 122 × 40 | 1070 × 122 × 40 | 1070 × 122 × 45 | 1070 × 122 × 50 | 920 × 122 × 40 | 1070 × 122 × 40 | | | |
| フロントオーバーハング | mm | F | 395 | | | | 445 | | 485 | 490 | 445 | | | | |
| ホイールベース | mm | L3 | 1410 | | | | 1520 | | 1680 | | | | | | |
| フォーク調整間隔 | mm | 最大B3 | 240-920 | | | 260-995 | | 280-955 | | 260-995 | | | | | |
| トレッド(前/後輪) | mm | | 930/900 | | | 925/900 | | 955/965 | | 1030/980 | 955/965 | | | | |
| 最低地上高 | mm | ホイールベース中央 | 110 | | | | | | 120 | | 110 | | | | |
| 自重 | kg | | 2570 | 2675 | 2805 | 2855 | 3085 | 3705 | 4130 | 4885 | 5435 | 4030 | 4040 | | |
| バッテリー | 電圧 | V | 48 | | | | | | | | 72 | | 48 | | |
| | 容量(5時間率) | Ah/5hR | 280 | 370 | | | 415 | | 510 | 565 | 470 | 725 | | | |
| モーター | 走行 | kW | 7 | | | | 8.5 | | 11.0 | | 8.5 | | | | |
| | 荷役 | kW | 9.5 | | | | 11.5 | | 15.0 | | 11.5 | | | | |
| | パワーステアリング | kW | 1.5 | | | | | | 1.7 | | 1.5 | | | | |
| 充電器 | 充電方式 | | 準定電圧自動充電器 搭載型 3相 200V | | | | | | | | | | | | |
| | 充電器容量 | kVA | 5.2 | 6.4 | | | 7 | | 12.0 | | 11 | | | | |
| パワーステアリング | | | 電動油圧式パワーステアリング | | | | | | | | | | | | |
| 走行・荷役制御方式 | | | ACインバーター制御 | | | | | | | | | | | | |
| 前車輪 | | | 6.00-9 10PR | | | 21x8.9 14PR | 21 × 8-9 16PR | | 28 × 9-15 14PR | | 21 × 8-9 16PR | | | | |
| 後車輪 | | | 5.00-8 8PR | | | | 18 × 7-8 14PR | | 6.50-10 10PR | 6.50-10 12PR | 18 × 7-8 14PR | | | | |

※バレットサイズ:1100mm × 1100mm 荷役時、クリアランス +200mm を含む

7. おわりに

フォークリフトは成熟した輸送用車両であるが、省エネで地球環境にやさしく、人

材の多様性、安全性、物流の効率化等、お客様のニーズに今後もさらに応えていく所存である。

以上

イラスト災害事例

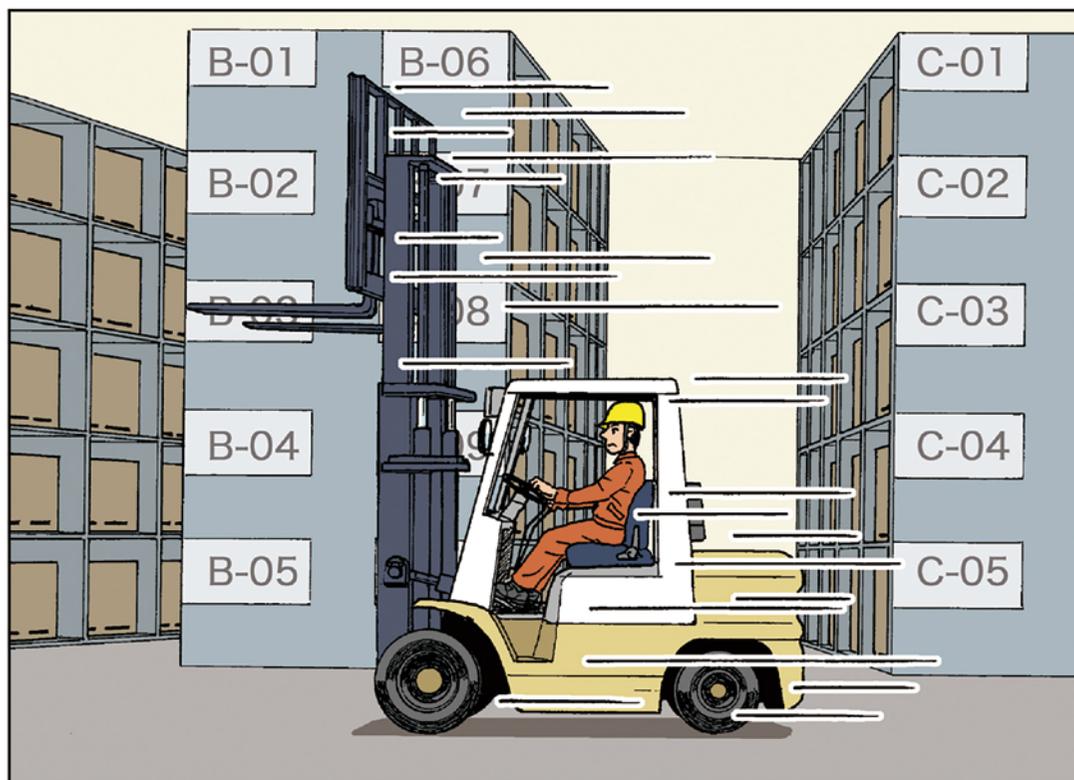
車両系荷役運搬機械および車両系建設機械・高所作業車（特自検対象機械）の労働災害事例について、災害発生前と発生後をイラストにして説明しています。職場の皆様でご覧になり、安全作業、危険予知活動等にご活用ください。

1. 車両系荷役運搬機械の災害事例

【分類】 起因物：フォークリフト 事故の型：転倒

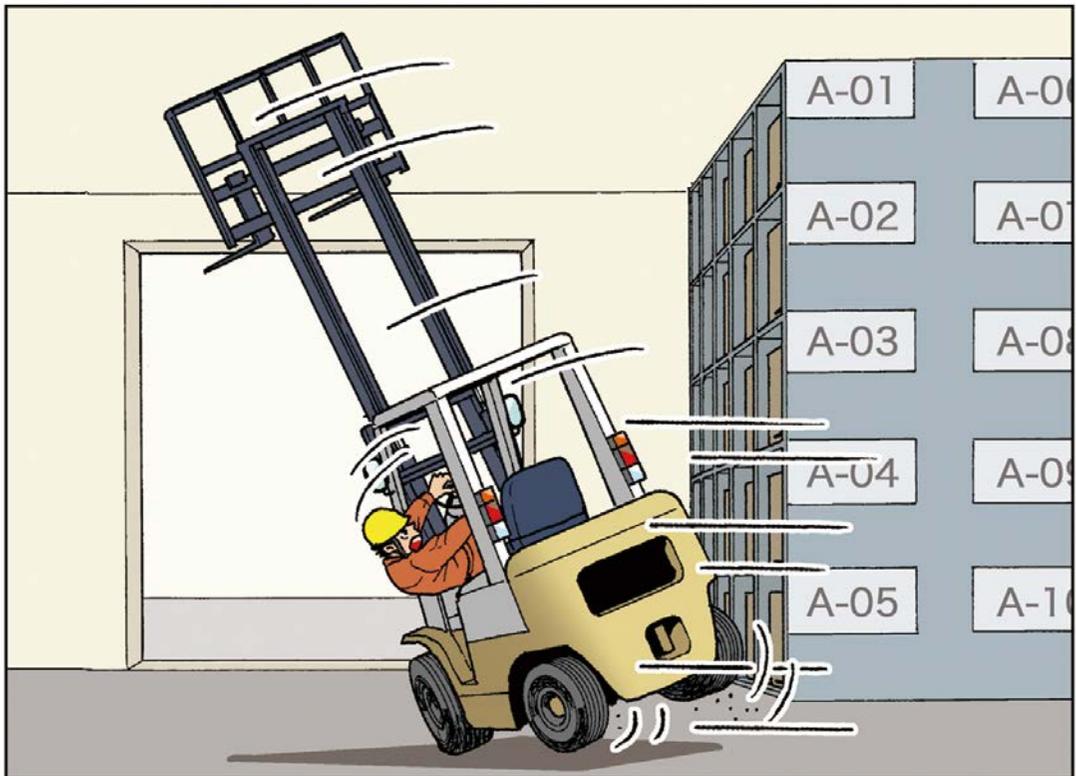
1-1 どんな危険が潜んでいるのでしょうか…（この状況で予知される災害は？）

フォークリフトでプラスチック原料を運搬後、空荷でフォークリフトのマストを高く上げた状態で走行していました。



1-2 どうすれば防げるでしょうか… (こんな災害が発生しました)

走行中、減速せずに急旋回を行ったため、フォークリフトが転倒し、投げ出された運転者がフォークリフトに頭部を挟まれました。



【災害発生防止のポイント】

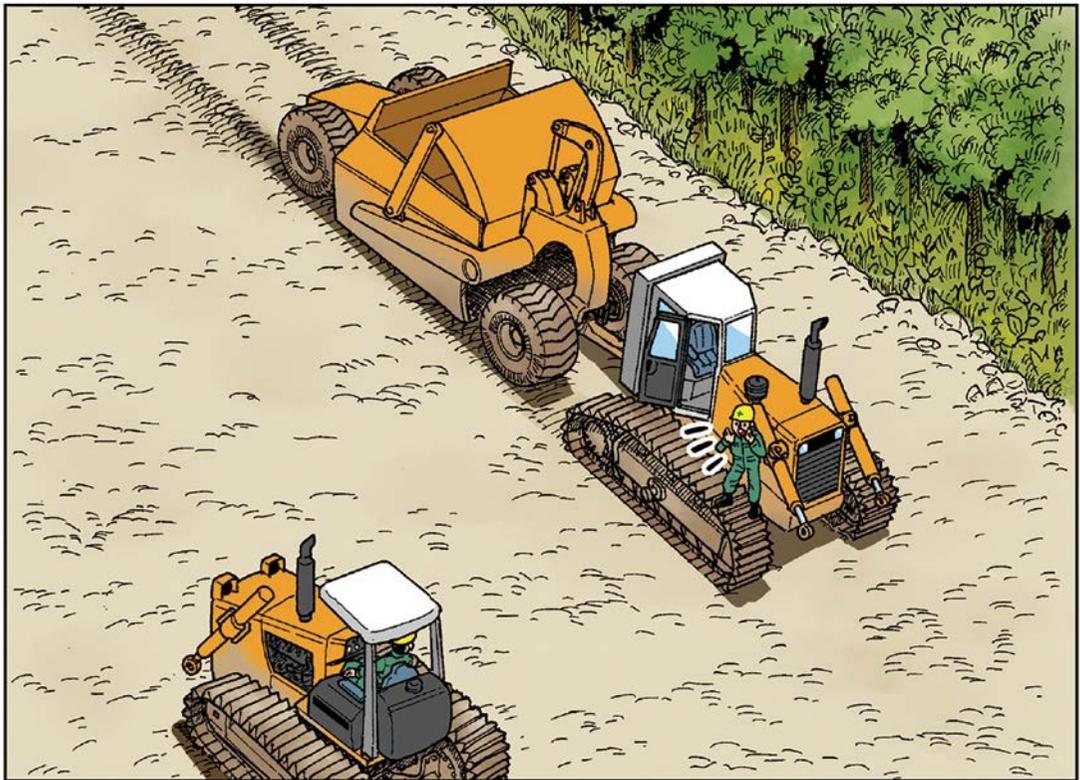
- フォークを高くした不安定な状態で走行しない。
走行時はフォーク下面を床上15～20cm程度に保ちマストを後傾にする。
- 急旋回、急ブレーキ動作を行わない、旋回時には減速して安全な速度で走行する。
- シートベルトを必ず装着する。

2. 車両系建設機械等の災害事例

【分類】 起 因 物：整地・運搬・積込み機械 事故の型：はさまれ・巻き込まれ

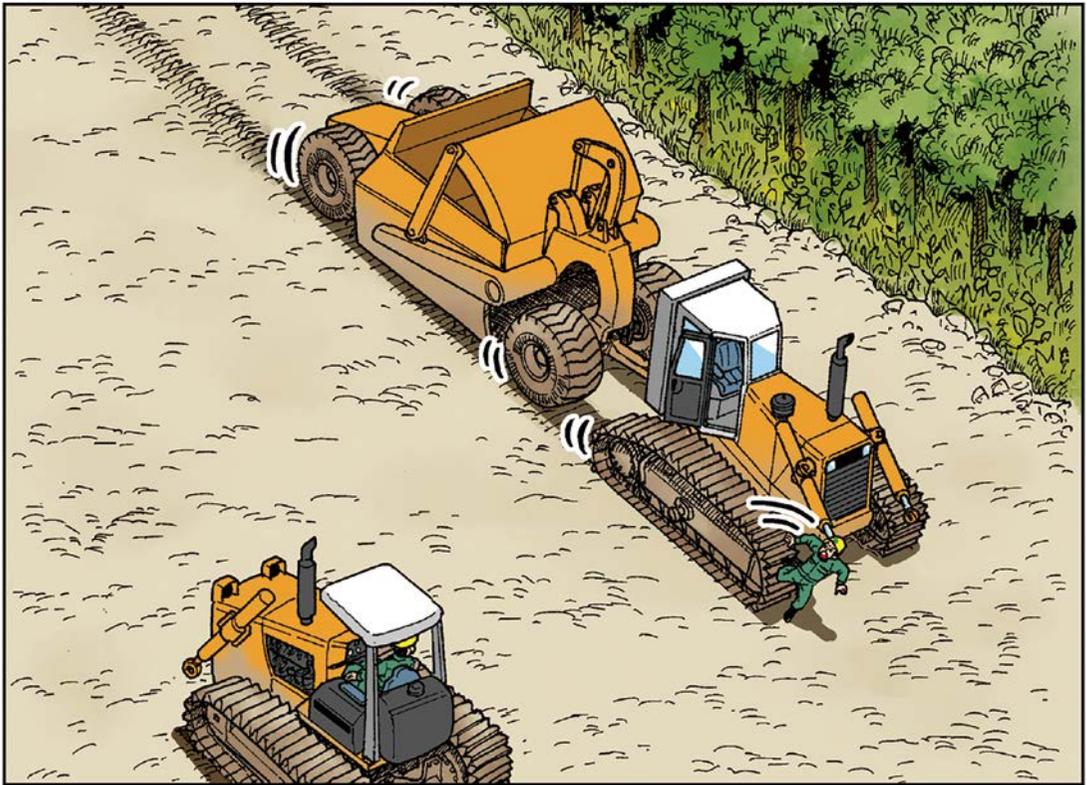
2-1 どんな危険が潜んでいるのでしょうか…（この状況で予知される災害は？）

造成工事現場で、下り勾配（約10%）に停車していたスクレーパーの運転手が、運転席から降りて履帯の上に立ち、近くにいたブルドーザーの運転手と話をしていました。



2-2 どうすれば防げるでしょうか… (こんな災害が発生しました)

突然、スクレーパーが動き出したため、運転手が前方に転落し、履帯に轢かれました。



【災害発生防止のポイント】

- 運転席離席時は、エンジンを停止し、走行ブレーキをかけてキーを抜くこと。
- できるだけ、平坦な場所に停止させ、スクレーパーの作業機を地面に接地させる。
- 履帯のうえに立たず、地面まで降りること。

第66回

我が社のセールスポイント

栃木県支部
栃木小松フォークリフト株式会社

「我が社のセールスポイント」は、会員同士が切磋琢磨する情報を提供する場として、通年表彰の「企業賞」の受賞会社に「安全管理」、「整備・検査」、「法令遵守」、「技術開発・考案」、「環境」などについて記載していただき、労働災害防止活動や技術開発・改良・考案等に対する意欲の向上等を図る場を提供することを目的としています。

250号から、令和2年度に表彰された企業様をシリーズで紹介していますが、今回は栃木県支部の栃木小松フォークリフト(株)様に執筆をお願いいたしました。

1. はじめに

当社は、1969年（昭和44年）、栃木県宇都宮市にコマツ製フォークリフト専門ディーラーとして創業し、今期52周年を迎えました。

栃木県内6拠点体制でフォークリフトの販売・リース・レンタル及び整備・点検等のサービスを提供。その他ミニ建機の販売やフロアメンテナンス等、付加価値の高いサービス提供を心がけております。



本社 外観

当社は『物流専門サービス商社』として、

- ① お客様の機械の稼働を止めません
- ② お客様のために良い商品の目利きをします

- ③ お客様にとってのワンストップサポート・窓口としての機能を果たします

の三点を基本に、地域のお客様のフォークリフト等を中心とした物流合理化をサポートさせて頂いております。

2. 会社概要

(1) 概要

社名：栃木小松フォークリフト株式会社
本社所在地：栃木県宇都宮市問屋町3172-36
設立：昭和44年8月19日
代表者：代表取締役社長 黒須 進一
資本金：3,000万円
売上高：29億7,000万円（令和2年3月期）
支店：宇都宮南・宇都宮北・小山・両毛・鹿沼・那須塩原 計6支店
従業員：92名（令和2年3月期）
特自検資格者数：42名

(2) 登録機種

- ・フォークリフト
- ・車両系建設機械
(整地・運搬・積込用・掘削用・解体用)



登録機種（フォークリフト）

(3) 特自検の実施

- 特自検実施台数：4,549台（令和元年度）

(4) 協会事業への参加

- 検査業者検査員資格取得研修講師派遣
- 能力向上教育講師派遣
- 特定自主検査巡回指導員派遣

3. コンプライアンス（法令遵守）

コマツの専門ディーラーとして社会から真に信頼される企業を目指しています。

（コマツのコンプライアンス5原則を順守）

【社内監査の継続】

毎月1拠点を巡回し、特自検の内部監査を実施。

検査料金、検査体制と資格、検査機器、検査記録表、検査標章、検査作業の安全確認、業務内容ほか

特色はランダムに選抜した他拠点の検査員が参加すること。特自検業務の平準化と同時に、不足しがちな社内交流を図る目的もあります。

4. 安全管理の取り組み

(1) 労働災害防止の取り組み

毎月メーカーのコマツ国内販売部門における災害発生状況を社内ネット掲示板

で全社員に展開し、災害防止予防対策に役立てています。毎月の社内監査時に安全環境面のチェックも行い、安全な作業環境作りを目指しています。



メーカーによる現場指導会



台車置場 定位置に



タイヤ空気充てん特別教育



特殊治具の導入検証

(2) 健康管理の取り組み

社員の健康は会社にとって大きな財産であると同時に、労働災害防止の基本中の基本と考えます。従業員が心身ともに健康で働き続けることが出来る企業を目指して『健康経営』を推進し、下記の取り組みを行うことを宣言しています。

- ① 健診を100%受診します
- ② 健診結果を活用します
- ③ 健康づくり環境を整えます
- ④ 社員の体力保持・増進を目指すため、職場体操（元気ニコニコ体操）の実践を推進します。



職場体操

当社は2018年（平成30年）から3年連続で健康経営優良法人（中小規模）に認定されました。

地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

今回当社が含まれる中小規模法人部門で認定されたのは全国：4723社（去年は2503社）、栃木県：74社（去年は54社）になります。



2020年 認定証

社員の健康づくりとして、40歳未満は胃がん検査を含む生活習慣病健診、40歳以上は人間ドックを会社の補助で受診をしています。健診結果を活用し、2次健診の推進で自身の体調を把握し健康管理に取り組んでいます。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、事務所内に飛沫防止パネルの設置・体調管理の徹底、マスク着用での業務など感染防止対策に務めています。

(3) BCP（事業継続計画）の取り組み

2019年（令和元年）台風19号で東日本は記録的大雨・暴風災害があり、栃木県内でも多大な被害がありました。

今後の地震災害や大規模自然災害の発生を想定し、BCP活動にも取り組んでいます。日頃の作業現場の整理整頓、各支店に非常時用品を備え、2ヶ月に1回程度従業員への安否確認のテストメールを配信しています。

日頃からの具体的な「備え」を実践するとともに、防災力向上を目的として消

火器の使用訓練を実施し、非常時に備え意識付けを図っています。



防災訓練の様子

5. 技術力向上の取り組み

機械の整備を行う技術者は、若手から熟年の技術を持つ中堅やベテランまで幅広い年齢層でサービスを提供しております。常に向上心を持って技術力を磨くため、資格取得にも力を入れています。また、毎月サービス会議を行い、現場の責任監督者が出席して、整備作業の情報・意見交換をし、社内共有をしております。

社員ひとり一人の技術、知識の向上でお客様へ満足して頂けるサービスを心掛けております。

6. 従業員満足度の取り組み

- ① 毎週水曜日はノー残業デー
- ② 社員の誕生日前後3ヶ月に取得でき

る誕生日休暇

- ③ 6月・7月に各1日ずつ取得できるリフレッシュ休暇
- ④ 夏季・冬季に部門の親睦を深めるリフレッシュ会の会費補助
- ⑤ グループ会社で行うレクリエーション
- ⑥ 年に1回の慰安旅行

等々、全社員が楽しくコミュニケーションを取れる場をつくり、リフレッシュ出来る事を目的に取り組んでいます。



社員旅行：コマツテクノセンタ

7. おわりに

今回、名誉ある企業賞を頂きまして社員一同大変喜んでおります。

これからも、一層の安全技術向上への取り組みに精進致します。

[代表取締役社長 黒須 進一]

製品紹介

| | | |
|------|--------------------------------------|-----------------|
| 製品名 | 自走式高所作業車「スカイマスター SPシリーズ」 をモデルチェンジ | 株式会社アイチコーポレーション |
| 発売年月 | 令和2年9月 | |

■概要

株式会社アイチコーポレーションは、14mクラスのホイールタイプ自走式高所作業車「SP14D1JM」を2020年9月23日、日本国内向けに発売しました。

■主な特長

1. 四輪駆動による高い走破性を実現

走行操作に四輪駆動と揺動アクスル^{※1}を採用し、不整地においても作業が可能となり、建設工事で土間打ち前後の車両入れ替えが不要となりました。

※1. 揺動アクスルとは、路面の凹凸にあわせて四輪を追従させる装置です。

2. 最大作業床高さ13.9mの確保

先端ジブを採用し、最大地上高13.9mを実現しました。より現場に適した機種をお選び頂けます。

3. 他揚程機種と同様の操作レバーを採用

正確な操作ができるように、従来機種と同様のレバー配置を採用しました。

従来機種と違和感なく操作でき誤操作の防止につながります。



スカイマスター SP14D1JM
(オプション装着車)

■主な仕様

| 型 式 | SP14D1JM |
|-----------|----------|
| 作業床最大地上高 | 13.9m |
| 最大作業範囲 | 12.6m |
| 作業床最大積載荷重 | 250kg |

■問合せ先

株式会社アイチコーポレーション

営業企画部 企画統括課

〒362-8550

埼玉県上尾市大字領家字山下1152番地の10

TEL : 048-781-3330 / FAX : 048-781-1110

※ ニュースリリース送付先：〒101-0051千代田区神田神保町3-7-1ニュー九段ビル9F
(公社)建設荷役車両安全技術協会広報部
または E-mail : koho@sacl.or.jp まで

| | | |
|------|---------------------|-----|
| 製品名 | 小型油圧ショベル「PC78US-11」 | コマツ |
| 発売年月 | 令和2年11月 | |

■概要

コマツは、最新技術を随所に織り込み、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(※1) 2014年基準に適合した小型油圧ショベル「PC78US-11」を本年11月より発売しました。

当該機は、自社開発した新2.4L高出力エンジンを搭載し、従来機(※2)よりあらゆる面で大幅な改善を図ることで、高性能・高機能・低燃費・低騒音を高いレベルで実現した7トンクラスの油圧ショベルのモデルチェンジ機です。

新2.4L高出力エンジンの採用により基本性能や機能が大幅にグレードアップし、作業効率は従来機に比べ23%(※3)向上しています。また、外装形状の変更により整備性が大幅に改善され、クーリング清掃の容易化や日々の点検整備と整備時のストレス軽減に貢献します。さらに装備品も拡充し、安全面では、後方モニタシステムやLEDライトを標準装備することでオペレーターの安全で快適な作業をサポートします。

- ※1. 通称、オフロード法という。
- ※2. PC78US-10
- ※3. Pモード90°ダンプ積み込み作業時

■主な特長

1. 環境性、経済性

・新規開発の2.4L高出力エンジン搭載

高品質と耐久性を兼ね備えた新2.4L高出力エンジンを自社開発しました。ダウンサイジングによる燃費低減を図りつつ、高い出力を兼ね備え、ダントツの掘削性能・環境性能を実現しています。また、従来機(PC78US-10)同様、後処理装置はKDOC(※4)のみでメンテナンスが不要です。

※4. 建設機械用排出ガス後処理システムコマツディーゼル酸化触媒

・燃費低減と作業量向上を高次元で両立

エンジンと油圧システムの可変マッピング制御、油圧回路のロス低減、ファンクラッチの採用などにより、作業量と燃費低減率を大幅に向上させています。国土交通省へ申請予定のJACMAS燃料消費量は7トンクラスの油圧ショベルでトップクラスの低燃費(※5)です。

※5. 2020年7月時点、国土交通省燃費基準達成建設機械認定一覧の調査結果に基づく

・業界トップクラスの超低騒音

エンジンルーム構造の刷新により周囲騒音を大幅に低減しました。さらに燃費低減技術である低速マッピング(=エンジン低回転化)、ファンクラッチによりエンジン自体が発する騒音も低減することで、国土交通省騒音基準である超低騒音を実現しています。

2. 作業性・操作性

・掘削性能向上

掘削時のスピード、複合作業時のスムーズさがあまって作

業性能が従来機より大幅に向上しました。(※6) 7トンクラスの油圧ショベルでトップクラスの作業量を誇り、オペレーターの生産性向上とストレス軽減に貢献します。

※6. 作業量(90°ダンプ積み込み時): Pモード/8%向上、EOモード/9%向上

・さまざまな現場での作業能力向上

カウンタウエイト重量アップにより安定性が向上し、作業時に車体のばたつきが減り、快適な作業が可能です。また、安定性向上により最大定格荷重(アームクレーン仕様)がアップしたほか、アタッチメント流量が大幅に向上したことで油量が必要な林業用アタッチメントを含め、パワフルでスムーズな作業が可能です。

・ブレード作業の作業性向上

ブレード形状改善により、土を抱えて押土する際のブレード背面への土砂こぼれが少なくなりました。さらにブレードレバーに装備した走行速度切り替えスイッチにより、ブレード操作をしながらの変速操作も容易で作業効率が向上します。

・LEDライトを標準装備

ブーム、キャブ上にLEDライトを標準装備しています。低照度環境下での視認性が向上し、夜間や屋内での安全作業に貢献します。

3. 整備性

・点検スペースの拡大

外装形状の大幅な変更により、開口広さが拡大し作業スペースが広くなりました。さらにカバーが横開きで開閉時の負担が少ないほか、開閉固定も自動となり片手操作が可能です。

・クーリング清掃容易化

新たに一体型の防塵ネットを採用し、固定方法も見直したことで脱着が容易となり、清掃にかかる時間が大幅に短縮されました。

・点検ポイントの集中化によるアクセス性向上

フィルタ類を集中配置化し、かつ燃料給油を含めたすべての点検ポイントを地上からアクセス可能としたことで、作業者の日常・定期点検の工数とストレス軽減に貢献します。

■問合せ先

コマツ コーポレートコミュニケーション部
〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6
TEL: 03-5561-2616



PC78US-11

■主な仕様

| 項目 | 単位 | PC78US-11 |
|--------------------------------|----------------------------------|-------------------------|
| 機械質量/機体質量 | kg | 7,500/5,780 |
| エンジン定格出力 ネット(JIS D0006-1)*7 | kW/min ⁻¹ (PS/rpm) | 50.6/1,850 (68.8/1,850) |
| バケット容量 | m ³ | 0.28 |
| バケット幅 | mm | 650 |
| 全長(輸送時) | mm | 5,770 |
| 全幅 | mm | 2,330 |
| 全高(輸送時) | mm | 2,710 |
| 後端旋回半径 | mm | 1,390 |

*7. 冷却ファン最低回転速度時の値

※ この欄では、会員企業から随時提供されるニュースリリースをもとに、数機種を選び掲載しています。

| | | |
|------|--------------------|----------|
| 製品名 | 超大型油圧ショベル EX2000-7 | 日立建機株式会社 |
| 発売年月 | 令和3年10月 | |

■概要

日立建機株式会社は、超大型油圧ショベルEX1900-6をモデルチェンジし、作業量を維持したまま燃料消費量を最大19%低減したEX2000-7を2021年10月より発売します。

EX2000-7は、現在発売中のEX-7シリーズで実現した構造物の耐久性の向上、ICTやIoTの活用による修理・点検でのサポート機能に加え、油圧回路の刷新や作業モード選択機能の追加などにより高い燃費性能も実現しました。大幅な燃料消費量の低減により、環境負荷とライフサイクルコストの低減に貢献します。

■主な特長

1. 燃料消費量を最大19%低減

- (1) 操作パターンやフロント姿勢に応じて、作動油流量を制御操作パターンやフロントの姿勢条件に応じて油圧バルブ内部の作動油流量を制御するシステムを新たに開発し、日立建機の超大型油圧ショベルに初めて採用しました。

油圧ショベルは掘削した鉱物資源などをダンプトラックへ積み込んだ後、次の掘削に向けてバケット先端の位置決めを行うため、オペレータはフロント（ブーム、アーム、バケット）と車体旋回それぞれの動作の速度を操作レバーで微調整します。その際、従来の油圧回路では、油圧ポンプが供給する作動油のうち余剰となる分は作動油タンクに戻しており、エネルギー効率の面で改善の余地がありました。本システムを適用し、油圧ショベルが掘削・旋回・放土を繰り返す動作パターンやフロントへの負荷のかり具合に応じて、フロントの各シリンダーや旋回モータにつながる作動油流量をそれぞれ個別に制御し、エネルギー効率を改善することで、燃料消費量を抑えることができます。

- (2) 電子レギュレータで油圧ポンプの吐出流量をきめ細かく制御
EX-7シリーズでは、車体に搭載する油圧ポンプの全てに電子レギュレータを装備し、操作レバーの操作量とエンジンの稼働状態に応じて、油圧ポンプの吐出流量を適切に制御します。オペレータによる操作レバーの操作量の調整や機械にかかる負荷の変化に合わせて、油圧ポンプの吐出流量を個別にきめ細かく制御することで、燃料消費量の低減に寄与します。
- (3) 現場の状況に応じた3つの作業モードの選択機能を採用
中・小型の油圧ショベルに搭載している作業モード設定機能を採用しました。現場の状況や作業内容に応じて「HPモード」「PWRモード」「ECOモード」に切り替えることができます。
- ① HP（ハイパワーモード：硬い岩盤の掘削など、重作業を行う際に使用します。EX2000-7の最大の作業量を発揮します。）
- ② PWR（パワーモード：通常時に選択する作業モードで、HPモードより作業量を1割程度抑え、燃料消費量を低減します。）

- ③ ECO（エコノミーモード：負荷の少ない作業時に選択します。PWRモードより2割程度作業量を抑え、燃料消費量をさらに低減します。）

上記の通りエネルギー効率を改善することで、作業量を維持したままエンジンサイズを最適化することができました。その結果、前モデルであるEX1900-6に比べて、燃料消費量を最大19%低減¹し、CO₂排出量を1台あたり年間460トン²抑制することができます。

2. 耐久性や信頼性、メンテナンス性の向上

(1) フロント構造の強化

フロント構造物のブームとアームの接合部分および車体フレームを、超大型油圧ショベルの上位クラスと同じ構造にしました。ブームとアームの接合部分は、250トン以上の超大型油圧ショベル同様、接合ピンを2本に分割して大幅に軽量化³し、強度も向上しました。これにより、点検・メンテナンスにおいてピンを交換する際の安全性や作業効率が向上し、ライフサイクルコストの低減に寄与します。また、車体フレームは、従来モデルの稼働データから負荷条件を分析して、さらなる改善を進めました。作業中の負荷を分散させることで、耐久性の向上を図ります。

(2) ファンを適切に制御するオイルクーラーとラジエータにアップグレード

EX-7シリーズでは、作業の負荷による作動油の温度の上昇に比例して、オイルクーラーのファンの回転数を増やし、作動油の温度を下げます。同様に、機械の周囲温度とクーラント（エンジン冷却水）の水温に応じて、ラジエータのファンの回転数も制御します。これにより、油圧機器のシールの熱による劣化や、内部の部品の熱膨張による亀裂や焼きつきを予防し、油圧ポンプ、シリンダー、モータの信頼性を向上させるとともに、エネルギー効率も改善し、燃料消費量の低減にも貢献します。

3. 将来にわたり鉱山現場を支える機能を拡張

EX-7シリーズは、IoTとAIを活用し、鉱山現場の課題解決に貢献する「ConSite[®]Mine」（2021年中に提供開始予定）を適用することで、機械のダウンタイムの抑制と安定稼働の維持をめざします。さらに、2021年度から実証実験を開始する超大型油圧ショベルの遠隔操作や運転支援システム、自律運転機能の後付にも対応しており、将来的にはダンプトラック自律走行システム（Autonomous Haulage System：AHS）との連携で、鉱山現場の自律型オペレーションによる高い安全性と生産性の両立を図っていきます。

■問合せ先

日立建機株式会社ブランド・コミュニケーション本部
広報・IR部広報グループ
〒110-0015 東京都台東区東上野2-16-1
電話：03-5826-8152

■主な仕様

| 項目 | | EX2000-7 |
|------------|---------------------------------|-----------|
| エンジン | メーカー | カミンズ |
| | 型式 | QST30-C |
| | 定格出力 (kW/min ⁻¹) | 746/1,800 |
| バックホウ | 運転質量 (kg) | 193,000 |
| | 標準バケット容量 新JIS (m ³) | 12.0 |
| | 最大掘削力 (バケット) (kN) | 701 |
| | 最大掘削力 (アーム) (kN) | 628 |
| ローディングショベル | 運転質量 (kg) | 192,000 |
| | 標準バケット容量 新JIS (m ³) | 12.0 |
| | 最大掘削力 (バケット) (kN) | 737 |
| | 最大掘削力 (アーム) (kN) | 700 |

- *1：HP（ハイパワー）モードでの動作に基づく。
*2：エンジンの定格出力や燃料消費量および負荷率から単位時間あたりの燃料消費量の差を算出し、年間のCO₂量に換算したものの。
*3：BEフロント（バックホウ型の重掘削仕様）のみ対応。
*4：単位は、国際単位系(SI単位)による表示。



超大型油圧ショベル EX2000-7（イメージ）

※掲載は、定期又は特定自主検査の対象機種とそのアタッチメント、及び検査測定器に限ります。

Topics

令和元年度 考案賞受賞企業を訪ねて

第1回 金賞受賞 「タイヤチェーン脱着負荷軽減及び安全性向上」

考案者：青森県支部 コマツカスタマーサポート(株) 東北カンパニー
弘前サービスセンタ 柴 昌志 (他3名)

本号より、令和元年度考案賞入賞作品中、金賞、銀賞受賞作品について、考案者の方に直接お話を伺い、考案に至った理由やご苦労等のもよま話をシリーズで紹介します。トップバッターは金賞を受賞された青森県支部・コマツカスタマーサポート(株) 東北カンパニー 弘前サービスセンタ 柴さんです。
なお、受賞作品の詳細内容は、機関誌第248号(2020年7月号)19頁をご覧ください。

1. コマツカスタマーサポート(株) 東北カンパニーおよび弘前サービスセンタの概要

コマツカスタマーサポート(株)は、平成30年4月にコマツ建機販売(株)、コマツレンタル(株)、コマツリフト(株)の3社統合により誕生し、国内を7地域に分け、建設機械、フォークリフトの販売・レンタル・アフターサービスを行っています。

東北カンパニーは本社所在地の宮城県に加え青森県、岩手県、秋田県、福島県に事業を展開しています。

弘前サービスセンタ(以下弘前SC)は、平成28年に現在の地(南津軽郡)に移転・開業し、青森県の津軽地域全域をカバーしています。

マーケットの特長としては、除雪需要が青森県内でも最も多く、ホイールローダーの配車比率が約47%と半分を占めています。

基本理念として『社員全員が誇りと喜びをもって働ける』無災害無事故の環境を作り、『ダントツの価値をお客様に提供する』圧倒的戦力とソリューション提供力で、お客様の安全や労働力不足、売上や収益の向上に協力しています。



弘前SC全景

2. 受賞作品

・「タイヤチェーン脱着負荷軽減及び安全性向上」

冬季のホイールローダー整備・点検時、重量物であるタイヤチェーン取付作業時の身体的負荷軽減と安全性向上を図った脱着治具。



考案したタイヤチェーン脱着治具

3. 考案者の横顔

今回は、考案者を代表して、柴昌志さんと上職であるセンタ長の中村和哉さんにお話を伺いました。

柴さんは仙台出身の機械整備・点検を行うメカニックで、入社6年目の中堅社員です。

中村さんは、総勢38名で、月間約400台の機械整備・点検を行う弘前SCのセンタ長を務められています。



考案者代表の柴さん(左)とセンタ長の中村さん(右)

4. 考案に至った経緯

今回のテーマは、ゼロ災サークル活動（特に安全、労働衛生に特化したサークル活動）において、「じょっぱりセーフティs」サークルで改善された事例です。

20歳から50歳代までの男性9名で構成されるこのサークルのリーダーとなったのが柴さんです。

テーマ選定では、弘前SCは除雪作業で使用するため、ホイールローダーの配車台数が多く、そのホイールローダーの整備工程を評価したところタイヤチェーン脱着作業に解決すべき課題が多く、テーマとして選ばれました。

柴さん自身も仙台出身ですが、当時は自動車のチェーンも装着したことがなく、弘前SCでタイヤチェーン脱着作業を経験し、危ない、重いと感じていたそうです。

ホイールローダー用タイヤチェーンは、50～100kgと非常に重く、そのため

- ・作業員1人では苦渋作業、タイヤチェーンを持ち上げるのは2人作業となることもある。
 - ・タイヤチェーンに指を挟まれる危険性がある。
 - ・場合によっては首のあたりまで持ち上げることがあり、腰に負担がかかる。
- 等の課題が洗い出されました。



従来の作業状況

上記に対しサークルでは

- ・タイヤチェーンを装着時に直接持上げない。
 - ・作業員1人でも力を使わずに出来る様に治具を作製する。
- ことを目標に活動を進めました。

5. 考案時に考慮・苦心した点

サークルで何回かの検討・試作ののち、「タイヤの形に合うアーチを制作し、その上にタイヤチェーンを設置」する「タイヤスライド作戦」を立案しました。

具体的には、鋼板をタイヤ形状に曲げたアーチの端部にフックを溶接した治具を作製、その上にタイヤチェーンを設置し、エンジンジャッキを使用して、そのままスライドさせて、フェンダーに干渉させず、セットする治具です。



治具考案後の作業状況
 (上) 治具にタイヤチェーン装着
 (下) タイヤ上部にスライド完了

この際、ホイールローダーのタイヤサイズがまちまちなので、アーチのアール（半径）をどうするかに苦労されたそうです。

これに対して、タイヤチェーンの重量が重く、かつ保有の多い3機種（8t、12t、16tクラス）に対応できるようなアーチとしました。

この3機種で取り扱うホイールローダーの約80～90%になります。

6. 考案した治具の効果

この治具の使用により、ホイールローダーのタイヤチェーン脱着作業が、

- ・これまで：2人作業で1時間
- ・治具考案後：1人作業で1時間
（いずれも1台4輪の脱着）

となり、1人作業実現の目標を達成しました。また、シーズン（8～12か月：5か月間）では、約30台の脱着作業があるため、30時間の短縮となります。

また、上記以外にも、作業員が重量物を直接取り扱わないため、挟まれ等の危険作業や苦渋作業、また腰痛の心配が全くなくなり、作業員からも大好評とのことでした。

7. 取材を終えて

誌面では省略しましたが、改善（PDCA）のサイクルを何回か回して、目標を達成されたことに敬意を表します。

リーダーの柴さんの熱意に、メンバーも動かされたのではないのでしょうか。

また現在もサークルでは、別テーマに取り組んでおられるとのこと、改善のネタはつきませんね。

再度、弊協会の考案賞に応募いただけることを期待しております。今後とも頑張ってください。

[広報部：水島 記]

| 受賞者様より | 上職者様より |
|--|--|
| <div data-bbox="153 1421 310 1597" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="326 1421 659 1477">コマツカスタマーサポート株式会社 東北カンパニー 弘前サービスセンタ</p> <p data-bbox="401 1489 600 1522">柴 昌志 さん</p> <p data-bbox="326 1537 659 1593">考案賞金賞に選んで頂き大変有難うございます。</p> <p data-bbox="153 1605 659 1731">この様な名誉ある賞を、受賞出来ました事はサークル員の協力・指導の賜物と感じております。周囲には様々な危険がありますので、今後も改善を続け、労災撲滅を図りたいと思っております。</p> | <div data-bbox="696 1421 853 1597" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="869 1421 1203 1503">コマツカスタマーサポート株式会社 東北カンパニー青森地区サービスセンタ長兼弘前サービスセンタ</p> <p data-bbox="869 1518 1203 1551">中村 和哉 さん</p> <p data-bbox="869 1566 1203 1619">考案賞金賞おめでとうござい ます。</p> <p data-bbox="696 1622 1203 1731">サークル活動の努力が結果に結びつきました。チームの『現場力』を今後も発揮し普段の作業や過去からのやり方を再検証しカイゼンに取り組み、更なる安心・安全な職場を全員で目指しましょう。</p> |

Topics

「危険体感道場」を訪ねて

IHI運搬機械株式会社 沼津工場

機械式駐車場装置や建設分野用クレーンでトップシェアを誇るIHIグループの運搬機械総合メーカー「IHI運搬機械(株)」様。今回は沼津工場に開設されている、危険を見て、体感する施設「危険体感道場」取材してきました。

会員皆様の安全、教育活動の参考にいただければ幸いです。

1. IHI運搬機械株式会社・沼津工場の概要

IHI運搬機械株式会社（以下本文ではIUKと表記）は、1973年4月に設立されたパーキングシステムと運搬機械の製造等を事業とするIHIグループの会社です。

IUKの国内工場は2つあり、今回訪問した静岡県沼津市の沼津工場では機械式駐車場装置（パーキングシステム）とそのメンテナンス部品等を、広島県呉市の安浦工場では主に運搬機械（クレーン）を製造しています。

沼津工場の総面積125,000㎡の敷地には

各種生産設備と開発施設、研修施設の他に、タワー式駐車場と自走式駐車場のテスト施設があります。普段は開発や実験に用いられるほか、津波発生時の避難場所にも指定されています。



沼津工場内

今回は総務人事部安全衛生グループ部長の小澤さんと沼津工場総務・安全衛生グループスタッフの二藤さんに工場と道場をご案内いただきました。



機械式駐車場テスト施設



ご案内いただいた小澤さん（左）、二藤さん（中）

2. 「危険体感道場」紹介

(1) 「危険体感道場」

訪問させていただいた「危険体感道場」は過去に発生した災害実例をもとにした体験施設で、構想から開設までおおよそ一年強の期間を要したそうです。



「危険体感道場」看板

主に若年層や経験が浅い作業員の現場に潜む危険への“感性”を高めることでルールを再確認し、常に災害防止意識をもつよう促すことを目的としています。



道場内全景

2009年の開設以来、全国のサービスセンターにいる作業員等を始め、延べ3,000名以上が「道場」研修を済ませたそうです。

(2) 施設概要

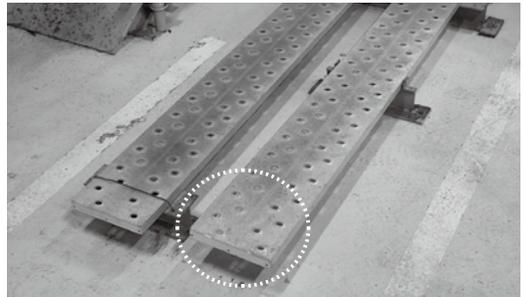
この「危険体感道場」は沼津工場の敷地内にある工場棟の一部を改装して作られました（道場の広さ：幅約7m×長さ約32m）。

28箇所の体感ブースはなるべく実際の環境を再現して視覚、聴覚、触覚で学べるよう工夫がなされています。

一方で危険を伝えるためのリアルな状況再現と、「道場」の安全確保とのバランス調整に相当苦勞されたと伺いました。パワーのある各種装置をそのまま使えば危ないものの、出力を抑えると危機感も伝わらないのでは…という悩みがあったそうです。

- (3) 主なブースの紹介（紹介順不同、全体の概要は48～49頁を参照してください）
a. 足場歩行体感・はしご設置角度体感ブース

足場歩行体感ブースでの基本確認から道場はスタートしました。狭い通路や傾斜を歩くだけでなく、足元をよく見ると不安定な箇所が“ワナ”のように再現されていました。



端部が未結束の足場板

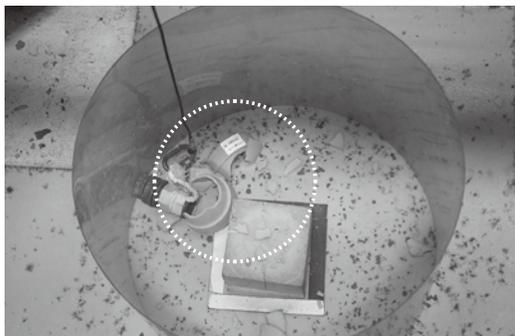
脚立とはしごにも“ワナ”が仕掛けられています。時には参加者に使わせて危険を体感し、安全な使い方を再認識してもらうそうです。



脚立接地面に凸凹あり

- b. 飛来落下衝撃体験・墜落実験ブース
ヘルメットをしないとどのような危険があるか？

飛来物落下の衝撃を受けた“植木鉢だったもの”の破片を見れば即座に理解できることでしょう。



落下物の衝撃を受けて割れた鉢

人の背骨に見たてた角材をつけた75kgのおもりを2mの高さから、鋼材のうゑに落とすと、角材は見事に割れました。

人が背丈より高い作業空間から転落すればどうなるか、事の重大さがわかります。



人間の背骨に見立てた割れた角材

- c. ターンテーブル清掃体験ブース
パーキングシステムを取り扱うIUKならではの“体感”内容が特長的だと感じました。パーキングシステムの機械部分は必ずしも動きが速いとは限らず、作業者がつい油断して災害が発生

したことを受けてのことだそうです。

駐車場のターンテーブル清掃に潜む危険体感ブースでも、ゆっくり動く面に添わせていた軍手は、スッと従動輪に巻き込まれてしまいます。



巻き込まれる軍手

- d. 各種巻き込まれ体感ブース

装置ごとに設けられた巻き込まれ体感ブースでは、駆動する機械に触れていた軍手と竹棒がふとした瞬間に持ちつかれる様子を見ることができました。

挟まった瞬間のバキッという音と、ボロボロになった軍手から、災害の恐ろしさが伝わります。



巻き込まれる軍手（上）・折れた竹棒（下）

e. ボルト外し体感ブース

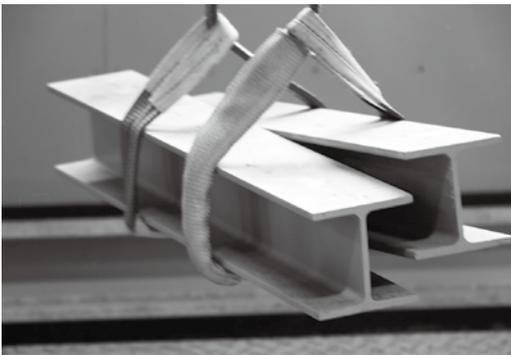
“ボルト外し体感”ブースは、作業者への意識啓発はもちろんのこと、設計・開発部門にも災害情報をフィードバックし、安全な設計、構造につなげることも意図した展示でした。



設計、開発部門にもフィードバック

f. 吊荷挟まれ体感ブース

不適切な吊荷作業がもたらす危険も道場」で実演されます。



不適切な吊り方例

g. 電線発火体感、作業服燃焼状態・衣類の燃え方ブース

電気や火気への注意喚起ブースも設けられています。特に思いのほか火気に耐えられる作業服と、その内側にありながら黒焦げになったシャツには衝撃を覚えました。



過電流による電線発火



燃えた作業服、作業シャツ

(4) 今後の展開

目下検討中の新体感項目として2つを挙げていただきました。

一つはヒューマンエラーの再現・疑似体験、もう一つは最新の電動工具使用時の危険認識とのことです。道場の改良改造は今後も随時行っていきたい、とのことでした。

3. 取材を終えて

IUKにおいて、長期的な視点にたてば災害件数は減少傾向にあるものの、それは作業環境の改善や工具・治具の見直し等管理面での成果で、それだけでは不十分という認識を持たれていました。

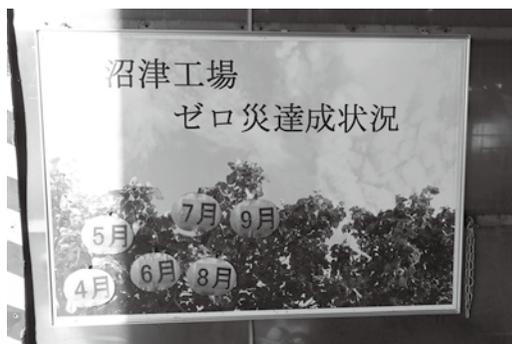
危険に気づき回避する能力は、自分だけでなく、現場の仲間を守るためにも大切な感性の一つです。この「危険体感道場」は、そのことを意識するきっかけ、高めるきっかけになると思います。



安全五原則看板

最後に、沼津工場のとある生産棟に掲げられていたゼロ災達成状況を示す“みかん”ボードをご紹介します。ゼロが続けば一年間の“果実”がたわわに実ることになるはずです。本稿が掲載されるころにはちょうどみかん収穫の最盛期、「真剣に、ちよっ

とのユーモアを込めて安全確保に取り組む」現場の様子を感じられた気がしました。



ゼロ災害達成状況“みかん”ボード

末筆ながら、IHI運搬機械株式会社ならびに沼津工場の益々のご発展を祈念し、結びの言葉とさせていただきます。

〔業務部：吉田 記〕



「道場」責任者様より

IHI運搬機械株式会社
総務人事部 安全衛生グループ

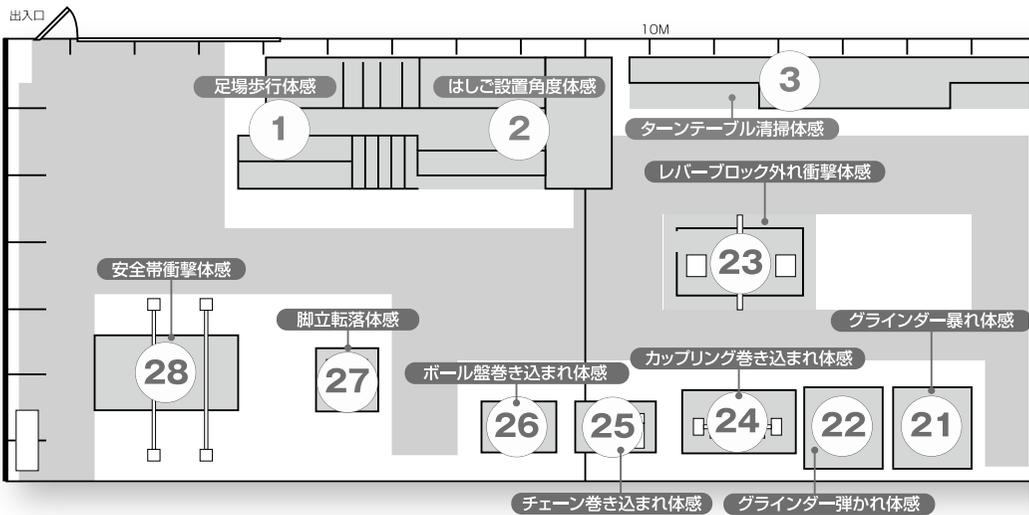
部長 小澤 雄司 さん

工夫を凝らして教育していく！

当社の危険体感道場は「実際に発生した災害事例」を再現したものがあり、これを説明するときは「災害に至るまでの経緯」や「なぜそのような行動を取ってしまったのか」もあわせて説明するようにしています。単純に「はさまれ・巻き込まれを体感した」という経験より「〇〇が理由で手を置いてしまったために巻き込まれた!」という疑似的な体験になることを目指しています。残念ながら未だに類似災害はなくなりませんが、危険体感道場での経験は、日々の作業における災害リスクの回避に役立っていると思います。

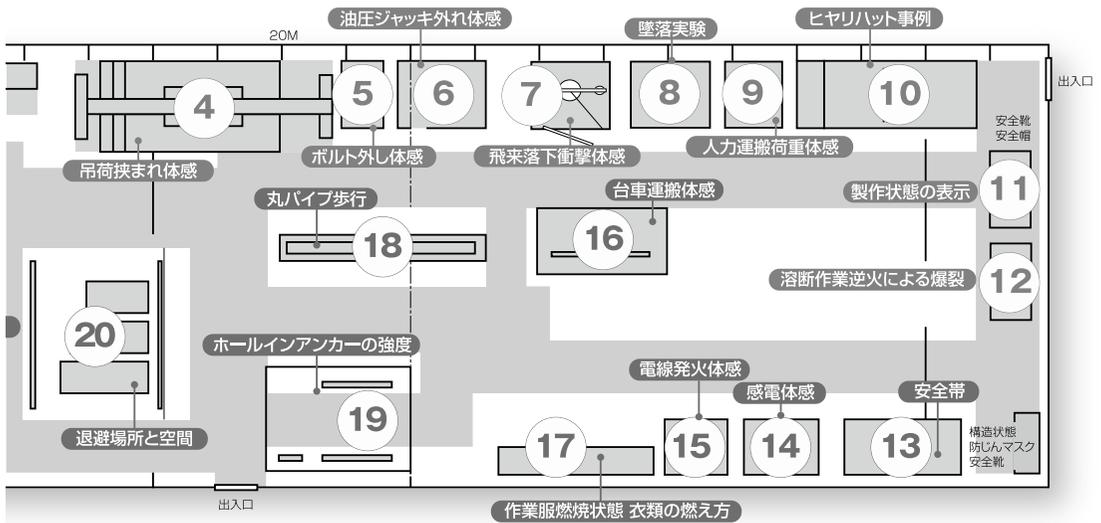
これからも、体感した人の実になるような工夫を凝らした体感指導をしていきたいと思っています。 ご安全に！

危険体感設置設備



置設備

現場を想定し、さまざまな危険箇所を道場内に設置しました。
話だけではわからない危険を実際に体感し、
現場での事故・災害の防止につなげてください。



建 荷 協 の 動 き

(令和2年10月1日～11月30日)

常設委員会

令和2年度第3回検査・整備技術委員会

月 日：令和2年11月20日（金）

場 所：株式会社 豊田自動織機
高浜工場

議 事：

- ・高浜工場現地視察（フォークリフトの構造及び機能への理解向上）

令和2年度第4回広報委員会

月 日：令和2年11月6日（金）

場 所：喜山倶楽部

議 事：

1. 前回議事録の確認（令和2年9月4日開催：令和2年度第3回分）
2. 機関誌中期編集計画の検討(251号R3 / 1月号～253号5月号)
3. 製品紹介（251号掲載分）
4. イラスト災害事例の検討（251号掲載用初回案）
5. 令和2年度強調月間新聞広告について（最終）
6. 令和3年版年間ポスターの制作について（最終）
7. 令和3年版年間リーフレットおよび対象機械ラインアップポスターの制作・配付について（最終）
8. 特自検PR用幟（のぼり）制作および発送について
9. 車両系荷役運搬機械/車両系建設機械等の労働災害による死亡災害の推移と令和元年における発生状況
10. 令和3年度現場取材見学会について
11. 令和2年度広報委員会開催スケジュール
12. 令和2年度広報委員会名簿
13. その他（講座次回掲載テーマ案）

会員入会状況

令和2年10月1日から令和2年11月30日までの会員の入会状況は次のとおりである。

| 種別 | 対象業種別 | 会 員 数 (社) | | | |
|------------------|----------|--------------------|-----------------------------|-----|---------------------|
| | | 令和2年 9月末 会員数 | 令和2年10月1日～ 令和2年11月30日間異動 | | 令和2年 11月末 会員数 |
| | | | 入 会 | 退 会 | |
| 正 会 員 | 製造業 | 26 | | | 26 |
| | 建設業 | 296 | | | 296 |
| | 荷役業 | 88 | | | 88 |
| | 製造工業等 | 43 | | | 43 |
| | リース・レンタル | 667 | 2 | 2 | 667 |
| | 検査・整備業 | 2,836 | 2 | 6 | 2,832 |
| | その他業種 | 177 | | | 177 |
| 賛 助 会 員 | | 15 | | | 15 |
| 総 数 | | 4,148 | 4 | 8 | 4,144 |

新入会員名簿

| 会員番号 | 名 称 | 〒 | 所在地 | 電話番号 |
|-------|-----------------|----------|--------------------|---------------|
| 61260 | (株)JFサービス | 661-0975 | 兵庫県尼崎市下坂部3丁目8-22 | 06-6423-8491 |
| 61261 | (株)西南レンタル | 854-0064 | 長崎県諫早市若葉町350-1 | 0957-25-5181 |
| 76258 | 曾根オートライフセンター(株) | 800-0211 | 福岡県北九州市小倉南区新曾根6-8 | 093-472-5515 |
| 76259 | (株)FLAT | 800-0242 | 福岡県北九州市小倉南区津田5-5-5 | 090-9651-1149 |

お知らせ

「日本産業保健法学会」設立される！

本誌236号より計7回にわたり、“そこが知りたい！「実践 働き方改革 労務管理講座」”をご執筆いただいた社会保険労務士法人中村・中辻事務所の中辻めぐみ先生より、「日本産業保健法学会」設立の案内がありました。(代表理事：中嶋 士元也、設立日：令和2年11月1日)

本学会は、法の知見を基礎としつつ関係分野の知恵を総合することで、産業保健の現場で日々生起する不幸な事案を、①未然に防ぎ、また②起きてしまった事案を建設的に解決するための方策を探っていくことを趣旨としており、中辻先生ご自身も各部会・委員会の委員に就任されているほか、各分野の多職種の方が参加されています。

設立を機に学会員の募集を開始するほか、認定資格制度(資格名：産業保健法務主任者/メンタルヘルス法務主任者)も発足します。

ご興味のある方は是非、一度「日本産業保健法学会」ホームページまでアクセスしてみたいかがでしょうか。

日本産業保健法学会 [URL : https://jaohl.jp/](https://jaohl.jp/)

入会その他本学会に関するお問い合わせ先は、以下のとおりです。(令和2年11月1日から会員募集を開始)

日本産業保健法学会事務局

〒162-0833 東京都新宿区笹筒町43 新神楽坂ビル2階

TEL 03-5946-8844 FAX 03-5229-6889 E-mail info@jaohl.jp

令和 2 年度 特定自主検査資格取得研修・教育の予定表

令和 2 年度における当協会の支部が行う研修・教育の実施予定は別表 1・2 及び 3 のとおりです。

受講される場合は、毎号の機関誌（又は当協会のホームページ）を参考に、支部で実施予定を確認の上、お申込みください。なお、当協会の会員以外の事業所の方も受講できます。

事業所は、退職、異動等で検査者の不足が生じないよう資格取得研修の受講を計画してください。

1. 特定自主検査資格取得研修

(別表 1)

厚生労働省の告示及び通達に基づく、事業内検査者及び検査業者検査員の資格取得のための研修です。

2. 特定自主検査者能力向上教育

(別表 2)

厚生労働省の通達に基づき、「フォークリフト」「整地・運搬・積込み用、掘削用及び解体用機械」「締固め用機械」「基礎工事用機械」「コンクリート打設用機械」並びに「高所作業車」の特定自主検査者の業務に従事しておおむね5年以上経過した方を対象に、技術、知識を付与することを目的とした教育です。

3. 実務研修及び安全教育

(別表 3)

・実務研修「記録表作成コース」

他の法令で資格を取得された方（建設機械施工士他）や記録表の記入要領について再び学びたい方などを対象に、特定自主検査の法令上の位置付け、検査方法、及び具体的な記録表の書き方などについて学ぶことができます。

なお、このコースには座学だけのコースと実機を使ったコースがあります。

・実務研修「月次定期自主検査（フォークリフト）コース」

定期自主検査の中でも月次検査については、特定自主検査の検査員資格がなくても検査を行うことができます。日頃フォークリフトの整備や運転業務に従事されている方を対象に検査方法や記録表の記入要領について学ぶことができます。

なお、このコースも座学だけのコースと実機を使ったコースがあります。

【新設】

・実務研修「月次定期自主検査（車両系建機）コース」

上記フォークリフトに引き続き車両系（整地・運搬等）の月次検査についても検査方法や記録表の記入要領について学ぶことができます。

なお、このコースも座学だけのコースと実機を使ったコースがあります。

・実務研修「検査業者業務点検コース」

登録検査業者として、正しい管理運営の在り方について点検表に基づいて、内容を理解しながら研修をします。

・安全教育

厚生労働省の通達に基づき定期自主検査対象であるクレーン機能付油圧ショベルのクレーン部分（「建機付属クレーン部分」という。）並びにショベルローダー等の定期自主検査者を対象とした安全教育です。

※ なお、能力向上教育及び実務研修につきましては、昨年と同様にキャンペーン価格となっておりますので、この機会に受講をお待ちしております。

* 研修・教育の予定は令和 2 年11月26日現在です。都合により中止・延期等変更になる場合がありますので事前に開催支部にお問い合わせ下さい。

令和2年度 特定自主検査資格取得研修（事業内）予定表（別表1）

（令和2年11月26日現在）

| 地区 | 支部 | フォークリフト | | 車両系建設機械 | | | |
|----------|-------------|-------------|------------|-------------------|------------|-------------|--|
| | | | | 整地・運搬・積込・掘削・解体用機械 | | | |
| 北海道・東北地区 | 北海道 | | | | | 7/15～17 EF | |
| | 青森 | | | | | | |
| | 岩手 | | | | | | |
| | 宮城 | | | | | | |
| | 秋田 | | | | | 9/11～12 EF | |
| | 山形 | | | | | | |
| 関東地区 | 福島 | | | | | | |
| | 茨城 | 12/3～4 EF | | | | 10/20～21 EF | |
| | 栃木 | 4/4～5 EF | | | | 2/5～6 EF | |
| | 群馬 | 10/16～17 EF | | | | | |
| | 埼玉 | 8/26～28 EF | | | | 2/3～5 EF | |
| | 千葉 | 4/9～11 EF | 9/17～19 EF | | | 7/8～10 EF | |
| | 東京 | 11/19～21 EF | | | | | |
| 神奈川 | 11/12～14 EF | | | | 7/28～30 EF | | |
| 中部地区 | 新潟 | | | | | | |
| | 富山 | | | | | | |
| | 石川 | | | | | | |
| | 福井 | | | | | | |
| | 山梨 | | | | | | |
| | 長野 | 11/4～6 EF | | | | | |
| | 岐阜 | | | | | | |
| | 静岡 | 6/18～19 EF | | | | 4/16～17 EF | |
| | 愛知 | 3/11～13 EF | | | | 3/2～4 EF | |
| 三重 | 10/23～25 EF | | | | 9/25～27 EF | | |
| 近畿地区 | 滋賀 | | | | | | |
| | 京都 | | | | | | |
| | 大阪 | 2/16～21 EF | | | | | |
| | 兵庫 | | | | | | |
| | 奈良 | | | | | | |
| 中国地区 | 和歌山 | | | | | | |
| | 鳥取 | 9/16～18 EF | | | | | |
| | 島根 | | | | | | |
| | 岡山 | 8/3～4 EF | 1/25～26 EF | | | | |
| | 広島 | 9/25～26 EF | | | | 10/8～9 EF | |
| 四国地区 | 山口 | 12/18～19 EF | | | | 8/21～22 EF | |
| | 徳島 | | | | | | |
| | 香川 | | | | | | |
| | 愛媛 | 9/12～13 EF | | | | 7/17～18 EF | |
| 九州・沖縄地区 | 高知 | 9/11～12 EF | | | | | |
| | 福岡 | 9/17～19 EFG | | | | 7/9～10 EF | |
| | 佐賀 | 10/7～8 EF | | | | | |
| | 長崎 | | | | | | |
| | 熊本 | 10/3～4 EF | | | | | |
| | 大分 | | | | | | |
| 宮崎 | | | | | | | |
| 鹿児島 | | | | | | | |
| 沖縄 | | | | | | | |

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Eは14時間、Fは9.5時間、Gは5.5時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和2年度 特定自主検査資格取得研修（事業内） 予定表（別表1）

（令和2年11月26日現在）

| 地区 | 支部 | 車両系建設機械 | | | 高所作業車 | |
|----------|-----|---------|------------|-----------|-------------|------------|
| | | 基礎工事用 | 締固め用 | コンクリート打設用 | | |
| 北海道・東北地区 | 北海道 | | | | | |
| | 青森 | | | | | |
| | 岩手 | | | | | |
| | 宮城 | | | | | |
| | 秋田 | | | | | |
| | 山形 | | | | | |
| 関東地区 | 福島 | | | | | |
| | 茨城 | | 11/5～6 EF | | 1/25～26 EF | |
| | 栃木 | | | | | |
| | 群馬 | | | | 9/16～17 EF | |
| | 埼玉 | | 6/16～18 EF | | 3/15～17 EF | |
| | 千葉 | | | | 7/28～30 EF | |
| 中部地区 | 東京 | | | | 9/10～12 EF | |
| | 神奈川 | | | | 3/4～6 EF | |
| | 新潟 | | | | | |
| | 富山 | | | | | |
| | 石川 | | | | | |
| | 福井 | | | | | |
| | 山梨 | | | | | |
| | 長野 | | | | | |
| 近畿地区 | 岐阜 | | | | | |
| | 静岡 | | | | 10/2～3 EF | 1/20～21 EF |
| | 愛知 | | | | | |
| | 三重 | | | | 11/20～22 EF | |
| 中国地区 | 滋賀 | | | | | |
| | 京都 | | | | | |
| | 大阪 | | | | | |
| | 兵庫 | | | | | |
| | 奈良 | | | | | |
| | 和歌山 | | | | | |
| 四国地区 | 鳥取 | | | | | |
| | 島根 | | | | | |
| | 岡山 | | | | | |
| | 広島 | | | | 9/10～12 F | |
| 九州・沖縄地区 | 山口 | | | | | |
| | 徳島 | | | | | |
| | 香川 | | | | 10/2～3 EF | |
| 九州・沖縄地区 | 愛媛 | | | | | |
| | 高知 | | | | | |
| | 福岡 | | | | 11/13～15 EF | |
| | 佐賀 | | 7/2～3 EF | | | |
| | 長崎 | | | | | |
| | 熊本 | | | | | |
| 九州・沖縄地区 | 大分 | | | | | |
| | 宮崎 | | | | | |
| | 鹿児島 | | | | | |
| 九州・沖縄地区 | 沖縄 | | | | | |

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Eは14時間、Fは9.5時間、Gは5.5時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和2年度 特定自主検査資格取得研修（検査業）予定表（別表1）

（令和2年11月26日現在）

| 地区 | 支部 | フォークリフト | | | | 車両系建設機械 | | | | | |
|----------|-------|----------|------|----------|------|-------------------|---------|----------|-----|----------|-----|
| | | | | | | 整地・運搬・積込・掘削・解体用機械 | | | | | |
| 北海道・東北地区 | 北海道 | 7/1～3 | BCD | 9/16～18 | BCD | | | 9/7～11 | ABC | | |
| | 青森 | 7/17～19 | BCD | | | | | 9/11～13 | BC | | |
| | 岩手 | 12/2～4 | BC | | | | | 9/1～10 | ABC | | |
| | 宮城 | 11/5～7 | BC | | | | | 9/16～20 | ABC | | |
| | 秋田 | 7/16～18 | BC | | | | | 10/22～24 | BC | | |
| | 山形 | 10/21～23 | BCD | | | | | 8/25～31 | BC | | |
| | 福島 | 7/15～17 | BC | | | | | | | | |
| 関東地区 | 茨城 | 10/26～28 | BCD | 12/9～11 | BCD | | | 7/6～10 | ABC | | |
| | 栃木 | 9/11～13 | BCD | | | | | 10/14～16 | BC | | |
| | 群馬 | 7/9～11 | BCD | | | | | 9/4～6 | BC | | |
| | 埼玉 | 7/13～17 | ABCD | 3/8～12 | ABCD | | | 12/7～11 | ABC | | |
| | 千葉 | 6/18～20 | BC | 12/17～19 | BC | | | 10/28～30 | BC | | |
| | 東京 | | | | | | | | | | |
| | 神奈川 | 10/22～24 | BC | | | | | | | | |
| 中部地区 | 新潟 | 7/2～4 | BC | 7/16～18 | BC | | | | | | |
| | 富山 | 9/9～11 | BC | | | | | | | | |
| | 石川 | 10/1～3 | BC | | | | | | | | |
| | 福井 | 6/18～21 | BC | | | | | 7/7～11 | BC | | |
| | 山梨 | | | | | | | | | | |
| | 長野 | 12/8～10 | BC | | | | | 9/9～11 | BC | | |
| | 岐阜 | 9/23～25 | BC | | | | | 10/27～29 | BC | | |
| | 静岡 | 6/9～13 | ABC | 7/9～11 | BC | 9/9～11 | BC | 2/2～10 | BCD | 5/12～16 | ABC |
| | 愛知 | 6/19～21 | BCD | 9/17～21 | ABC | 10/8～10 | BC | | | 9/28～30 | BC |
| | 三重 | 9/4～6 | BC | | | | | | | 7/31～8/2 | BC |
| 近畿地区 | 滋賀 | 2/17～19 | BCD | | | | | | | | |
| | 京都 | 9/17～19 | BC | | | | | | | | |
| | 大阪 | 7/6～12 | ABCD | 10/20～25 | BC | | | | | | |
| | 兵庫 | 10/8～11 | BCD | | | | | 9/17～19 | BC | | |
| | 奈良 | 10/8～11 | BC | | | | | | | | |
| | 和歌山 | | | | | | | 8/27～29 | BC | | |
| 中国地区 | 鳥取 | 9/16～18 | BC | | | | | | | | |
| | 島根 | 7/8～10 | BC | | | | | | | | |
| | 岡山 | 6/29～7/3 | ABC | 3/15～17 | BC | | | 10/26～30 | ABC | | |
| | 広島 | 11/11～15 | ABC | | | | | 10/12～16 | ABC | | |
| | 山口 | 7/9～11 | BC | 10/8～10 | BC | | | 9/24～26 | BC | | |
| 四国地区 | 徳島 | 10/15～17 | BC | | | | | | | | |
| | 香川 | | | | | | | | | | |
| | 愛媛 | 6/25～27 | BCD | 1/14～16 | BCD | | | | | | |
| | 高知 | | | | | | | | | | |
| 九州・沖縄地区 | 福岡 | 8/26～30 | ABCD | 1/14～16 | BCD | | | 2/17～19 | BC | | |
| | 佐賀 | 2/2～4 | BC | | | | | | | | |
| | 長崎 | 10/21～25 | ABC | | | | | | | | |
| | 熊本 | 7/18～26 | ABCD | | | | | 2/5～14 | ABC | | |
| | 大分 | 6/24～28 | ABC | | | | | 8/26～30 | ABC | | |
| | 宮崎 | 7/15～19 | ABC | | | | | 9/9～13 | ABC | | |
| | 鹿児島 | 10/21～25 | ABC | | | | | 7/9～11 | ABC | | |
| 沖縄 | 7/1～5 | ABC | | | | | 6/24～28 | ABC | | | |

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Aは35時間、Bは21時間、Cは18時間、Dは13時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和2年度 特定自主検査資格取得研修（検査業） 予定表（別表1）

（令和2年11月26日現在）

| 地区 | 支部 | 車両系建設機械 | | | 高所作業車 | | |
|----------|-----|--------------|---------------|--------------|--------------|-------------|--|
| | | 基礎工事用 | 締固め用 | コンクリート打設用 | | | |
| 北海道・東北地区 | 北海道 | 8/19～21 BC | | | 9/2～4 BC | 10/7～9 BC | |
| | 青森 | | | | 7/3～5 BC | | |
| | 岩手 | | 11/4～6 BC | | 10/6～8 BC | | |
| | 宮城 | | | | 7/13～15 BC | | |
| | 秋田 | | | | 9/16～18 BC | | |
| | 山形 | | | | 7/15～17 BC | | |
| | 福島 | | | | 9/10～12 BC | | |
| 関東地区 | 茨城 | | 10/12～14 BC | | 7/20～22 BC | | |
| | 栃木 | | 10/29～31 BC | | 12/10～12 BC | | |
| | 群馬 | | | | | | |
| | 埼玉 | 10/19～23 ABC | 6/15～19 ABC | | 2/15～19 ABC | | |
| | 千葉 | | | | 10/6～8 BC | | |
| | 東京 | | | | 11/5～7 BC | | |
| | 神奈川 | | | | 1/14～16 BC | | |
| 中部地区 | 新潟 | | | | 10/22～24 BC | | |
| | 富山 | | | | 7/9～11 BC | | |
| | 石川 | | | | | | |
| | 福井 | | | | 9/10～12 BC | | |
| | 山梨 | | | | | | |
| | 長野 | | | | | | |
| | 岐阜 | | | | 9/2～4 BC | | |
| | 静岡 | | | 10/13～17 ABC | 9/17～19 BC | 12/2～4 BC | |
| 愛知 | | 7/28～30 BC | | 6/26～28 BC | 11/6～8 BC | | |
| 近畿地区 | 三重 | | | | 8/28～30 BC | | |
| | 滋賀 | | | | | | |
| | 京都 | | | | 7/2～4 BC | | |
| | 大阪 | | | | 8/31～9/4 ABC | | |
| | 兵庫 | 3/1～3 BC | | 10/14～16 BC | 8/5～7 BC | 3/10～12 BC | |
| | 奈良 | | | | | | |
| 中国地区 | 和歌山 | | | | | | |
| | 鳥取 | | | | | | |
| | 島根 | | | | | | |
| | 岡山 | | 11/30～12/2 BC | | 7/13～15 BC | 2/15～19 ABC | |
| 四国地区 | 広島 | | | | 9/3～5 C | | |
| | 山口 | | | | 9/10～12 BC | | |
| | 徳島 | | | | | | |
| | 香川 | | | | | | |
| 九州・沖縄地区 | 愛媛 | | | | 10/15～17 BC | | |
| | 高知 | | | | | | |
| | 福岡 | 7/31～8/2 BC | | | 10/21～25 ABC | | |
| | 佐賀 | | | | 8/4～6 BC | | |
| | 長崎 | | | | | | |
| | 熊本 | | | | | | |
| | 大分 | | 9/25～27 BC | | 10/16～18 BC | | |
| 宮崎 | | | | 10/15～17 BC | | | |
| 九州・沖縄地区 | 鹿児島 | | | | | | |
| | 沖縄 | | 12/2～6 ABC | | 10/21～25 ABC | | |

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中、Aは35時間、Bは21時間、Cは18時間、Dは13時間の受講時間を示します。

注3 表中の網掛けは終了した研修を示します。

令和2年度 特定自主検査能力向上教育予定表(別表2)

(令和2年11月26日現在)

| 地区 | 支部 | フォークリフト | | | 車両系建設機械 | | | | | | | 高所作業車 | | |
|----------|------|---------|-------|-------|------------------|-------|-------|-------|-------|------|--|-------|-------|-----------|
| | | | | | 整地・運搬・積込、掘削及び解体用 | | | 基礎工事用 | | 締固め用 | | | | コンクリート打設用 |
| 北海道・東北地区 | 北海道 | 6/10 | | | 7/8 | | | | | | | | | |
| | 青森 | 2/10 | | | 2/19 | | | | | | | | | |
| | 岩手 | | | | 9/24 | | | | | | | | | |
| | 宮城 | 10/15 | | | 8/28 | | | | | | | | 8/21 | |
| | 秋田 | 8/5 | | | 8/21 | | | | 8/24 | | | | 8/26 | |
| | 山形 | 11/6 | | | 7/7 | | | | | | | | 9/3 | |
| 関東地区 | 福島 | 9/25 | 10/21 | 10/28 | 8/5 | 8/21 | 10/20 | | 10/13 | | | | 7/3 | |
| | 茨城 | 12/8 | 3/5 | | 10/6 | 2/8 | | | | | | | | |
| | 栃木 | | | | | | | | | | | 8/2 | 8/28 | |
| | 群馬 | 10/12 | | | 10/13 | | | | | | | | | |
| | 埼玉 | 10/14 | | | 9/2 | | | 10/28 | | 3/2 | | | 6/24 | |
| | 千葉 | 9/8 | | | 9/24 | | | | | | | | | |
| 中部地区 | 東京 | 9/2 | | | | | | | | | | | 10/21 | |
| | 神奈川 | 12/11 | | | 10/15 | | | | | | | | | |
| | 新潟 | 8/26 | | | 9/2 | | | | | | | | | |
| | 富山 | 7/21 | | | 7/17 | | | | | | | | 9/17 | |
| | 石川 | 7/15 | | | | | | | | | | | | |
| | 福井 | 10/21 | | | 7/20 | | | | | | | | 10/14 | |
| 近畿地区 | 山梨 | 7/29 | | | 9/8 | | | | | | | | | |
| | 長野 | 8/28 | | | 9/17 | | | | | | | | | |
| | 岐阜 | 2/9 | | | 8/19 | 8/26 | | | | | | | | |
| | 静岡 | 12/22 | 12/23 | 2/6 | 8/6 | 9/26 | | | | | | | 6/24 | |
| | 愛知 | 7/16 | 8/20 | | 7/7 | | | 3/17 | | 7/14 | | | 7/2 | |
| | 三重 | 9/2 | | | 9/16 | | | | | | | | 10/8 | |
| 中国地区 | 滋賀 | | | | 7/28 | | | | | | | | | |
| | 京都 | 11/19 | | | | | | | | | | | | |
| | 大阪 | 1/13 | | | | | | | | | | | | |
| | 兵庫 | 10/23 | | | | | | | | | | | 2/26 | |
| | 奈良 | | | | | | | | | | | | | |
| 四国地区 | 和歌山 | | | | | | | | | | | | | |
| | 鳥取 | 9/4 | | | 11/20 | | | | | | | | | |
| | 島根 | | | | 8/6 | | | | | | | | | |
| | 岡山 | 10/9 | 10/19 | | 9/14 | 10/16 | 11/20 | | | | | | | |
| 九州・沖縄地区 | 広島 | 9/8 | 9/16 | | 7/7 | 7/14 | 7/21 | | | | | | 7/2 | 7/16 |
| | 山口 | 11/14 | | | | | | | 10/24 | | | | | |
| | 徳島 | | | | | | | | | | | | | |
| 九州・沖縄地区 | 香川 | | | | 8/29 | | | | | | | | | |
| | 愛媛 | | | | | | | | | | | | | |
| | 高知 | | | | 9/11 | | | | | | | | | |
| | 福岡 | 8/6 | | | 2/5 | | | | | | | | | |
| | 佐賀 | 11/26 | | | 11/26 | | | | 9/11 | | | | 9/11 | |
| | 長崎 | 9/9 | 10/28 | 2/10 | 8/19 | 10/29 | 3/10 | | | | | | | |
| | 熊本 | 9/5 | | | 1/30 | | | | | | | | | |
| | 大分 | | | | 11/14 | | | | | | | | | |
| 宮崎 | 7/11 | | | 6/20 | 7/4 | | | | | | | 1/9 | | |
| 九州・沖縄地区 | 鹿児島 | 9/5 | | | 8/22 | | | | | | | | | |
| | 沖縄 | 1/15 | | | 12/11 | | | | | | | | | |

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。

注2 表中の網掛けは終了した教育を示します。

令和2年度 実務研修、定期自主検査安全教育予定表 (別表3)

(令和2年11月26日現在)

| 地区 | 支部 | 実務研修 | | | | | | | | 安全教育 | | | | | |
|----------|------|----------|-------|-------|-------|-----------------------|----|------------------|-----|-------------|----------------|---------------|-------|--|--|
| | | 記録表作成コース | | | | 月次定期自主検査 (フォークリフト) | | 月次定期自主検査 (建機) | | 業務点検 コース | 建機付属 クレーン部分 | ショベル ローダー等 | | | |
| | | 座学 | | 実技 | | 座学 | 実技 | 座学 | 実技 | | | | | | |
| 北海道・東北地区 | 北海道 | 8/4 | 10/13 | | | | | | | | 7/7 | 8/3 | | | |
| | 青森 | 3/3 | | | | | | | | | 8/7 | | | | |
| | 岩手 | 1/21 | | 8/27 | 10/21 | 11/26 | | | | 11/9 | 8/18 | | | | |
| | 宮城 | 9/10 | 11/20 | | | | | | | | 11/27 | | | | |
| | 秋田 | 7/15 | 8/24 | | | | | | | | 8/7 | | 7/21 | | |
| | 山形 | 8/20 | | | | | | | 9/9 | | 7/14 | | 9/8 | | |
| | 福島 | 9/18 | | | | | | | | | 8/20 | | | | |
| 関東地区 | 茨城 | | | 1/19 | | | | | | 10/30 | 10/8 | | 1/12 | | |
| | 栃木 | 11/26 | | | | | | | | | 9/4 | | 10/22 | | |
| | 群馬 | | | | | | | | | 10/26 | 11/13 | | | | |
| | 埼玉 | 11/11 | | | | 7/1 | | | | 12/2 | 7/8 | | | | |
| | 千葉 | 1/28 | | | | | | | | 11/6 | 8/6 | 12/3 | | | |
| | 東京 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 神奈川 | 11/27 | | | | | | | | 11/20 | 10/16 | | | | |
| 中部地区 | 新潟 | 10/21 | | | | | | | | 10/7 | 8/5 | | | | |
| | 富山 | | | | | | | | | | 9/29 | | 7/2 | | |
| | 石川 | | | 8/28 | | | | | | | 9/28 | | | | |
| | 福井 | | | | | 10/8 | | | | 10/2 | 10/27 | | | | |
| | 山梨 | | | | | | | | | | 11/18 | | | | |
| | 長野 | | | | | | | | | 10/16 | | | | | |
| | 岐阜 | | | 9/15 | | | | | | 10/14 | 7/10 | | 7/7 | | |
| | 静岡 | 8/21 | 10/7 | 11/7 | | | | | | 11/12 | 6/4 | 1/23 | 2/11 | | |
| | | 11/14 | 11/28 | 12/16 | | | | | | | | | | | |
| | | 1/16 | | | | | | | | | | | | | |
| 近畿地区 | 愛知 | 8/5 | | 8/3 | | | | | | 11/26 | 9/8 | | 8/26 | | |
| | 三重 | 8/5 | 9/9 | | | | | | | | 8/19 | | | | |
| | 滋賀 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 京都 | | | | | | | | | | 10/16 | | | | |
| | 大阪 | | | | | 11/11 | | | | 11/25 | | | | | |
| 中国地区 | 兵庫 | 2/18 | 3/5 | | | 2/19 | | | | | 7/30 | | 1/29 | | |
| | 奈良 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 和歌山 | 9/26 | 11/28 | | | | | | | | | | | | |
| | 鳥取 | 8/7 | | | | | | | | | 11/6 | | | | |
| | 島根 | | | | | | | | | | 7/21 | | | | |
| 四国地区 | 岡山 | | | 7/6 | | | | | | | 8/31 | | 9/30 | | |
| | 広島 | | | 7/9 | 2/4 | | | | | 8/20 | | | 9/9 | | |
| | 山口 | 12/12 | | | | | | | | | | | | | |
| | 徳島 | 10/23 | | | | | | | | | 10/22 | | | | |
| | 香川 | 10/17 | | | | | | | | | 1/30 | | | | |
| 九州・沖縄地区 | 愛媛 | | | 11/28 | | | | | | | 9/26 | | 1/23 | | |
| | 高知 | 10/8 | | | | | | | | | | | | | |
| | 福岡 | | | 9/30 | | | | | | 3/9 | 8/21 | | | | |
| | 佐賀 | 8/20 | | | | | | | | | | | | | |
| | 長崎 | | | 8/5 | 11/20 | 12/13 | | 7/8 | | 7/8 | | | | | |
| | | | | 1/28 | | | | 12/2 | | | | | | | |
| | 熊本 | 8/22 | | | | | | | | | 11/28 | | | | |
| 九州・沖縄地区 | 大分 | | | | | | | | | | 12/12 | | | | |
| | 宮崎 | 6/6 | 2/6 | 5/16 | | | | 5/9 | | 8/3 | 4/18 | | | | |
| | 鹿児島 | 12/5 | | | | | | | | | 8/8 | | | | |
| 沖縄 | 9/11 | | | | | 8/5 | | 11/27 | | 7/27 | | | | | |

注1 研修日程は会場等の都合で変更になる場合がありますので、受講を希望される方は開催支部にお問い合わせください。
 注2 表中の網掛けは終了した研修・教育を示します。

令和 2 年度 運転技能講習予定表

(令和 2 年11月26日現在)

| ●フォークリフト | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 秋田 | | | | 7/3~ | | | | 10/15~ | | | | |
| | | | | 7/14~ | | | | | | | | |
| 茨城 | | | | 7/9~ | 8/18~ | 9/11~ | 10/12~ | 11/13~ | 12/10~ | 1/14~ | 2/10~ | 3/9~ |
| 石川 | | | | | | 9/10~ | | | | | | |
| 山梨 | | | | 7/11~ | | 9/12~ | | 11/7~ | | | | |
| 大阪 | | | | | | 9/16~ | 10/7~ | | | 1/27~ | | 3/3~ |
| 長崎 | | | | 7/9~ | | 9/10~ | 10/8~ | 11/12~ | 12/3~ | 1/14~ | | 3/11~ |
| 熊本 | | | | | | 9/19~ | | | | | | |
| 宮崎 | 4/22~ | 5/20~ | 6/24~ | | | | | 10/21~ | 11/11~ | | | |

| ●車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用） | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|--|--|-------|--|------|-------|--|--------|--|--|-------|--|
| 兵庫 | | | | | | | | 10/20~ | | | | |
| 鳥取 | | | 6/18~ | | | | | 10/15~ | | | | |
| 鳥根 | | | | | | 9/14~ | | | | | | |
| 長崎 | | | | | 8/6~ | | | 11/5~ | | | 2/25~ | |

| ●車両系建設機械（解体用） | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 鳥取 | | 5/15 | | | | | | | | | | |

| ●不整地運搬車 | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|--|--|-------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 鳥取 | | | | 7/16~ | | | | | | | | |

| ●高所作業車 | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|--|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|--|-------|-------|
| 青森 | | | | 7/10~ | | 9/4~ | | 11/6~ | | | | |
| | | | | | 8/29~ | 9/26~ | 10/24~ | | 12/5~ | | | 3/13~ |
| 群馬 | | | | | | 9/26~ | | | | | | |
| 福井 | | | | | | 9/24~ | | | | | | |
| 滋賀 | 4/8~ | | | 7/1~ | | 9/8~ | 10/6~ | | 12/1~ | | | |
| 奈良 | | | | 7/4~ | | 9/24~ | | | | | | 3/23~ |
| 鳥取 | 4/15~ | | | | 8/19~ | | | | | | | |
| 鳥根 | | | | | | 9/3~ | | | | | | |
| 沖縄 | | | 6/19~ | 7/10~ | | | 10/16~ | 11/13~ | | | 2/19~ | |

注1 各講習会日程の最初の日を掲載しています。詳細は該当支部にお問い合わせください。

注2 表中の網掛けは終了した講習を示します。

お知らせ

〔令和2年度〕
各種研修の受講料

1 資格取得研修

(A) 事業内検査者研修

(単位：円)

(B) 検査業者検査員研修

(単位：円)

| 研修の種類 | 14時間コース | | 8.5・9.5時間コース | | 5.5時間コース | | 35時間コース | | 21時間コース | | 18時間コース | | 13時間コース | |
|-------------------------|---------|--------|--------------|--------|----------|--------|---------|---------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | 会員 | 一般 | 会員 | 一般 | 会員 | 一般 | 会員 | 一般 | 会員 | 一般 | 会員 | 一般 | 会員 | 一般 |
| 1 フォークリフト | 47,850 | 51,920 | 43,450 | 47,520 | 42,350 | 46,420 | 76,450 | 80,520 | 54,450 | 58,520 | 52,250 | 56,320 | 51,150 | 55,220 |
| 2 整地・運搬・積込み用、掘削用及び解体用機械 | 56,210 | 63,580 | 51,810 | 59,180 | — | | 89,210 | 96,580 | 66,110 | 73,480 | 61,710 | 69,080 | — | |
| 3 基礎工事用機械 | 58,190 | 65,120 | 53,790 | 60,720 | — | | 91,190 | 98,120 | 66,990 | 73,920 | 62,590 | 69,520 | — | |
| 4 締固め用機械 | 49,390 | 53,790 | 44,990 | 49,390 | — | | 77,990 | 82,390 | 55,990 | 60,390 | 53,790 | 58,190 | — | |
| 5 コンクリート打設用機械 | 63,800 | 68,970 | 58,300 | 63,470 | — | | 113,300 | 118,470 | 80,300 | 85,470 | 78,100 | 83,270 | — | |
| 6 高所作業車 | 51,810 | 56,980 | 47,410 | 52,580 | — | | 85,910 | 91,080 | 62,810 | 67,980 | 60,610 | 65,780 | — | |

2 能力向上教育 —キャンペーン価格—

(単位：円)

3 実務研修 —キャンペーン価格—

(単位：円)

| 教育の種類 | 会員 | 一般 |
|-------------------------|-------|--------|
| 1 フォークリフト | 8,360 | 10,230 |
| 2 整地・運搬・積込み用、掘削用及び解体用機械 | 9,130 | 11,440 |
| 3 基礎工事用機械 | 7,480 | 8,910 |
| 4 締固め用機械 | 6,490 | 7,480 |
| 5 コンクリート打設用機械 | 6,270 | 7,040 |
| 6 高所作業車 | 6,600 | 7,700 |

| 研修の種類 | 座学コース | | 実技コース | | |
|-------------|-----------------------|--------|--------|--------|--------|
| | 会員 | 一般 | 会員 | 一般 | |
| 記録表作成コース | フォークリフト | 8,910 | 11,110 | 14,410 | 16,610 |
| | 整地・運搬・積込み用、掘削用及び解体用機械 | 9,240 | 11,550 | 14,740 | 17,050 |
| | 基礎工事用機械 | 9,240 | 11,550 | 14,740 | 17,050 |
| | 締固め用機械 | 9,020 | 11,220 | 14,520 | 16,720 |
| | コンクリートポンプ車 | 9,020 | 11,220 | 14,520 | 16,720 |
| 高所作業車 | 8,910 | 11,110 | 14,410 | 16,610 | |
| 月次定期自主検査コース | フォークリフト | 5,610 | 6,160 | 11,110 | 11,660 |
| | 車両系建機 | 5,390 | 5,830 | 10,890 | 11,330 |
| 検査業者業務点検コース | 会員 | | 一般 | | |
| | 6,050 | | 6,930 | | |

4 安全教育

(単位：円)

| 教育の種類 | 会員 | 一般 |
|------------|--------|--------|
| 建機付属クレーン部分 | 7,480 | 8,030 |
| ショベルローダー等 | 12,980 | 15,070 |

- (注) 1. 受講料には、テキスト代及び消費税10%が含まれています。
 2. 当協会会員所属の受講者の受講料は、協会が教材費の一部を負担した額です。
 3. 本表に含まれるテキスト代以外の教材類を追加する等の際は、本表受講料と異なる場合があります。
 4. 受講料は、研修を実施する建荷協・支部に納金してください。

お知らせ

けんきにきょう
建荷協発行図書等のご案内

令和2年度版

確かめる 機械の安全 特自検



建設荷役車両安全技術協会

ご案内する図書等は公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会（略称 建荷協（けんきにきょう））都道府県各支部にてご購入いただけます。

■ 特定自主検査制度の入門解説

特定自主検査制度についての入門編

安全と特定自主検査のおはなし

「なぜ特定自主検査が必要なのか？特定自主検査とはどのようなものか？」をご理解いただけるよう、イラストを使いわかりやすく解説したものです。

(H25.6改訂C版発行)



特定自主検査の対象機械について

特定自主検査対象機械の概要

特定自主検査を行うべき機械等の代表的なものを写真、図で示し、特徴、用途などの概要をまとめたものです。

また、一部対象外機械についても掲載しています。

(H29.3改訂D版発行)



| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|----------------|------------|------|------|
| 安全と特定自主検査のおはなし | PC-ZC-02-C | 220円 | 330円 |

| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|---------------|------------|------|-------|
| 特定自主検査対象機械の概要 | SC-ZC-01-D | 660円 | 1100円 |

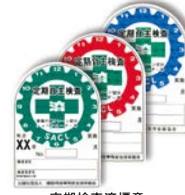
■ 特定自主検査済標章

特定自主検査 実施年月の明示

特定（定期）自主検査済標章

- 特定自主検査済標章
労働安全衛生規則に基づき、フォークリフト、不整地運搬車、車両系建設機械及び高所作業車について、年1回（不整地運搬車は2年に1回）実施することとされている特定自主検査を行った年月を明らかにするため、厚生労働省のご指導のもとに作成した標章です。検査業者用と事業内用とがあります。
- 定期自主検査済標章
労働安全衛生規則に基づき、「建機付属クレーン部分」、「ショベルローダー、フォークローダー及びストラドルキャリアー」について、年1回実施することとされている定期自主検査（年次検査）を行った年月を明らかにするため当該機械に貼る標章です。

| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|----------------|-----------|------|------|
| 特定自主検査済標章（事業内） | BP-LH-02 | 330円 | 990円 |
| 特定自主検査済標章（検査業） | BP-LR-02 | | |
| 定期自主検査済標章 | BP-LR1-02 | | |

特定自主検査済標章
（事業内）特定自主検査済標章
（検査業）

定期検査済標章

【注記】 検査済標章の色は、毎年1月1日をもって暦年ごとに変更されます。旧年発行の標章は同日以降使用できませんのでご注意ください。

特定自主検査に係る標章等について

標章の使い方から管理まで

特定自主検査を行ったときに貼付する標章等の取扱いについて解説したものです。

(H27.4改訂E版発行)

| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|--------------|------------|------|------|
| 標章の使い方から管理まで | BC-ZC-05-E | 220円 | 330円 |



表記の価格は全て消費税10%込の価格です。

■ 特定自主検査の実施

検査方法と判定基準

定期自主検査指針

労働安全衛生法、第45条第3項の規定に基づき公示にされた特定(定期)自主検査の検査項目、検査方法および判定基準をまとめたものです。

| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|-------------|------------|------|------|
| フォークリフト | SG-LG-01-A | 330円 | 440円 |
| 不整地運搬車 | SG-GR-01 | 220円 | 330円 |
| 車両系建設機械 | SG-KC-01-B | 440円 | 550円 |
| 高所作業車 | SG-HL-01 | 330円 | 440円 |
| フォークリフト(月次) | SG-LG-11-A | 220円 | 330円 |



検査結果の記録

特定(定期)自主検査記録表

特定(定期)自主検査を行った際に、当該機械の検査結果および補修措置等を記録しておくものです。

- ・記録表は3年間の保存義務があります。
- ・記録表は公益社団法人建設荷役車両安全技術協会の著作物です。無断で複製、転用することを禁じています。
- ・記録表は機械性能の向上に伴い随時改訂しています。



| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|-----------------------|----------------|------|-------|
| 特定(定期)自主検査記録表(普通紙) | 1冊50部 | 495円 | 770円 |
| 特定(定期)自主検査記録表(ノンカーボン) | 1冊25部(正副2枚で1部) | 737円 | 1100円 |

記録表の記入方法

特定自主検査記録表の記入要領

特定自主検査記録表は、機械性能の向上により随時改訂されています。

最新の記録表についても正確に記入できる様、記入方法を解説しています。

(R2.4改訂Q版発行)

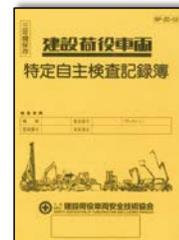


| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|----------------|------------|------|------|
| 特定自主検査記録表の記入要領 | TC-ZC-02-Q | 440円 | 550円 |

記録表の保存

特定自主検査記録簿

省令により3年間保存義務がある特定自主検査記録表をファイリングしておくためのものです。



| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|-----------|----------|------|------|
| 特定自主検査記録簿 | BP-ZC-03 | 110円 | 165円 |

特定自主検査業務を適正に行うための帳簿

特定自主検査台帳

- ・特定自主検査台帳 事業内用
特定自主検査済標準の受払を管理する「標準受払簿」と、保有機械の特定自主検査実施状況管理に使用する「標準貼付簿」を一体にしたものです。
- ・特定自主検査台帳 検査業者用
特定自主検査済標準の受払を管理する「標準受払簿」と、特定自主検査業務を適正に行うための「特定自主検査台帳」、検査料収納の管理に使用する「検査料金収納簿」を一体にしたものです。

| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|----------------|------------|-------|-------|
| 特定自主検査台帳 事業内用 | BC-ZC-04-A | 500円 | 825円 |
| 特定自主検査台帳 検査業者用 | BC-ZC-07 | 1650円 | 2200円 |



表記の価格は全て消費税10%込の価格です。

■ 検査者標識

検査者標識は、「検査者であることを第3者が識別できる」とこと、「検査者としての意識の高揚」を目的として検査者に着用させるものです。

協会では腕章及びワッペン（作業服等にアイロンで接着させる方式）とヘルメット等に貼付できるシールを用意しています。

・検査者腕章、特自検腕章

特定自主検査資格者であることを示すため着用するものです。

| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|---------|----------|-------|-------|
| 検査者腕章 | BP-YC-01 | 1100円 | 1650円 |
| 検査者ワッペン | BP-YC-02 | 330円 | 550円 |



検査者腕章



検査者ワッペン

・検査者シール（検査業者用、事業内用）

検査者が特定自主検査を行える資格の種類（検査業者、事業内）、機種を示すためのものです。

| 特定自主検査対象機種 | 検査業者用 | 事業内用 | 会員価格 | 一般価格 |
|-----------------------|------------|----------|------|------|
| フォークリフト | BP-YC-11-A | BP-YC-21 | 110円 | 165円 |
| 整地・運搬・積込用・掘削用および解体用機械 | BP-YC-12-A | BP-YC-22 | | |
| 基礎工事用機械 | BP-YC-13-A | BP-YC-23 | | |
| 締固め用機械 | BP-YC-14-A | BP-YC-24 | | |
| コンクリートポンプ車 | BP-YC-15-A | BP-YC-25 | | |
| 高所作業車 | BP-YC-16-A | BP-YC-26 | | |
| 不整地運搬車 | BP-YC-17-A | BP-YC-27 | | |

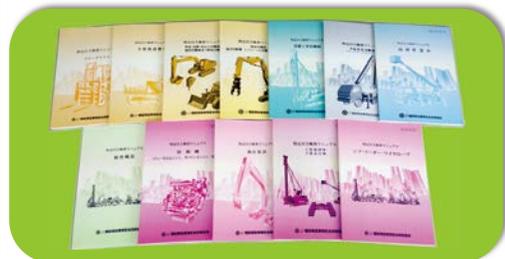


■ 教育資料

当協会で行う特定自主検査者資格取得研修および能力向上教育等で使用されている図書です。

・特定自主検査マニュアル 特定自主検査の検査方法を機種、部位別に解説しています。

| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|-----------------|------------|-------|-------|
| 検査機器 | TQ-ZC-01-E | 660円 | 990円 |
| 原動機(ディーゼル・ガソリン) | TQ-KE-01-F | 2420円 | 3630円 |
| 油圧装置 | TQ-KH-01-E | 1540円 | 1980円 |
| 上部旋回体 下部走行体 | TQ-KB-01-E | 2420円 | 3080円 |
| ジブ・リーダー・ワイヤーロープ | TQ-KJ-01-D | 1210円 | 1540円 |
| フォークリフト | TQ-LC-02-G | 1320円 | 1980円 |
| 不整地運搬車 | TQ-GR-01-E | 880円 | 1320円 |
| 車両系建設機械（整地等用） | TQ-GC-02-A | 3300円 | 5280円 |
| （基礎工事用） | TQ-FC-01-E | 3080円 | 4620円 |
| （締固め用） | TQ-RC-01-D | 1210円 | 1760円 |
| （コンクリート打設用） | TQ-CP-01-E | 1100円 | 1760円 |
| 高所作業車 | TQ-HL-01-D | 1320円 | 1980円 |
| 特定自主検査と補修 | TC-ZC-01-F | 550円 | 880円 |



・能力向上教育テキスト 機種別に最新の技術等を紹介しています。

| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|-------------|------------|-------|-------|
| フォークリフト | TL-LC-01-D | 3520円 | 5280円 |
| 整地・運搬等&ブレーカ | TL-GE-01-F | 3630円 | 5500円 |
| 締固め用機械 | TL-RC-01-C | 1650円 | 2530円 |
| 基礎工事用機械 | TL-FC-01-D | 1980円 | 2970円 |
| 不整地運搬車 | TL-GR-01-B | 660円 | 990円 |
| コンクリートポンプ | TL-CP-01-C | 1430円 | 2090円 |
| 高所作業車 | TL-HL-01-C | 1760円 | 2750円 |



・その他

| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|-------------------------------|------------|-------|-------|
| フォークリフト安全運転テキスト | TQ-LC-02-B | 1540円 | 1540円 |
| ショベルローダー等定期自主検査マニュアル検査・整備基準値表 | TQ-SR-02-C | 1760円 | 2640円 |
| 業務点検コーステキスト | TT-YC-01-C | 1100円 | 1650円 |



表記の価格は全て消費税10%込の価格です。

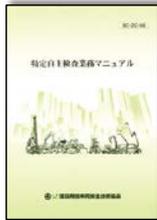
■ 特定自主検査業務の管理

**特定自主検査の適正実施のために
特定自主検査業務マニュアル**

検査業者の業務や事業内検査の業務を適正に遂行するための管理のポイントおよび実務の詳細を説明したものです。

また、特定自主検査全般を管理する事業者が知っておかなければならない労働災害防止に関する法令や事業者の責務等をまとめたものです。(R1.11 発行)

注記)本書は特定自主検査業務マニュアル検査業者用(BP-ZC-01-F)、事業内検査(BP-ZC-02-E)および特定自主検査とその管理(BC-ZC-06-D)の内容を合わせたものです。



| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|---------------|----------|--------|--------|
| 特定自主検査業務マニュアル | BC-ZC-08 | 1650 円 | 2530 円 |

特定自主検査制度に関する法令、通達

特定自主検査関係法令通達集

特定自主検査制度に関する法の条文ごとに関係する最新の規則・通達等をまとめたものです。

(H28.3 改訂 J 版発行)



| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|---------------|------------|--------|--------|
| 特定自主検査関係法令通達集 | BC-ZC-03-J | 2310 円 | 3520 円 |

特定自主検査の実施経歴の管理

特定自主検査実施経歴書

特定自主検査の実施時期を明確にするとともに、特定自主検査が、いつ、だれが実施したかを記入できるようになっており、機械の履歴管理に活用できます。

| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|-------------------|----------|-------|-------|
| 特定自主検査実施経歴書(フォーク) | BP-LC-01 | 55 円 | 110 円 |
| 経歴書ビニルケース(フォーク用) | BP-LC-02 | 165 円 | 330 円 |
| 特定自主検査実施経歴書(建機用) | BP-OH-01 | 55 円 | 110 円 |
| 特定自主検査実施経歴書(解体機用) | BP-OH-02 | 55 円 | 110 円 |

**登録検査業者の諸手続きについて
特定自主検査登録検査業者必携**

登録検査業者が、厚生労働大臣または都道府県労働局長に登録申請・業務規程変更等の際に留意すべきポイントを解り易く解説したものです。また、参考となる業務規程例を示してあります。

(H31.4 改訂 K 版発行)



| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|----------------|------------|-------|-------|
| 特定自主検査登録検査業者必携 | BC-ZC-01-K | 550 円 | 880 円 |

特定自主検査制度についての疑問を解説

特定自主検査に関する Q & A

特定自主検査制度に関するさまざまな疑問を「Q&A集」としてまとめたものです。

(H26.10 改訂 A 版発行)



| 品名 | 品番 | 会員価格 | 一般価格 |
|------------------|------------|-------|-------|
| 特定自主検査に関する Q & A | BC-YC-01-A | 440 円 | 770 円 |



表記の価格は全て消費税 10%込の価格です。

お問い合わせ先

特定自主検査者資格取得者名簿

(令和2年10月1日～令和2年11月30日)

資格の種類ごとに氏名五十音順・敬称略

事業内検査者資格取得者

■フォークリフト

| | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 芦田 悠甫 | 笠原 浩作 | 児島 洋裕 | 下田 鉄明 | 築山 泰明 | 花房 真一 |
| 有村 博裕 | 梶原 大貴 | 古世 雄市郎 | 竹村 光弘 | 手嶋 祐二 | 廣畑 大貴 |
| 井手 浩一 | 鎌田 陽子 | 小林 健志 | 田代 敦士 | 仲 紀男 | 古川 哲也 |
| 稲田 英治 | 菊地 良輔 | 近藤 幸治 | 立石 僚 | 中島 亨 | 松下 隆一 |
| 岩崎 臣男 | 清藤 一紀 | 後藤 浩 | 谷杉 和則 | 中村 貴之 | 南 秀和 |
| 岩本 樹彦 | 草 弼 淳 | 齊藤 義治 | 田森 允明 | 西村 浩一 | 矢野 優樹 |
| 大城 勝人 | 楠田 浩史 | 貞包 悟 | 丹下 隼太 | 沼沢 和也 | 渡部 雅之 |
| 大野 宗親 | 黒島 暢一 | 塩見 裕也 | 塚本 昌隆 | | |

■整地・運搬・積込み用・掘削用及び解体用機械

| | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 入口 利行 | 川原 徹 | 古賀 彬 | 小林 清之 | 谷川 浩一 | 松山 靖宏 |
| 太田 忍 | 菊池 孝 | 古賀 寛幸 | 斉田 義信 | 鶴原 寛和 | 結城 努 |
| 奥山 洋平 | 久留島 良人 | 小谷 和哉 | 菅原 功 | 平良木 篤史 | 百合野 貴人 |
| 狩野 正 | | | | | |

■コンクリート打設用機械

| | | | | | |
|--------|--|--|--|--|--|
| 長谷川 良一 | | | | | |
|--------|--|--|--|--|--|

■高所作業車

| | | | | | |
|--------|-------|--------|--------|-------|-------|
| 稲積 孝晃 | 亀屋 勇人 | 久保 耕介 | 重松 亜月樹 | 堤 幸典 | 原 紀人 |
| 梅田 勇二 | 川上 稔彦 | 佐久間 雅之 | 菅原 雄太 | 富吉 達也 | 三頭 昌啓 |
| 海老原 健一 | 菊地 洋 | 周 中元 | 田中 洋平 | 仲矢 裕一 | 谷鳥 克美 |
| 大石 勇介 | | | | | |

■締固め用機械

浅野弘樹 | 須田陽太 | 園田忠幸 | 千葉桂 | 豊島一輝 | 馬場哲也
菊地純一

■コンクリート打設用機械

安田勝信 | | | | |

■高所作業車

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 赤澤敏雄 | 大澤文人 | 國井平 | 城谷勇毅 | 西川孝典 | 三浦亮 |
| 秋丸秀治 | 奥野希望 | 小泉匡弘 | 城野秀樹 | 二本柳匡之 | 水野民雄 |
| 明角尚幸 | 忍和典 | 小林正幸 | 城間将貴 | 野村正明 | 宮崎貴弘 |
| 朝田将伍 | 小野兼 | 小柳雅嗣 | 新谷佳之 | 林泰宏 | 宮田貴資 |
| 阿部福太郎 | 小野剛 | 今野寿文 | 新町良成 | 久野卓也 | 村井政之 |
| 石井雄一 | 小野洋平 | 合屋将志 | 杉本葵咲 | 日高将博 | 森直紀 |
| 石川輝 | 甲斐敬人 | 坂井康高 | 前司豊 | 藤井淳司 | 森紀昭 |
| 泉山直樹 | 加藤崇也 | 酒井優也 | 高橋健太 | 藤野健一 | 森下嵩史 |
| 市川孝明 | 金井直人 | 坂尾将仁 | 武市穰 | 藤本昌希 | 山口大智 |
| 稲場修平 | 川田一馬 | 櫻井淳史 | 多田寿明 | 細川忠彦 | 山崎清孝 |
| 今井政伸 | 河原涉 | 佐々木大輔 | 舘智也 | 堀池航 | 山下知宏 |
| 今泉光 | 神野弘幸 | 佐々木肇 | 土谷堯禎 | 堀田誠 | 山田裕貴 |
| 岩間一樹 | 菊地雅志 | 佐々木浩 | 中神孝博 | 牧田孝由 | 山中則男 |
| 上田尚史 | 北野真也 | 佐藤弘昌 | 中林光徳 | 松下田剛 | 吉田茂立 |
| 内村亮祐 | 木村健一郎 | 庄子龍斗 | 柳樂泰博 | 松本一樹 | 吉田英昭 |
| 宇都宮洋陽 | 木村竜則 | 下山亨介 | 奈良宏一郎 | 松本竜馬 | 吉本健一郎 |
| 馬場隆之 | 工藤滉平 | 白鳥広也 | 新岡晟央 | 見海志延 | 吉本健一郎 |
| 大植広昭 | | | | | 渡邊雅 |

支 部 一 覧

令和2年12月1日現在

| 支部名 | 〒 | 所在地 | 電話番号 | FAX |
|-------|----------|--------------------------------------|--------------|--------------|
| 北海道 | 060-0004 | 北海道札幌市中央区北4条西7丁目 NCO札幌ホワイトビル9階 | 011(271)7720 | 011(271)7580 |
| 青 森 | 030-0902 | 青森県青森市合浦1-10-7 | 017(765)5432 | 017(765)5433 |
| 岩 手 | 020-0873 | 岩手県盛岡市松尾町17-9 岩手県建設会館2階 | 019(626)2616 | 019(626)2627 |
| 宮 城 | 983-0842 | 宮城県仙台市宮城野区五輪1-6-9 五輪黄葉ビル201号 | 022(298)2150 | 022(298)2151 |
| 秋 田 | 010-0923 | 秋田県秋田市旭北錦町1-14 秋田ファーストビル210号室 | 018(823)8258 | 018(823)8260 |
| 山 形 | 990-8681 | 山形県山形市流通センター 2-3 山形流通団地組合会館内 | 023(666)6581 | 023(666)6582 |
| 福 島 | 960-8035 | 福島県福島市本町5-8 福島第一生命ビル4階 | 024(521)8065 | 024(521)8248 |
| 茨 城 | 311-3116 | 茨城県東茨城郡茨城町長岡3652-559 | 029(292)6546 | 029(292)6547 |
| 栃 木 | 321-0912 | 栃木県宇都宮市石井町3149-28 卸商業団地協同組合別館202 | 028(656)6111 | 028(656)6112 |
| 群 馬 | 371-0805 | 群馬県前橋市南町4-30-3 勢多会館1階 | 027(223)3448 | 027(223)3451 |
| 埼 玉 | 330-0062 | 埼玉県さいたま市浦和区仲町1-12-1 カタヤマビル5階A | 048(835)3050 | 048(835)3055 |
| 千 葉 | 260-0026 | 千葉県千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館3階303号 | 043(245)9926 | 043(245)9927 |
| 東 京 | 102-0072 | 東京都千代田区飯田橋1-7-10 山京別館4階 | 03(3511)5225 | 03(3511)5224 |
| 神奈川 | 231-0011 | 神奈川県横浜市中区太田町6-87 横浜フコク生命ビル10階 | 045(664)1811 | 045(664)1817 |
| 新 潟 | 950-0961 | 新潟県新潟市中央区東出来島11-16 新潟県自動車会館内 | 025(285)4699 | 025(285)4685 |
| 富 山 | 930-0094 | 富山県富山市安住町3-1-20 富山県建設会館内 | 076(442)4358 | 076(442)6748 |
| 石 川 | 920-0806 | 石川県金沢市神宮寺3-1-20 コマツ石川(株)レンタル事業部事務所2階 | 076(208)3302 | 076(208)3303 |
| 福 井 | 910-0854 | 福井県福井市御幸4-19-25 広田第2ビル2階 | 0776(24)7277 | 0776(24)9507 |
| 山 梨 | 409-3867 | 山梨県中巨摩郡昭和町清水新居1602 ササモトビル2階 | 055(226)3558 | 055(226)3631 |
| 長 野 | 380-0872 | 長野県長野市妻科426-1 長野県建築士会館4階 | 026(232)2880 | 026(232)6606 |
| 岐 阜 | 504-0843 | 岐阜県各務原市蘇原青雲町5-34 | 058(382)5011 | 058(382)5120 |
| 静 岡 | 422-8045 | 静岡県静岡市駿河区西島127 | 054(236)4008 | 054(236)4031 |
| 愛 知 | 450-0002 | 愛知県名古屋市中村区名駅4-23-13 大同生命ビル3階 | 052(586)0069 | 052(586)0010 |
| 三 重 | 514-0009 | 三重県津市羽所町601 アカツカビル4階 | 059(223)7177 | 059(223)7180 |
| 滋 賀 | 520-0043 | 滋賀県大津市中央4-5-33 SKビル2階C | 077(521)5260 | 077(521)5352 |
| 京 都 | 600-8009 | 京都府京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町78 京都経済センター 4階 | 075(351)0250 | 075(351)0251 |
| 大 阪 | 540-6591 | 大阪府大阪市中央区大手前1-7-31 OMM19階 | 06(6944)6611 | 06(6944)6612 |
| 兵 庫 | 650-0024 | 兵庫県神戸市中央区海岸通8 神港ビル703号 | 078(332)4936 | 078(392)8921 |
| 奈 良 | 630-8124 | 奈良県奈良市三条松町29-3 奈良県電気工事工業組合内 | 0742(93)5181 | 0742(93)5181 |
| 和歌山 | 640-8287 | 和歌山県和歌山市築港3-23 和歌山港湾労働者福祉センター 1階 | 073(435)3337 | 073(435)3338 |
| 鳥 取 | 682-0802 | 鳥取県倉吉市東巖城町12 中部建設会館1F | 0858(22)1400 | 0858(23)4667 |
| 島 根 | 690-0012 | 島根県松江市古志原2-20-54 | 0852(27)0340 | 0852(27)0556 |
| 岡 山 | 700-0907 | 岡山県岡山市北区下石井2-8-6 第2三木ビル205 | 086(222)6039 | 086(222)4296 |
| 広 島 | 733-0011 | 広島県広島市西区横川町1-11-24 山田オフィスビル202 | 082(291)1150 | 082(291)3413 |
| 山 口 | 753-0083 | 山口県山口市後河原25 愛山会ビル2階 | 083(932)1858 | 083(932)1859 |
| 徳 島 | 770-0808 | 徳島県徳島市南前川町4-14 船橋設計ビル2階 | 088(622)8243 | 088(624)8258 |
| 香 川 | 760-0062 | 香川県高松市塩上町10-5 池商はせ川ビル113 | 087(837)3668 | 087(837)3671 |
| 愛 媛 | 790-0003 | 愛媛県松山市三番町7-8-1 山本ビル2階 | 089(941)6740 | 089(941)7361 |
| 高 知 | 780-0072 | 高知県高知市杉井流9-11 | 088(882)5025 | 088(882)0837 |
| 福 岡 | 812-0013 | 福岡県福岡市博多区博多駅東2-6-14 正和ビル4階402 | 092(474)2246 | 092(474)2312 |
| 佐 賀 | 849-1301 | 佐賀県鹿島市大字常広139-2 | 0954(62)6315 | 0954(62)6368 |
| 長 崎 | 854-0072 | 長崎県諫早市永昌町10-8-202 | 0957(49)8000 | 0957(49)8001 |
| 熊 本 | 860-0845 | 熊本県熊本市中央区上通町7-32 蚕糸会館3階 | 096(356)6323 | 096(356)6325 |
| 大 分 | 870-0844 | 大分県大分市大字古国府字内山1337-20 大分県林業会館4階 | 097(540)7177 | 097(540)7127 |
| 宮 崎 | 880-0802 | 宮崎県宮崎市別府町2-12 宮崎建友会館3階 | 0985(23)5061 | 0985(23)5129 |
| 鹿 児 島 | 891-0123 | 鹿児島県鹿児島市卸本町6-12 オロシティーホール内 | 099(260)0615 | 099(260)0646 |
| 沖 縄 | 901-2131 | 沖縄県浦添市牧港5-6-3 南海建設4階 | 098(879)3744 | 098(879)3757 |

(注) アンダーラインは変更部分

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては良い年をお迎えのことと思います。

年明けのこの時期は年末年始の休み明けで、気が緩みやすい時期でもあります。

ここ数年、労働災害の死亡者数も減少傾向にあるとは言っても、ゼロではありません。長期休暇のあとなど、どうしても安全意識が遠のき、普段安全対策を行っている作業もつい手を抜きやすくなる時期でもあります。

年頭にあたり身の回りをよく確認し、不安全行動がないか各自が安全意識を高められるよう、職場内で見直しを行ういい機会ではないでしょうか。安全に対する心得などは定期的に繰り返すことが一番の近道だと思います。

今年に限っては、例年と違いコロナ禍の中での新たな年のスタートとなります。各職場での感染対策など徹底しながら、労働災害0を目指し良い年となるようにして行きましょう。

[広報委員：田中 喜昭 記]

機関誌に対するご意見・ご要望等は E-mail : koho@sacl.or.jp までお願いします。

機関誌編集 広報委員会

委員長

山本 泰徳 [池田内燃機工業㈱]

平山 哲也 [大成建設㈱]

副委員長

佐藤 裕治 [住友建機㈱]

兼八 淳 [日本通運㈱]

室町 正博 [日通商事㈱]

委員

津川 元 [コベルコ建機㈱]

小澤 真一 [事務局：常務理事]

栗原 正行 [コマツ]

水島 敏文 [事務局：広報部]

比留間 茂 [キャタピラー]

吉田 岳 [同]

新谷 勝幸 [日立建機㈱]

田中 喜昭 [コマツ]

加藤 彰秀 [㈱豊田自動織機]

在田 浩徳 [清水建設㈱]

(令和2年12月1日現在)

「建設荷役車両」 VOL. 43 第251号

令和2年12月18日 印刷

令和3年1月5日 発行

発行所 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-7-1 (ニュー九段ビル9F)

TEL: 03 (3221) 3661 / FAX: 03 (3221) 3665

URL <http://www.sacl.or.jp/>

編集 広報委員会

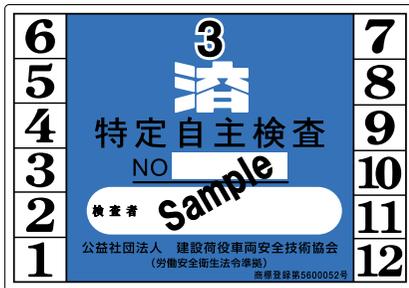
発行人 小澤 真一

印刷所 株式会社東伸企画

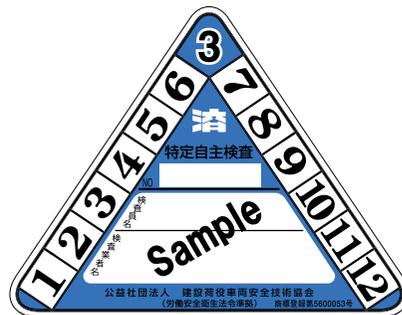
ユーザー名 (U) saclhp パスワード (P) saclhp

特定自主検査は お済みですか？

令和3年の特定自主検査済標章は、下記のとおりです。



事業内検査用



検査業者検査用

- 特定自主検査(特自検)が実施された機械には、検査を実施した年月を明らかにする検査済標章(ステッカー)を貼付することが、労働安全衛生法の関係法令で義務付けられています。
- 建設荷役車両に係る標章については、公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会(建荷協)が責任をもって頒布して、検査済であることを当協会が証しております。
- この標章は、当協会が商標登録を行っております。



公益社団法人 **建設荷役車両安全技術協会**
SAFETY ASSOCIATION OF CONSTRUCTION AND LOADING VEHICLES

本部 TEL:03-3221-3661

略称：【**建荷協**】
SACL

（ひんにきょう）

特自検に関することは

建荷協

検索



(担当直通: 中川)

E-mail: info@web-krw.com

謹賀新年

本年もよろしくお願ひいたします

令和三年 元旦

ちよつと待って

まだ使えます、そのエンジン!

あきらめる前に是非ご一報下さい!!

皆さんがお困りの事解決いたします!

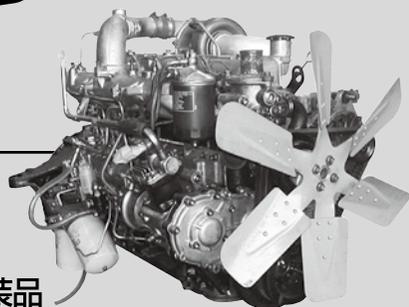
リビルト品の活用は

★リビルトエンジン、リビルト噴射ポンプ、エンジン付属品リビルト、リビルト電装品のことならおまかせください。

不況脱出の切り札!

業務内容

- リビルトシリンダーブロック ●リビルトシリンダーヘッド
- リビルトターボチャージャー ●リビルトウォーターポンプ
- リビルト噴射ポンプ ●リビルト噴射ノズル ●リビルト電装品
- 非常用発電機のエンジンメンテナンス ●不良エンジンの買取り・・・まで



新たな気持ちで50周年に向けスタートします。



製品に関するご質問・価格等のお問合せは下記まで。

TEL.076-272-3334 FAX.076-272-3332

詳細はホームページで (👉 URL:<http://www.web-krw.com> E-mail: info@web-krw.com)



ボッシュサービスステーション

株式会社 北日本リビルトワークス 〒920-2132 石川県白山市明島町山142番地1

※ 弊社の全再生品は、整備業者様へのみの販売とさせていただきます。(脱着・整備等が困難なため、エンドユーザー様への販売はしていません。)



解体アタッチメント向け超高耐久カップリング

謹賀新年

本年も一年ご安全に



解体作業を効率よく クリーンに！



撮影協力 宮田土建解体株式会社 様
(茨城県結城市)



超高耐久

- ・ブレーカー、鉄骨カッター、小割機、大割機等の圧力変動の大きな各種解体アタッチメントに適応します。

分離時液ダレ無し

- ・分離時油モレのないフラットフェースデザインはアタッチメント交換時の環境汚染を防ぎ、作動油の補充量を大幅に削減します。

被圧下分離・接続が可能

- ・油圧回路内に圧力が残った状態での分離、接続が可能です。(レンチ等が必要な場合があります)

超高耐久TLXシリーズ主な特徴

高合金鋼ボディ

- 高い耐圧力性能を実現します。
- 最高使用圧力42MPa/最低破壊圧力168MPa ※接続時

ピンロック採用

- 振動による緩みを防ぎます。
- 接続状態の確認が目視で可能です。

シール交換可能

- 最も消耗の激しい接続部シールはユーザー交換が可能です。
- その他製品内部のシールも消耗した場合、工場にて分解修理します。

シールプロテクトデザイン

- 接続時、シール材(Oリング)が作動油 流路に露出せず、急激な流速変化 (サージフロー) が発生した時にシール材をダメージから守ります。



フラットフェースデザイン

- 分離時作動油のモレがありません。
- 作業環境の汚損を防ぎます。
- 異物混入を防ぎ機器の性能を維持、寿命を延ばします。

大きなねじ込みピッチ

- 効率良く接続、分離が可能です。
- 大きなピッチと丸みを帯びたねじ形状により清掃が容易に行えます。

亜鉛ニッケルメッキ採用

- 高い防食性能を実現します。



◀ TLXの動画、製品詳細はこちら。ぜひご覧下さい。